# 上高田遺跡

第2.3次発掘調查報告書

1 9 9 8

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

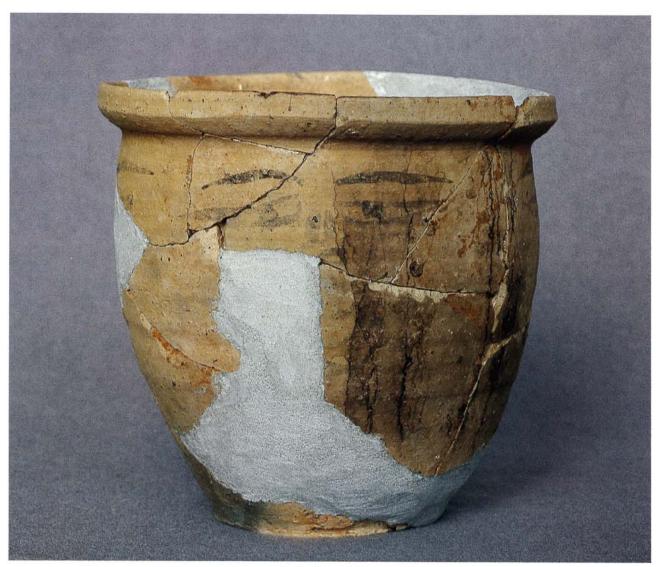
 かみ
 たか
 だ

 上
 高
 田
 遺
 跡

第2.3次発掘調查報告書

平成10年3月

財団法人 山形県埋蔵文化財センター



SG 2 出土人面墨描土器



SG 2 出土人面墨描土器 (赤外線写真)

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、上高田遺跡第2次・3次調査の結果をまとめたものです。

遺跡は山形県の北西部の飽海郡遊佐町に所在し、「出羽富士」鳥海山を仰ぎ見る肥 沃で広大な庄内平野の北端に位置しています。

遊佐町は稲作を主とする農業の町で、これまで大規模なほ場整備事業が行われてきました。それにかかわり、水田地帯に位置する多くの遺跡が発見、緊急発掘調査されています。上高田遺跡の第1次調査もその中のひとつです。この度、交通量が将来増大することを見据えて、「一般国道345号道路改築工事」が実施されることになりました。それにかかわり、上高田遺跡が事業区域に含まれるため、関係機関による協議の結果、工事に先立ち、やむを得ず事業範囲に含まれる部分を緊急発掘調査する事となりました。

第1次調査に引き続き、平安時代前期の遺物を大量に包含する大きな河川跡が検出 されました。そこからの出土遺物、特に人形や斎串、人面墨描土器等の律令祭祀製 品や木簡などは当時の社会を考える上での貴重な資料です。

近年、高速自動車道やバイパス、農業基盤整備事業など国県等の事業が増加していますが、これに伴い事業区域内で発掘調査を必要とする遺跡が増加の傾向にあります。これらの埋蔵文化財は、祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産といえます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの重要な責務と考えます。その意味で、本書が文化財保護活動の啓発・普及、学術研究、教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力いただいた関係各位に心から感謝申し上 げます。

平成10年3月

財団法人 山形県埋蔵文化財センター 理事長 木 場 清 耕

## 例 言

- 1 本書は一般国道345号線道路改築工事に係る「上高田遺跡」の第2・3次発掘調査報告書である。
- 2 調査は山形県教育委員会の委託により、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。

3 調査要項は下記の通りである。

遺跡 名 上高田遺跡 (AYZKT) 遺跡番号 2080

所 在 地 山形県飽海郡遊佐町大字富岡字上家ノ前

調 査 主 体 財団法人山形県埋蔵文化財センター

調 査 期 間 平成8年4月1日~平成9年3月31日 (第2次調査)

現地調査 平成8年5月7日~平成8年9月13日

調査担当者 調査第二課長 野尻 侃

主任調査研究員 尾形與典

調査研究員 齋藤 健 (調査主任)

嘱託職員 飯塚 稔

調 査 期 間 平成9年4月1日~平成10年3月31日 (第3次調査)

現 地 調 査 平成 9 年 5 月 6 日 ~ 平成 9 年 7 月 30日

調査担当者 調査第二課長 野尻 侃

主任調査研究員 尾形與典

調査研究員 齋藤 健 (調査主任)

嘱託職員 飯塚 稔

 整理担当者
 調査研究員
 齋藤 健

 嘱託職員
 飯塚 稔

- 4 発掘調査及び本書を作成するにあたり、山形県庄内支庁建設部道路計画課、山形県遊佐町教育委員会、庄内教育事務所の方々から協力をいただいた。また、資料整理にあたって、国立歴史民俗博物館教授平川 南氏、山形大学人文学部助教授北村優季氏、斎宮歴史博物館宇河雅之氏、(財)福島県文化センター鈴鹿良一氏、芳賀英一氏、本間 宏氏、(財)いわき市教育文化事業団猪狩忠雄氏、吉田生哉氏に御指導を賜った。ここに記して感謝申し上げる。
- 5 本書の作成・執筆は齋藤 健、飯塚 稔が担当した。編集は尾形與典、須賀井新人、菅原哲 文、豊野潤子が担当し、全体については野尻 侃が監修した。
- 6 委託業務は下記の通り実施した。

遺構の写真測量・実測については、朝日航洋株式会社に委託した。

一部の遺物の保存処理については、株式会社吉田生物研究所に委託した。

資料の理科学分析(土壌分析)については、株式会社パレオ・ラボとパリノ・サーヴェイ株式 会社に委託した。

7 出土遺物、調査記録類については、財団法人山形県埋蔵文化財センターが一括保管している。

#### 凡 例

1 本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記の通りである。

SK……土坑

SD……溝跡

S X ……性格不明遺構 S B …… 掘立柱建物跡

E B ······ 柱穴掘方 S P ······ ピット

SE……井戸跡

SG……河川跡

R P ······ 土器 · 土製品

R M …… 金属製品

R W …… 木 製 品

R Q …… 石器・石製品

2 本書で使用した遺構断面図中での遺物等の分類記号は下記の通りである。

P …… 土器

S ······石

W ..... 木材

- 3 遺構番号は、現地調査段階での番号をそのまま報告書の番号として踏襲した。
- 4 報告書執筆基準は下記の通りである。
  - (1) 遺跡概要図・遺構配置図・遺構実測図中の方位は磁北を示している。
  - (2) グリッドの南北軸は、 $N-17^{\circ}40'-E$ を測る。
  - (3) 遺構実測図は1/20~1/200他の縮図で採録し、各々スケールを付した。なお、実測図 中の●は土器、△は木製品の出土点を表す。
  - (4) 遺物実測図・拓影図は、原則的に1/3、1/6で採録し、おのおのスケールを付した。 実測図中のスクリーントーンは黒色処理、漆塗部分、炭化部分を表している。







- (5) 遺物実測図作成に際し、輪積痕や高台取り付け部分が断面で確認可能なものは図示した が、断面を観察できないものについては図示はしていない。
- (6) 遺物観察表中の() 内の数値は欠損遺物の現存値を表すが、推定可能なものは推定値 を示した。また、「」は判読可能な墨書文字を、『』はヘラ書・線刻を示し、推定の文 字には「ヵ」を付した。
- (7) 出土地点欄の層位ではアラビア数字は遺構内覆土を示し、ローマ数字は遺構を覆う土層 (基本層序)を表している。
- (8) 遺物図版については、任意の縮尺とした。
- (9) 遺物番号は、遺物実測図・遺物観察表・遺物図版ともに共通したものである。遺構挿図 中に図示している遺物も同様である。
- (10) 遺構覆土の色調の記載については、1987年度農林水産省農林水産技術会議事務局監修の 「新版標準土色帖」に拠った。

## 目 次

Ι	Ē	調査の経緯	•••••	1
	1	調査に至る経過 …		1
	2	調査の経過		1
П	ì	遺跡の立地と環境 …		3
	1	地理的環境		3
	2	歷史的環境		3
	3	遺跡の層序		5
Ш	: 1	検出された遺構		6
	1	遺構遺物の分布 …		6
	2	河川跡		6
	3	掘立柱建物跡		15
	4	溝跡		15
	5	土坑		19
I	7 7	検出した遺物		22
	1	土器		22
	2	陶磁器		25
	3	土製品		25
	4	石製品		25
	5	木製品		25
	6	金属製品		31
V	r	まとめ		112
幸	是告	書抄録		117
			表	
悬	₹ 1	遺物観察表(1)・		97
悬	₹ 2	遺物観察表(2)・		98
才	₹ 3	遺物観察表(3)・		99
쿤	₹ 4	遺物観察表(4)・		100
老	₹ 5	遺物観察表(5)・		101
县	₹6	遺物観察表(6)・		102
쿤	₹ 7	遺物観察表(7)・		103
코	₹8	遺物観察表(8)・		104

表 9	遺物 観察表(9)	•••••	•••			105
表10						106
表11	遺物観察表(11)	•••••	•••	•••••		107
表12						108
表13	遺物観察表(13)		•••			109
表14						110
表15	遺物観察表(15)	•••••	•••	•••••		111
		挿		図		
第1図				第26図	遺物実測図(14)土器	
第 2 図				第27図	遺物実測図(15)土器	46
第 3 図	_ , _ ,			第28図	遺物実測図(16)土器	
第 4 図				第29図	遺物実測図(17)土器	48
第 5 図				第30図	遺物実測図(18)土器	49
第 6 図	SG 2 河川跡	11		第31図	遺物実測図(19)土器	50
第7図	SG1300·1301河川跡 ·····	13		第32図	遺物実測図(20)土器	51
第8図	SB 551 · 552掘立柱建物跡 ········	16		第33図	遺物実測図(21)土器	52
第 9 図	SB 553 · 1806掘立柱建物跡 ········	17		第34図	遺物実測図(22)土器	53
第10図	I SD 234 · 244 · 247溝跡 ··············	18		第35図	遺物実測図(23)土器	54
第11図	I SD 355・1101溝跡、			第36図	遺物実測図(24)土器	55
	SK 228·1192土坑 ······	20		第37図	遺物実測図(25)土器	56
第12図	I SK30·33·303·463土坑	21		第38図	遺物実測図(26)土器	57
第13図	遺物実測図(1)土器	32		第39図	遺物実測図(27)土器	58
第14図	遺物実測図(2)土器	33		第40図	遺物実測図(28)土器	59
第15図	遺物実測図(3)土器	34		第41図	遺物実測図(29)土器	60
第16図	遺物実測図(4)土器	35		第42図	遺物実測図(30)土器	61
第17図	遺物実測図(5)土器	36		第43図	遺物実測図(31)土器	62
第18図	遺物実測図(6)土器	37		第44図	遺物実測図(32)土器	63
第19図	遺物実測図(7)土器	38		第45図	遺物実測図(33)土器	64
第20図	遺物実測図(8)土器	39		第46図	遺物実測図(34)土器	65
第21図	遺物実測図(9)土器	40		第47図	遺物実測図(35)土器	66
第22図	遺物実測図(10)土器	41		第48図	遺物実測図(36)土器	67
第23図	遺物実測図(11)土器	42		第49図	遺物実測図(37)土器	68
第24図	遺物実測図(12)土器	43		第50図	遺物実測図(38)土器	69
第25図	遺物実測図(13)土器	44		第51図	遺物実測図(39)土器	70

第52図	遺物実測図(40)土器		71	第66図	遺物実測図(54	)木製品	•••••	85
第53図	遺物実測図(41)土器・陶	磁器・		第67図	遺物実測図(55	)木製品	•••••	86
	土製品	•••••	72	第68図	遺物実測図(56	)木製品	•••••	87
第54図	遺物実測図(42)木製品 …	•••••	73	第69図	遺物実測図(57	)木製品	•••••	88
第55図	遺物実測図(43)木製品 …	•••••	74	第70図	遺物実測図(58	)木製品	•••••	89
第56図	遺物実測図(44)木製品 …	•••••	75	第71図	遺物実測図(59	)木製品	•••••	90
第57図	遺物実測図(45)木製品 …	•••••	76	第72図	遺物実測図(60	)木製品	•••••	91
第58図	遺物実測図(46)木製品 …	•••••	77	第73図	遺物実測図(61	)木製品	•••••	92
第59図	遺物実測図(47)木製品 …	•••••	78	第74図	遺物実測図(62	)木製品	•••••	93
第60図	遺物実測図(48)木製品 …	•••••	79	第75図	遺物実測図(63	)木製品	•••••	94
第61図	遺物実測図(49)木製品 …	•••••	80	第76図	遺物実測図(64	)木製品	•••••	95
第62図	遺物実測図(50)木製品 …	•••••	81	第77図	遺物実測図(65	)木製品	•••••	96
第63図	遺物実測図(51)木製品 …	•••••	82	第79図	遺物実測図墨書	事集成(1	)	114
第64図	遺物実測図(52)木製品 …	•••••	83	第79図	遺物実測図墨書	- 集成(2	)	115
第65図	遺物実測図(53)木製品 …		84					

#### 図 版

巻頭図版 SG 2 出土人面墨技	猫	+	器
------------------	---	---	---

図版1 2次調査1・2区遠景他

図版 2 2 次調查鍬入式他

図版3 SK33検出状況他

図版 4 EP 592土層断面他

図版 5 SG 2 木簡出土状況他

図版 6 SG 2 黑色土器出土状況他

図版 7 SG 1301、SG 1300 検出状況他

図版8 出土遺物(1)

図版 9 出土遺物(2)

図版10 出土遺物(3)

図版11 出土遺物(4)

図版12 出土遺物(5)

図版13 出土遺物(6)

図版14 出土遺物(7)

図版15 出土遺物(8)

図版16 出土遺物(9)

図版17 出土遺物(10)

図版18 出土遺物(11)

図版19 出土遺物(12)

図版20 出土遺物(13)

図版21 出土遺物(14)

図版22 出土遺物(15)

図版23 出土遺物(16)

図版24 出土遺物(17)

図版25 出土遺物(18)

図版26 出土遺物(19)

図版27 出土遺物(20)

図版28 出土遺物(21)

図版29 出土遺物(22)

図版30 出土遺物(23)

図版31 出土遺物(24)

図版32 出土遺物(25)

## I 調査の経緯

#### 1 調査に至る経過

本報告書は、一般国道345号道路改築工事に伴う上高田遺跡の第2・3次緊急発掘調査の報告 である。

上高田遺跡は、昭和4年に土器や木製椀が水田より出土したことにより存在が確認された。 昭和54年度には、山形県教育委員会が遺跡の詳細分布調査を行い、県遺跡台帳に登録した東西 200m、南北200mの遺跡である。第1次調査は、平成6年度に県営ほ場整備事業(月光川下流地

区)に係わる緊急発掘調査として約3,000㎡が対象として行われ、その成果は山形県埋蔵文化財センター調査報告書第25集として刊行されている。調査者はその出土遺物と遺構から平安前期9世紀前半から10世紀にかけての集落跡と報告している。

この度一般国道345号道路改築工事が実施されることとなり、平成7年度に県教育委員会が実施した上高田遺跡、木戸下遺跡、古屋敷遺跡の詳細分布調査の結果をもとに、保存協議や、施工方法を含めた事前協議が県教育庁文化財課及び庄内支庁建設部道路計画課等、関係機関の間で協議で重ねらた。その結果、上高田遺跡ではやむをえず用地に掛かる部分約5,490㎡を対象として緊急調査発掘を実施することで合意に至った。財団法人山形県埋蔵文化財センターは県教育委員会の委託を受けて平成8年度には約2,790㎡を、平成9年度には残り2,700㎡を対象に記録による保存を目的とした緊急発掘調査を実施した。

なお、2次調査では、深さ約2m、幅13~15mの河川跡が調査区を横断することが1次調査と 詳細分布調査の結果から予想されたため、土砂の倒壊崩落や漏水を防止を目的として鉄鋼矢板 を打ち込むことになった。

#### 2 調査の経過

現地調査は第2次調査では平成8年5月7日から9月13日までの実質88日間、第3次調査は平成9年5月6日から7月30日までの実質60日間の日程で実施した。

調査区が農道により3つに分割されることから、南から1区、2区、3区と分けた。第2次調査では1、2区合計2,790㎡が対象となり、第3次調査では3区2,700㎡が対象となる。以下、上高田遺跡第2・3次調査における現地調査工程の概略を記す。

平成8年5月7日に機材を搬入した後、調査区両脇に幅2mの確認トレンチを入れ、河川跡の 正確な位置と幅を確認した上で、調査区域と河川跡との境界域に長さ6mの鉄鋼矢板を打ち込む工事を5月27日から30日まで実施している。

5月30日、2区北側から重機により耕作土を除去した。それと併行して、面整理と遺構検出作業を行っている。

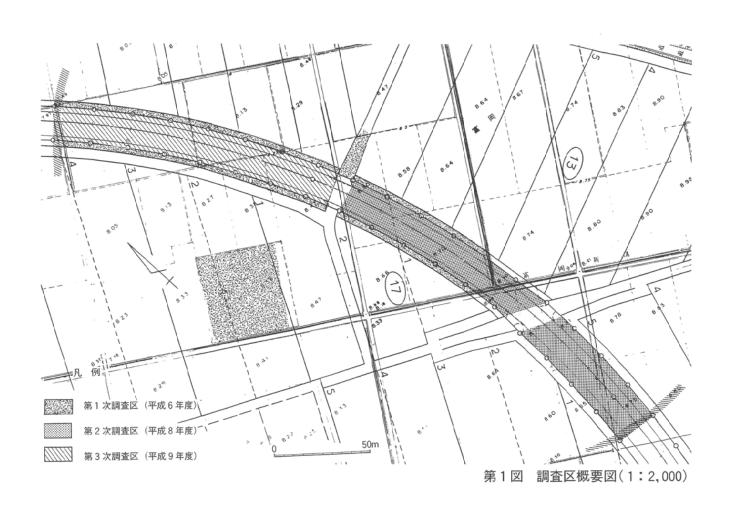
また、次年度の第3次調査でも方眼区画(グリッド)を共用できるよう、国道345号改築工事の施工図に基き、国道345号改築工事の施工図中央線No.139と富岡線第14号取付道路との交差点にある側溝(コンクリート製)上に東西の基点(コンクリート鋲)を設定し、それを基準として、5 m

#### 調査の経緯

×5mを単位とするグリッドを設定した。グリッドの南北軸は磁北から17°40′西に振れる。南北軸にはアラビア数字による番号を南から、東西軸にはアルファベットによる記号を東から割り当てた。

その後、遺構精査を行い、適宜遺構平面図・断面図、遺物出土状況を図面と写真に記録し、9 月2~3日には遺構の完掘状況の空中写真測量を実施した。翌4日には63名の参加者を得て現 地調査説明会を開催している。9月13日には機材を撤収し、現地調査を終了した。

第3次調査は平成9年5月6日に発掘機材を搬入し、翌7日から重機により調査区全体の耕作 土を掘削した。それと並行して面整理と遺構検出を行っている。その後遺構精査を行い、遺構 平面図・断面図、遺構出土状況を適宜図面と写真に記録している。7月23日に空中写真測量を 実施し、翌24日には74名の参加者を得て現地調査説明会を開催した。7月30日には機材を搬出 し、現地調査を終了した。



### Ⅱ 遺跡の立地と環境

#### 1 地理的環境

上高田遺跡は、遊佐町の中心部から北西約2kmの山形県飽海郡遊佐町大字富岡に所在する。 遊佐町は山形県の西北に広がる庄内平野の北端にあり、東西16.6km、南北15.9kmのほぼ正方 形の町域をなす。西は日本海に面し、北には標高2,237mの鳥海山がそびえる。

遊佐町は東から山間部・山麓部・平野部・日本海沿岸部に大別される。山間部は、鳥海山系により形成されている。鳥海山は鳥海火山地帯に属する県内の最高峰で、その端麗な容姿から「出羽富士」の名で親しまれている全国有数の大型成層火山でもある。山麓部は一部が畑地や果樹園として利用されているが、ほとんどが針葉樹の人工林である。平野部は「遊佐海岸低地」と呼ばれる潟湖性の低湿地で、砂・礫・泥などを主体とする湿沼地の土壌が堆積している。現在では大きな河道には人工的な堤防が作られ、低湿地は大規模なほ場整備事業により水田化されるなど、自然の地形が改変されているため、かつての地形はほとんど確認するのが困難な状況になっている。日本海沿岸部には南北約35km、東西1.5~3.0kmにわたって庄内砂丘が延びている。地目は畑地であるが、土質が粗粒質砂で透水性が極めて大きく、保肥力が乏しい。そのため、農作物の栽培時期にはスプリンクラーを使って一日に何度も散水する光景が見られる。

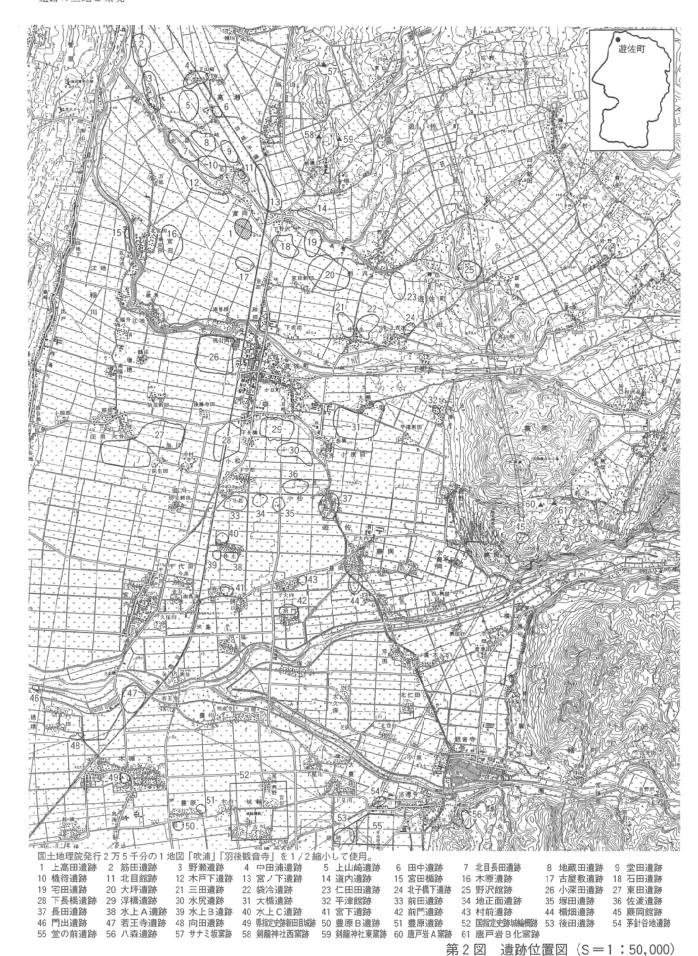
庄内地方の気候は一日の寒暖の差が小さい海洋性気候に属し、内陸部と比較すると、夏は西からの浜風により湿度が低く過ごしやすい。冬は曇りの日が多く、日照時間は夏の4分の1ほどである。また強い季節風が吹き荒れ、地吹雪をおこす。四季を通じて季節風の影響を受けるため、この地方では多くの家屋の周辺に暴風・防砂のための屋敷林が植えられている。

近年、庄内地方では酒田市浜中に庄内空港が建設され、高速道路の東北自動車道酒田線が開通するなど、交通網の整備が進んでいる。今では観光としてその姿を残す最上川の舟下りも、大正年間に鉄道が開通するまでは、物資運搬等に利用される重要な交通手段であった。内陸で生産される米などの農産物や特産の紅花などは川船で酒田に集められ、そこから海船で江戸や上方に回漕された。逆に全国から酒田を通して、塩・水油・干魚・陶磁器のほか江戸、上方の文化ももたらされたのである。

#### 2 歴史的環境

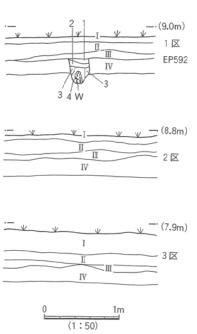
古代大和政権が「蝦夷」と呼んでいた東国に関与するのは大化改新以後である。当初は地元の豪族を懐柔して間接的に関わってきたが、8世紀にはいると城柵を設置し、柵戸と呼ばれる移民を配置して植民政策を大規模に推進するようになった。こうして出羽国に送られた柵戸の出身地は関東・東海・中部・北陸地方の東日本一帯に及んでいる。庄内地方に多く見られる諏訪神社や古四王神社は柵戸達が出身地から勧請したものであろう。

越後国に大化3年(647) 淳足柵が、翌年には磐舟柵が設置され、日本海側でも植民施策が推進されていく。和銅元年(708) には越後国の一部として出羽郡が設置され、和銅5年(712) には陸奥国の置賜、最上郡を併せて出羽国が越後国から分離されて設置した。天平5年(733) には秋田



高清水岡に出羽柵が移転している。しかし「蝦夷」の抵抗が大きくなり、延暦23年(804)には「井口府」に国府が移転している。「井口府」は国指定史跡「城輪柵」であるとする説が有力である。 飽海の平野部にある遺跡の多くは、平安時代を中心とする集落跡である。上高田遺跡周辺の遺跡をあげれば、庄内高瀬川に沿って、北目長田・橇待・宮ノ下・木戸下・宅田・大坪遺跡等、ほぼ同時期の遺跡が並ぶように存在する。これらの多くの遺跡の遺構内からは灰白色火山灰が検出されている。理化学分析の結果から十和田 a テフラと見なされている。これは『扶桑略記』延喜15年(915)7月13日の条に所見される火山灰とみられ、年代比定の重要な参考資料となっている。また、これらの遺跡は国府の城輪柵移転を契機に開発された可能性も指摘されている。

「遊佐」の地名は10世紀はじめに成立した『延喜式』に見られる「遊佐駅」が初見である。11世紀頃には摂関家領として「遊佐荘」が成立するが荘官として実質上支配をしていたのは奥州藤原氏である。中世の遺跡としては大楯遺跡が広く知られている。柵木列とその内部に規則的に設けられた建物跡が検出され、13世紀代を中心とした国産・輸入陶磁器等の遺物も多数出土し、鎌倉時代の遊佐の中心的施設であったとみられる。他にも高瀬川中・下流沿いには平成3年に緊急発掘調査が行われている宮田館跡や南北朝期の当地の支配者であった「北目留守殿」の居館である北目館跡がある。中世のこの地域の動向については、文献史料が乏しくつまびらかではない。



- I 10YR3/4にぶい黄褐色微砂質シルト(耕作土)
- II 10YR4/2 灰黄褐色微砂質シルト (炭化粒・鉄分含む しまっている)
- 10YR6/3にぶい黄橙色微砂質シルト (7.5YR6/8に橙色微砂質シルト塊含む)
- IV 10YR5/2 灰黄褐色微砂質シルト (7.5YR6/6 橙色微砂シルト塊含む)
- 1 10YR5/3にぶい黄橙色微砂質シルト (炭化粒含む)
- 2 10YR5/6 黄褐色微砂質シルト (炭化粒含む)
- 3 7.5YR5/4にぶい褐色微砂質シルト (炭化粒全体に含む)
- 4 7.5YR4/3 褐色微砂質シルト (炭化物)

#### 第3図 基本層序図

#### 3 遺跡の層序

上高田遺跡は庄内高瀬川と月光川の作用 によって形成された冲積微高地上に立地し、 地目は水田である。上高田遺跡周辺では近 代以降、数度にわたり耕地整理、暗渠管敷 設工事が行われ、遺構面がかなり削平を受 けている。基本層序の観察は、1区(F-16 グリッド付近)、2区(F-30グリッド付近)、 3 区(D-59グリッド付近)それぞれ1カ所 ずつ行った。いずれもⅠ・Ⅱ層が表土であ る。 I 層は耕作土で、しまりに欠ける。 Ⅱ 層は耕作による攪乱を受けていない層でし まっている。Ⅲ層は耕地整理により形成さ れた表土と遺構確認層の漸移層であり、炭 化物粒子・土器片を含みしまっている。 Ⅳ 層が遺構確認層である。遺物はⅠ・Ⅱ層か らも出土しているが耕作と耕地整理による 攪乱により移動しているものと考えられる。

### Ⅲ 検出遺構

#### 1 遺構遺物の分布

第1次調査では、東からSX 2、SG 1・3・6・4・5が検出された。調査者はSX 2を除く 5 カ所が1本の河川の蛇行した跡と推定した。今回の調査により、SX 2 も蛇行した河川跡の落ち込み部分であることが判明し、SG 4、5 周辺で若干の流路の修正を加える必要がでてきた。 河川跡は2区と3区を蛇行しながら流れ、遺物の大半も河川跡から出土している。河川跡のためか、2・3区では河川と同時期の遺構はほとんど検出されなかった。1区からはピット群や土坑、溝跡が検出され、ピットのいくつかは掘立柱建物跡として組み合わせ可能である。

#### 2 河川跡

今回の第2・3次調査では河川跡を4カ所で検出した。2区ではSG1・2の2本、3区ではSG1300・1301の2本を確認した。詳細は後述するが、いずれも出土遺物の年代は、9世紀から10世紀を主とする。また、河川跡からは様々な動物・植物遺体が出土した。詳細を記す紙幅はないが、馬の頭骨や現在山口県口ノ島にいる在来小形牛に近似する牛の左大腿骨等動物遺体やイヌガヤ、オニグルミ、スモモ、モモ、トチ、イネ、ウリ類の植物遺体がある。

#### SG 1 河川跡 (第5図)

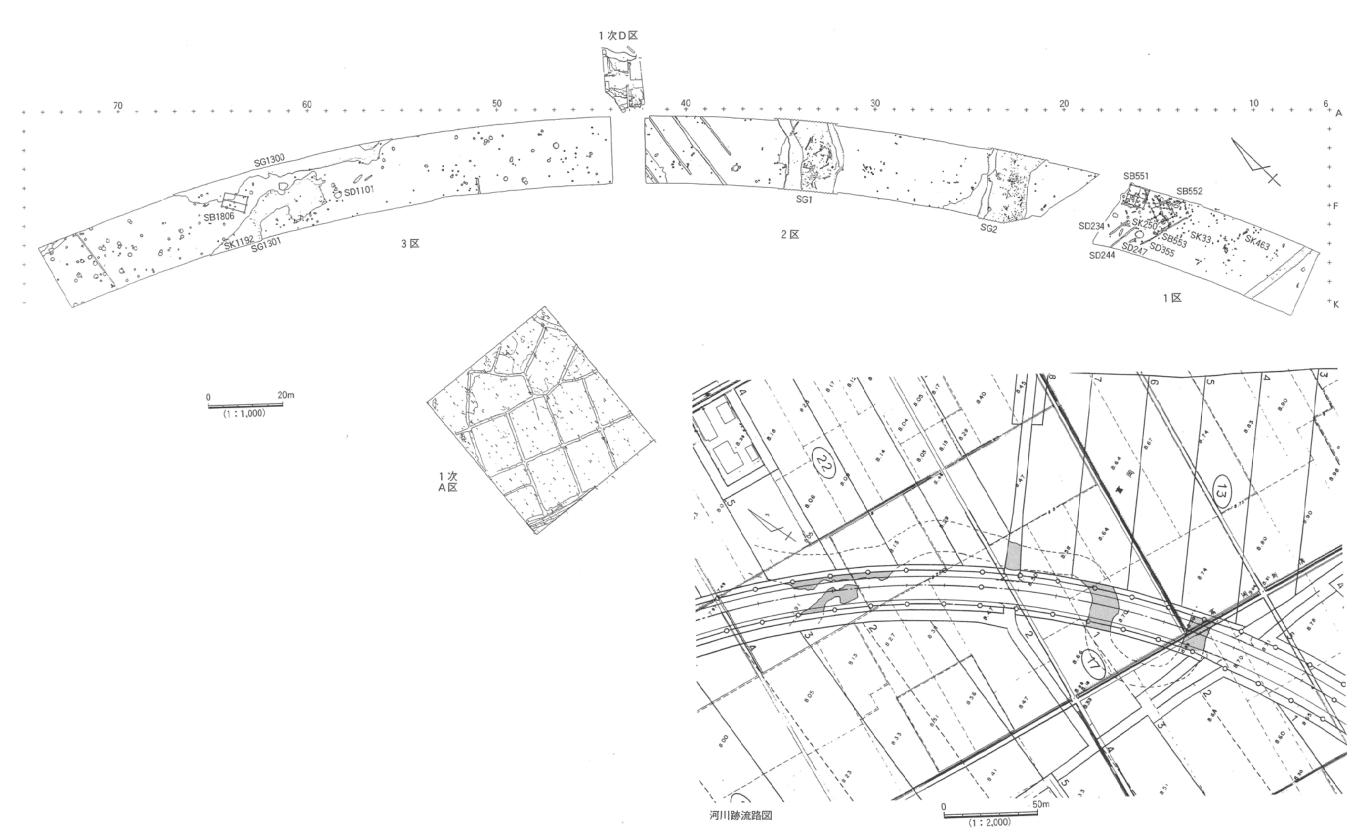
2区の $A \sim E - 31 \sim 35$ グリッド(以下 G とする)に位置する。川幅は約14m、現地表面から川底まで約2mを測る。SG 2が西流し、北東方向に強く湾曲したものがSG 1である。1次調査のSG 1と同一の河川跡である。

層位を観察すると、上位層が泥炭層で、中位層との境周辺からは遺物が比較的纏まって出土した。土器は下位層に比較すると、依存状態も量的にも下位層より劣る。中位層は砂質シルトで、河岸部では火山灰の堆積が確認でき、理化学分析により、十和田aテフラと同定された。下位層はシルト質砂で、完形に近い土器と木製品が、河床部は粗砂層で、潜り込むように土器が出土した。土層の堆積状況から、下位層形成時は水量も多く、流れも急であったと推測できる。徐々に流れが遅くなり、中位層では十和田aテフラも堆積し、その後、水量の急激な減少と流れの停滞が伺われ、葦などの植物が繁茂、堆積して上位層が形成されたと推定できる。

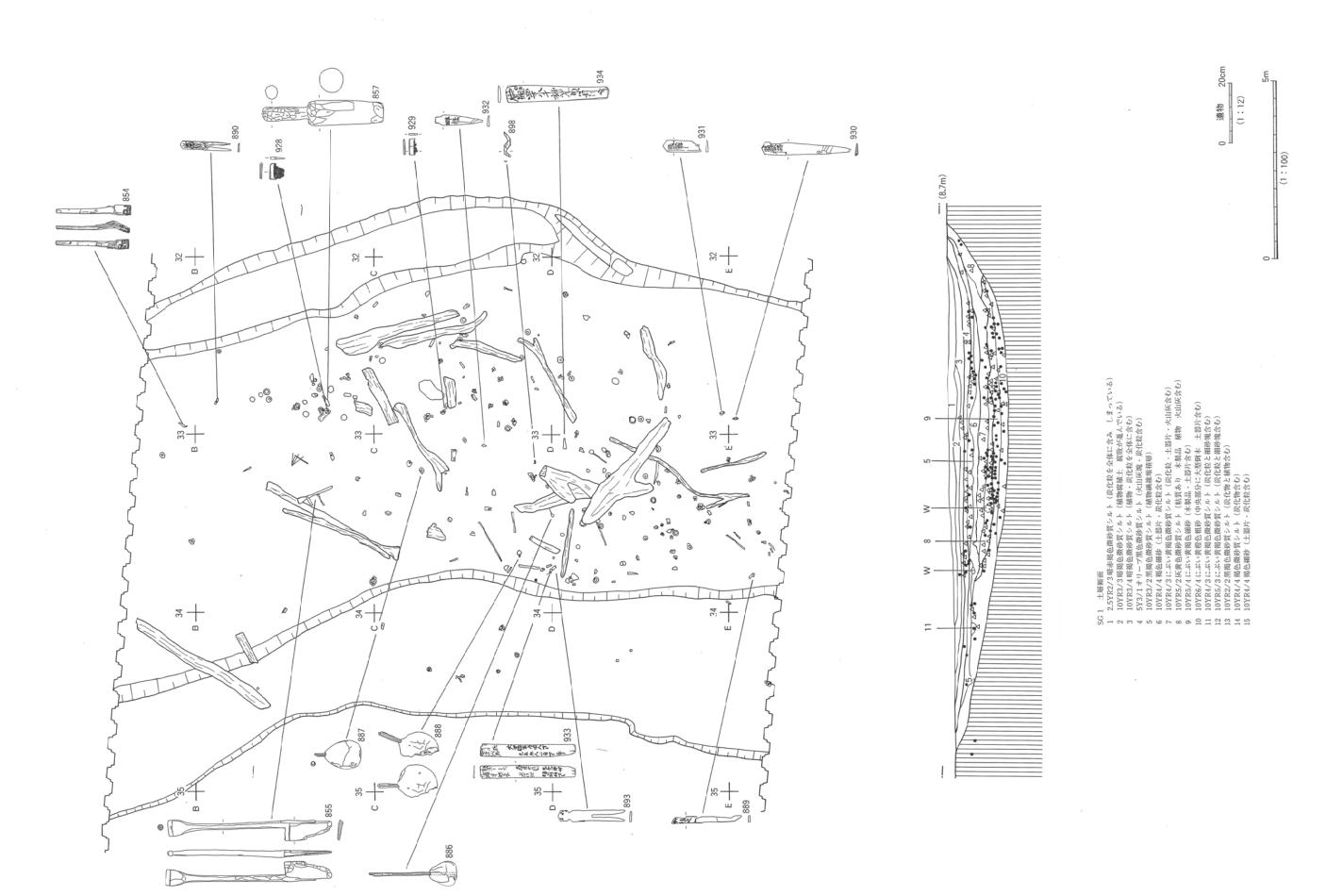
#### SG 2 河川跡(第6図)

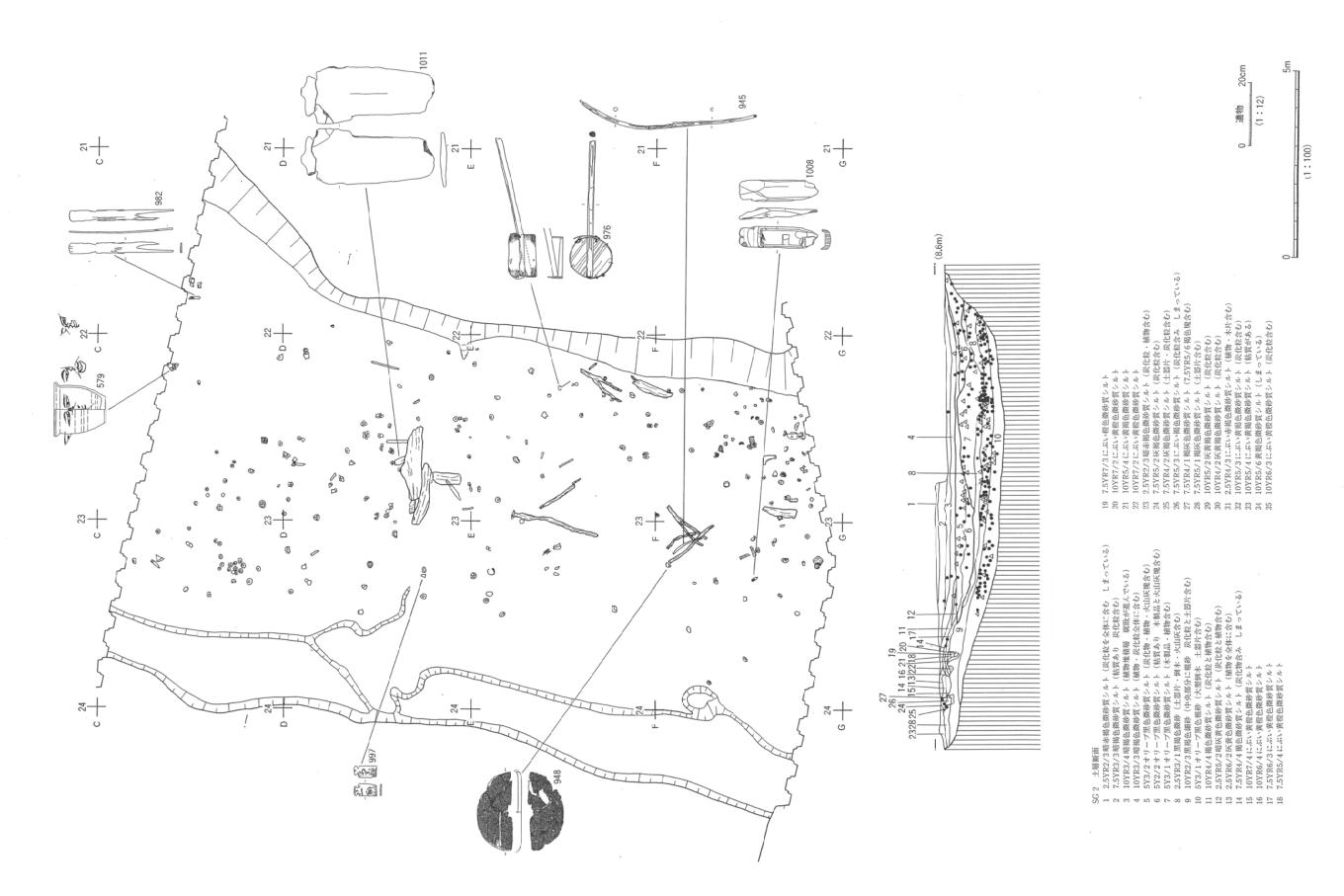
 $2 \boxtimes OC \sim F - 21 \sim 24 G$  に位置する。川幅は約14m、現地表面から川底まで約2mを測る。SG1 の上流にあたり、第1 次調査では落ち込み部分を検出し、SX2 としている。土層の堆積状況は、SG1 とほぼ同じである。中位層にはSG1 と同様、十和田 a テフラの堆積を観察できる。SG1300河川跡 (第7 図)

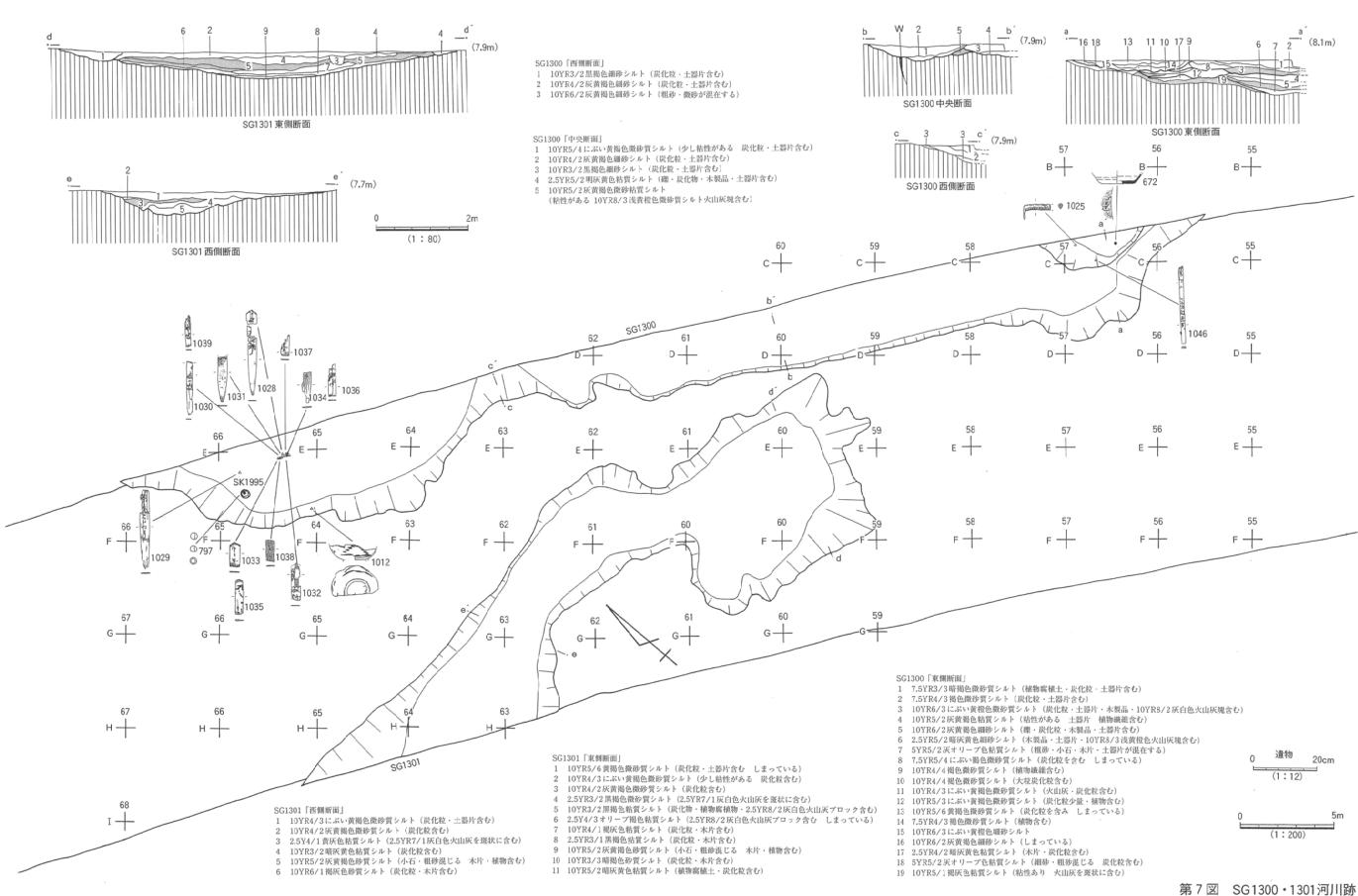
3 区の $B\sim F-55\sim 67$  G に位置する。SG  $2\cdot 1$  の下流にあたる。3 区北側をかすめるように東からやや湾曲して西北方向に流れる。川幅は不明で、現地表面から川底まで約1.5mである。1 次調査ではSG  $4\cdot 5$  としている。遺物の依存状況、量ともに、SG  $1\cdot 2$  より劣る。土層の堆積状況は、SG  $1\cdot 2$  と類似し、十和田 a テフラの堆積も確認できるが、数度の流路変更が観



第4図 遺構配置図







察可能だ。最上層部からは中世の遺物も出土し、中世には湿地として存在していた可能性がある。

#### SG1301河川跡(第7図)

 $3 \, \Box O \, D \sim I - 59 \sim 65 \, G$  に位置する河川跡である。検出面では SG1300 と直接繋がらないが、河川の向きや包含遺物の時期を検討すると、SG1300 と関連が非常に強く、洪水などによる非継続的な流路変更により形成された可能性が非常に高い。土層を観察すると、概ね灰褐色系の砂質シルトであるが、中間に十和田 a テフラを含む層を確認できる。各層とも包含遺物は  $9 \sim 10$  世紀の須恵器、赤焼土器の細片で、実測可能な大きさに復元できたものはなく、割れ口も摩耗しており、流れ込みであることを如実に物語っている。木製品は出土していない。

#### 3 掘立柱建物跡

本調査では合計4棟の掘立柱建物跡を検出した。他にも1区の北東部を中心に多数のピットを 検出したが、建物跡に組み合わせることができなかった。以下掘立柱建物跡の概略を記す。

1 区  $E-15\cdot 16$  G に位置し、2 間×2 間の東西棟総柱建物跡である。建物の主軸方向は $N-43^\circ$  30'-W を測り、梁行の間尺が $2.4\sim 2.6$  m、桁行の間尺は約2.5 mである。柱穴の深さは検出面から  $8\sim 36$  cm を測る。覆土は堆積により形成されたようである。

#### SB552(第8図)

SB551(第8図)

1 区 E · F -14 · 15 G に位置する 2 間× 2 間のほぼ正方形の建物跡である。建物の主軸方向は N -49° 30′ - W を 測り、梁行の間尺が1.8  $\sim 2.3$  m、桁行の間尺は1.8  $\sim 2.2$  m とややばらつきが 見える。 SB 553 と 重複が見られ、時期差が想定される。

#### SB553(第9図)

 $1 \boxtimes F - 14 \cdot 15 G$  に位置する  $2 \parallel \times 2 \parallel$  のほぼ正方形の建物跡である。建物の南北軸の方向は  $N-36^\circ-W$  である。SB552と重なることから、時期差が存在すると見られる。柱の間尺が1.6  $\sim 2.2 \, \mathrm{m}$  を測る。柱穴の重なり具合から立て替えがあった可能性が高い。

#### SB1806(第9図)

3 区 D · E  $-63 \cdot 64$  G に位置する 2 間 × 2 間の南北棟総柱建物である。建物の主軸方向は N  $-44^\circ$   $45^\prime$  - W で、梁行の間尺が  $3\sim 3.2$  m、桁行の間尺が  $2\sim 2.2$  m である。 SG 1300 と一部重なる。 掘り方は浅く、耕地整理等で削平されたものと見られる。

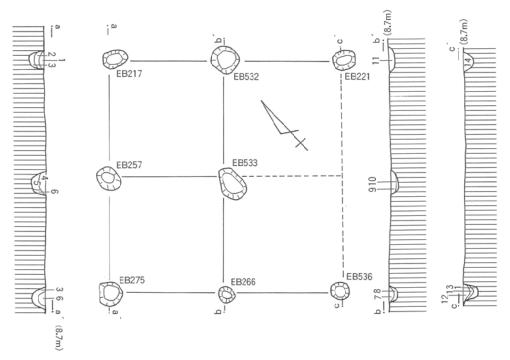
#### 4 溝跡

#### SD234(第10図)

1区 $F \cdot G - 16 \cdot 17$ G に位置する長さ 6 m、幅 $30 \sim 50$ cm、深さ 15cmの溝跡である。 $SD \cdot 244 \cdot 247$  とほぼ平行であり、同時期のものと見られる。

#### SD 244(第10図)

1区F·G-16·17Gに位置する長さ9m以上、幅30~50cm、深さ20cmの灌跡である。



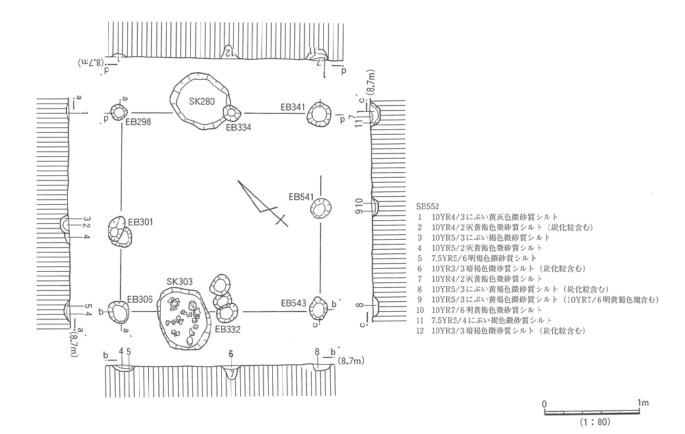
- 7.5YR6/3 にぶい褐色敞砂質シルト (7.5YR4/3褐色塊を含む) 10YR5/2 灰黄褐色微砂質シルト 10YR5/4 にぶい黄褐色微砂質シルト

- 10YR3/4暗褐色微砂質シルト (炭化粒含む)

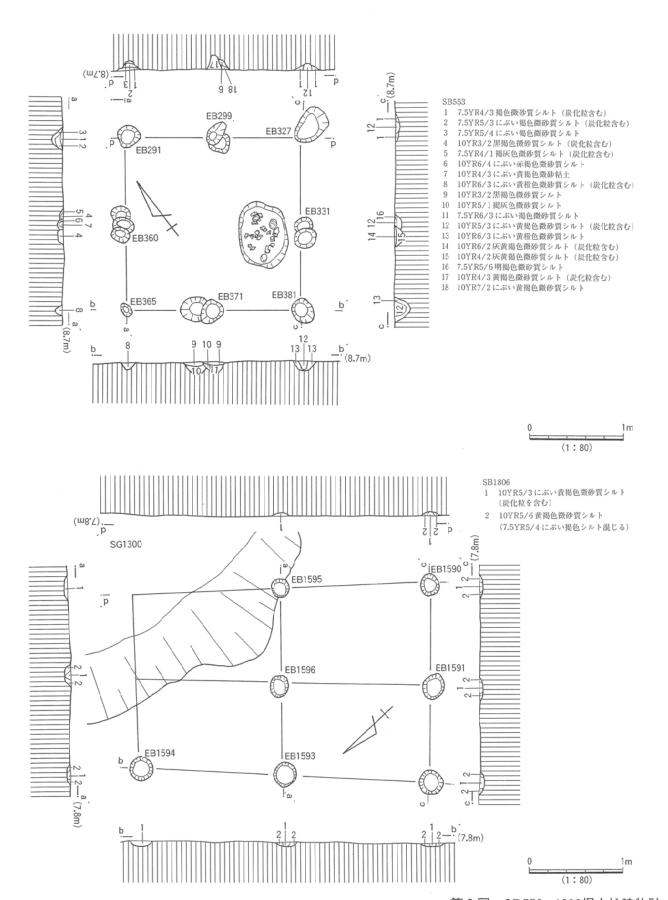
- 10YRS/3にぶい黄褐色微砂質シルト 10YRS/4暗褐色微砂質シルト (炭化粒含む) 10YR4/2灰黄褐色微砂質シルト (しまっている)
- 8 10YR5/2 灰黄褐色微砂質シルト (7.5YR5/4 にぶい褐色塊含む) 9 10YR4/3 にぶい黄褐色微砂質シルト (炭化粒含む) 10 10YR5/4 にぶい黄褐色微砂質シルト (7.5YR5/6 明褐色塊含む)

- 13
- 101R3/4におい貨物と成砂質シルト 7.5YR4/3 褐色微砂質シルト 10YR3/3 暗褐色微砂質シルト (炭化粒含む) 10YR4/3 にぶい黄褐色微砂質シルト (炭化粒と土器片含む)

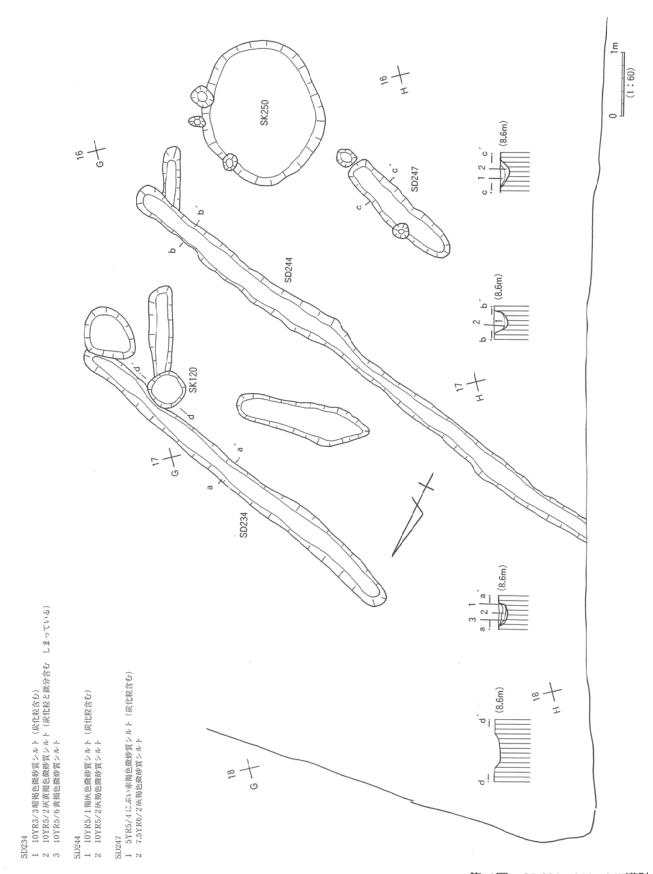




第8図 SB551 · 552掘立柱建物跡



第9図 SB553・1806掘立柱建物跡



第10図 SD234・244・247溝跡

#### SD247(第10図)

1区F·G-16·17Gに位置する長さ2m、幅50cm、深さ20cmの溝跡である。

#### SD355(第11図)

 $1 \boxtimes F \cdot G - 13 \sim 15 G$  に位置する長さ14.3m、幅20 $\sim 30$ cm、深さ10cmの溝跡である。幅も狭く、深さも浅く、一部検出不可能なところもあるなど、建物の雨落ち溝である可能性もある。SB553と平行であることから、SB553はもっと規模が大きい可能性もある。

#### SD1101(第11図)

3 区 E − 58 G に位置する長さ4.7m、幅1.1m、深さ30cmの溝跡である。覆土は比較的締まった明褐色の粘質シルトで、出土遺物はいずれも実測不可能な小片だが、赤焼土器の瓶、堝の他、大窯 I 期か II 期の瀬戸の印花皿や近世の肥前系陶器が見られ、遺構の年代は近世と見られる。

#### 5 土坑

土坑はほとんどが1区にあり、ほとんどが平安期の遺物を伴う。

#### SK228(第11図)

1区G-18Gに位置する1.5×2m、深さ35cmの不定形の土坑である。

#### SK1192(第11図)

3 区 G − 67 G に位置する。 S G 1301を掘り込んでいる。 1 層目から『治平元寶』が出土した。 SK 463(第12図)

 $1 \boxtimes H - 11 G$  に位置する $2.2 \times 1.1 m$ 、深さ15 cmの溝状の土坑である。 $径10 \sim 20 cm$ の礫と伴に赤焼土器が割れた状態で出土した。廃棄坑の可能性が高いと推定している。

#### SK303(第12図)

1区G-16Gに位置する1.5×2m、深さ35cmの土坑である。径15cmほどの礫と赤焼土器、須恵器瓶などの破片が出土した。堆積層が数層存在し、比較的長期間使用されたと見られる。 SK33(第12図)

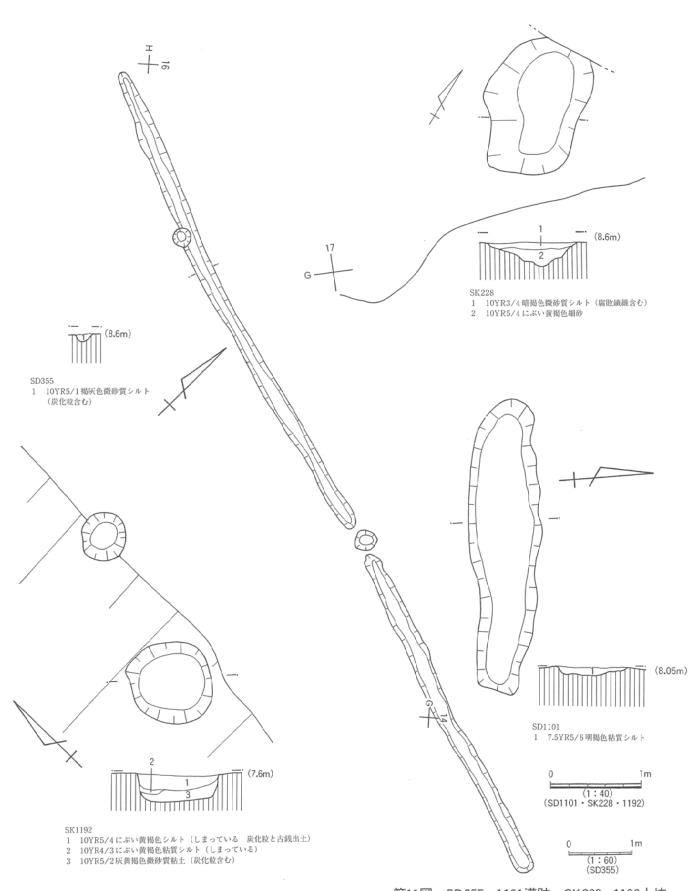
 $1 \boxtimes I - 12 G$  に位置する  $1 \times 2.4$  m深さ15 cmの土坑である。灰褐色のシルト層の下に黒色の藁状の炭化物層があり、そこからは赤焼土器の坏、瓶、堝が、径 $10 \sim 20$  cmの礫と伴に出土し、その下層には焼土を含む層が存在した。図化した 5 点の赤焼土器には使用痕が認められない。何らかの祭祀遺構である可能性も否定できない。

#### SK250(第12図)

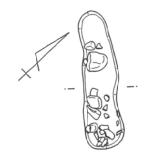
1区H-17Gに位置する径3m、深さ50cmの土坑である。赤焼・内黒土器の細片が出土した。 SK30(第12図)

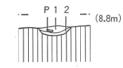
2 区 E -19 G に位置する径1.8 m、深さ30 cmの土坑である。赤焼土器の細片が少量出土した。 SK 1995(第7図)

3区F-66Gに位置する。SG1300を切っている。礫や須恵器、赤焼土器片に覆われるようにして、骨片が出土している。依存状態が良くなかったため、種別や部位は不明である。周辺から中世の卒塔婆、陶磁器片や水晶球が出土したことから中世に形成されたと見られる。



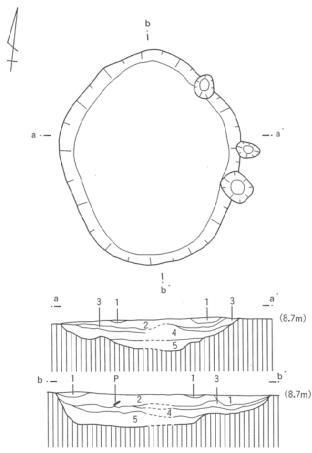
第11図 SD355・1101溝跡、SK228・1192土坑



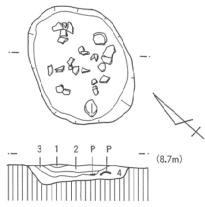


#### SK463

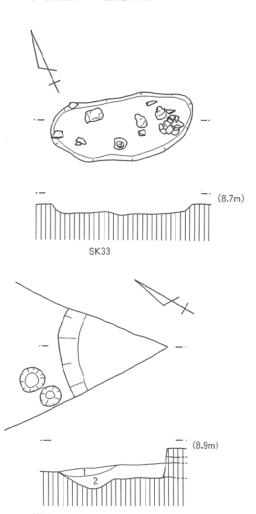
- 1 10YR5/3にぶい黄褐色酸砂質シルト(炭化粒と土器片含む) 2 2.7YR5/3にぶい褐色微砂質シルト(炭化粒含む しまっている)



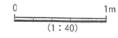
- 250
  10YR4/3にぶい黄褐色微砂質シルト (炭化物含む)
  10YR5/3にぶい黄褐色微砂質シルト (7.5YR5/6 明褐色塊含む)
  7.5YR4/4 褐色微砂質シルト
  7.5YR6/4にぶい橙色微砂質シルト
  10YR6/3にぶい黄橙色微砂質シルト
  10YR5/4にぶい黄褐色微砂質シルト



- SK303 1 7.5YR4/2 灰褐色微砂質シルト(炭化粒と土器片含む) 2 10YR3/3 暗褐色微砂質シルト(炭化粒と土器片含む) 3 7.5YR5/4 にぶい褐色微砂質シルト(土器片含む) 4 10YR5/3 にぶい黄褐色微砂質シルト



3 10YR5/4にぶい黄褐色細砂(火山灰含む) 4 10YR4/4褐色細砂(7.5YR5/6明褐色塊含む)



第12図 SK30·33·250·303·463土坑

## IV 出土遺物

上高田遺跡の第2次調査では86箱、第3次調査では35箱、合計121箱の遺物が出土した。種別に土器、木製品、土製品、金属製品、石製品と分類できる。これらの大半が河川跡から出土した。遺物の大半は奈良時代末から平安時代初期の時期に帰属する。以下、時期について明示しない遺物は全てこの時期に属すると見ている。以降、種別ごとに出土遺物の概略を述べる。

#### 1 土器(第13~47、49~53図)

土器の帰属時期は奈良時代末から平安時代初期である。図化した遺物の出土地点も大半が河川跡からで、過半数はSG 1・2 からの出土である。挿図では、出土遺構別にSG 1・2・1300、その他の遺構の順に掲載したが、本文では紙幅の関係上、時代別に概述する。

#### 縄文・弥生時代の土器(第47図)

いずれもSG1河床部から出土した。(649、653)は断面が摩耗し、河川の上流部より流された ものと見られる。いずれも小片のため詳細は述べられないが、概ね(649)は縄文時代晩期、(653) は縄文時代後期、(654)は縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての所産と見られる。

#### 奈良・平安時代の土器

今回の調査で主体を成すのはこの時期である。今回図化した土器の出土地点は、SG 1・2 が大半を占め、SG 1300がこれに続くが、SG 1301からの出土遺物は、ほとんどが摩耗した細片で実測に耐えられず、紙幅の関係もあり図化作業の対象外とした。土器の種別は須恵器、赤焼土器、土師器、施釉陶器に大別可能である。以下、種別にその特徴の概略を述べて行く。

#### 須恵器

図化した須恵器は器種別には無台坏、有台坏、皿、蓋、壺、甕に分類できる。量的には圧倒的に無台坏を中心とする供膳形態が優位を占める。そこで、無台の坏について別個の分類作業を行った。製作技法と器形を観察し、今回は敢えて大雑把に10種類に分類してみた。

A:底部が回転ヘラ切りで、底径は大型である。体部から口縁部がほぼ直線的で、器高指数が高めであり、箱形に近い。(18、258、261)

B:底部が回転へラ切りで、底径は大型である。A類よりやや器高が低めで、体部から口縁部がほぼ直線的で、逆台形を呈する。 $(1\sim17,282,284)$ 

C:底部が回転ヘラ切りで、底径は大型。底部と体部の境は底部回転糸切りのように鋭いエッジを持ち、口縁部は直線的である。(24、25、27、277、279)

D:底部が回転ヘラ切りで底径がBより小型化し、体部の外傾度が強い。器高は低い。(26、28、29、262~266)

E:底部が回転ヘラ切りで、底径は非常に小型化している。体部から外部にかけては直線的に大きく外傾している。(19、20、31、274~276)

F:底部が回転糸切りで、体部から底部にかけてやや弯曲しながら立ち上がる。体部下部を押し広げるように見かけの底径を大型化している。(59、64、305、308、309)

G:底部が回転糸切りで、器高が高く、体部が弯曲気味である。口縁外部は直線的であるが口縁内部が、体部に比して器厚が厚い。(37、38、322)

H:底部が回転糸切りで、器高はG類より低く、体部はやや弯曲傾向が伺え、口縁部は外反傾向が強い。(57、61、318、321)

I:底部は回転糸切りで、体部は外傾度強く、口縁部は直線的である。E類に類似した形態、法量である。(58、60、63、307、313~316)

J:底部が回転糸切りで、底径は小型化している。器高は低く、体部は大きく外傾し、口縁部は大きく外反している。(46~54、329~331)

K:底部が回転糸切りで極端に小型である。体部が弯曲し、口縁部が厚みを持ち特徴的で、外 反気味である。蓋の可能性もある。(55)

有台坏も器種分類可能である。底部より高台径が極端に小さく、底径指数が大きく、体部から口縁部にかけては直線的で、大型と小型のものがあり、大型のは身が非常に深い。(106~110、116、117、360~366、369、371、704、707)底径指数が小さく、体部が弯曲し、口縁部が外反する。大型と小型のものがあるがどちらも身が深い。(118、120、122、123、367、368、370、372~379、706) 皿は4点出土している。(385~387、709)口縁部が外反気味で、底部切り離し技法は(387)のみが回転糸切りで、他は回転ヘラ切りである。墨書率が高く、特殊な用途が想定される。

(424、425)の胎土は色は赤褐色を成しているが、胎土はきめが細かく、須恵質であるので須恵器に分類した。器種は椀・鉢類で鉄鉢形を呈していると見られる。

蓋は全体的に点数が少なく、他の器種に比べて依存状態が悪く、分類も困難であり、大まかな傾向を示すに留める。天井部が平らなものと弯曲しているものが見られる。つまみの部分は宝珠形に近いものと中央部が凹んでいるものが見られる。(140)は特殊な形式で、口縁端部が坏状になり器高が高い。外面が全面灰被りで、緑褐色の釉状になっている。(396)は壺の蓋である。

壺は長頸壺と短頸壺がある。全体的に出土個体数が少なく、完形品もない。体部が球形に近く、 肩部との境が不明瞭なものと、体部が直に上がり、肩部との境が明瞭なものとに大別できる。ま た、口縁部にもバリエーションが伺える。

甕も破片資料が多いが(154)はほぼ完形である。また、内外のタタキ、アテ痕のパターンには 条線状、青海波、格子状などの種類があり、数種提示した。(431)には割れ口を布であてがい、漆 で補修した痕跡が観察できる。

横瓶は2点出土した。(157)は焼きが良く、外面が被灰し、緑褐色の釉状になっている。口縁部と閉塞部は接合しないが、同一個体である。(423)は肩部に「加」とヘラ書きされている。 赤焼土器

今回の調査で出土量が最も多く、出土遺物全体の量の割合も7割強を占める。器種を見ると無台の坏が圧倒的に多く、他に有台坏、甕、堝がある。

出土量の多い無台坏を以下の分類基準に当てはめて分類してみる。

A:底部は回転ヘラ切りで、体部の一部ないし全体に調整が成されている。(203、548、720)

B:底部は回転糸切りで、体部はやや屈曲するように内弯する。器高の低いものと高いものが

あり、時期差も想定される。(174~181、491~497)

C:底部は回転糸切りで、体部は内弯気味で、口縁部は外反傾向も伺えるが、ほぼ直線を成す。 (183~199、474~477)

D:底部は回転糸切りで、器高が高い。口径指数は小さく、体部から口縁部にかけてはやや外 反傾向も伺えるが、ほぼ直線的である。(158~165、432~443)

E:底部は回転糸切りで、底径が小さい。口径が大きく、体部から口縁部にかけて直線的に大きく外傾している。(171~173、446~449)

F:底部は回転糸切りで、口径が大きい。体部は直線的に大きな外傾度を示しながら立ち上がるが、口縁部の外反度が大きい。器形の大きな歪みが顕著である。(166、168、750、751)

G:底部は回転糸切りで底径は大きい。器高はやや低く、体部は弯曲気味に立ち上がり、口縁部が外反傾向が伺える。(204、205、547、549)

H:底部回転糸切りで、器高は高い。体部は弯曲し、口縁部は直線的である。(444、445) 有台坏も確認したが、量的には僅少である。(210、211、571)

有台皿は3種類に分類できる。A:高台が高く裾広がりで、体部は弯曲し、口縁部が大きく外反している。器厚は薄く、造りは丁寧で金属器の強い影響を読み取れる。(209、567、568、574、646) B:高台はAより低く、体部は直線的に外傾し、口縁部は大きく外反する。(569) C:無台で、底部がやや高く、高台状になっている。器厚は厚く、体部から口縁部が大きく外反している。類例としては下長橋遺跡、境興野遺跡などで出土している。(566)

蓋のつまみ(215)も1点出土している。須恵器の蓋のつまみより大きく、粗雑である。

小型の甕は比較的多数出土している。ほとんどの甕の内外には使用痕跡が認められる。形体は大きく体部が丸みを帯びるものと直線的なものとに分類できる。口縁部は外面が丸みを帯びるものと「く」の字状に屈曲するもの、直線上に立ち上がるものに分類可能である。外面はほとんどがロクロ撫でを施しているが、他にもカキ目やタタキ、アテ痕のあるものも確認できた。一部へラ削りを施したものもある。(579)は外面に人面が4面描かれている。口縁内部の一部分に煤の付着がある。(580)は口縁部のみで、外部に折り返している。大型の甕(598、652)は、外面にタタキを施した後、ハケメ調整の後、体部下部にはケズリを施している。(652)外面には、不明瞭ではあるが、「宅」の文字が墨書されている。

堝は口縁部のみであるが、口縁部の断面で何種類かに分類可能である。体部では、内外共に平行タタキのものと外面は平行タタキで、内面は青海波であるものに分けられる。

(238、603、604)は双耳の坏か甕の耳である。

#### 黒色土器

黒色土器は土師器の内外面に黒色化処理を施したものである。全体的にミガキが明瞭で、使用痕が見られないのが多く、ミガキの単位の幅が広いものが多い。器種は坏と皿で、坏が多勢を占める。坏は有台と無台があり、細分すると5つに分けられる。A:無台で底径が極めて小径で、体部から口縁部にかけては大きく弯曲するように立ち上がっている。(777、778、779)

B: 底部が小さく、体部が直線的である。口縁部も直線的に立ち上がる。(239、240、242~244、

 $246,610 \sim 617,619,630,768,769,770$ 

- C: 底部が小さく、体部は内弯的で、口縁部も外反傾向が出る。(606、609、618、620~629)
- D:有台で、体部はほぼ直線的で口縁部も直線的に立ち上がるもの。(245、248、252、253、256、631、633、634、636、637)

E:有台で、体部は弯曲し、口縁部が外反している。(247、250、632、635、780、781)

皿は有台で、高台は低く、口縁部が大きく外反している。(254、257)

#### 製塩土器

図化したのは(660)1点のみである。外面は多面体にヘラケズリが施され、断面は輪積痕の確認が困難である。他にも北目長田遺跡などで出土している大型製塩土器の破片も出土している。

#### 2 陶磁器(第46、53図)

施釉陶器では灰釉陶器皿1点(639)と緑釉陶器3点が出土した。灰釉陶器皿のみ図化可能で、黒笹90号窯産と見られる。緑釉陶器は皿と見られ、同窯産である可能性が高い。

中世陶磁器の出土量は僅少である。出土地点はSG1300のF-66Gに集中している。何れも河川最上層であり、水晶球や卒塔婆なども出土している。

(782~784)は珠洲系陶器の擂鉢である。何れも海面骨芯を含むが、(782)は焼成が良くない。(785)は龍泉窯系の青磁碗である。(786)は天目茶碗の破片である。(787)は朝鮮陶器で、見込み部分には目跡が見られる。

#### 3 土製品(第47、48、53図)

(657、658、661)は粘土を手で捏ね、乾燥させたものである。何れも河川跡から出土した。指跡が残っているものもあり、用途は不明である。(664)は土製支脚で、秋田県宮の前遺跡出土品と酷似した形状である。(778~796)は土錘である。

また図化しないが、SG1、2からは鞴の羽口片が出土し、小鍛冶工房の存在が想定される。

#### 4 石製品(第48、53図)

(659、662)は砥石、(663、665)は、火山岩質の石材を用いた石皿である。底部、側面などが調整され、時期は古代を想定している。(797)は水晶球である。亀裂が見られるが、ほぼ球形に加工されている。SP1995周辺から出土し、中世の遺物と見られる。

#### 5 木製品(第54~77図)

今回の調査では河川跡から大量の木製品が出土した。県内でも出土例の少ない遺物も多数出土 している。種別に見ると食器、農具、生活用具、祭祀用具、部材、用途不明木製品に分類でき る。量的には、食器と祭祀用具が他の器種を圧倒している。挿図に関しては土器と同じく遺構 別に掲載したが、本文ではまとめて概述する。

#### (1) 食器

出土した食器を製作技法で分類すると、挽物、刳物、曲物に大別できる。量的に見ると挽物と 曲物が優越している。また、挽物を器種別に見ると、椀、杯、皿、蓋に分類できる。

#### 挽物

#### 漆器

滚器は3点出土した。(798)は古代の椀で、内外面ともに厚めに黒漆が塗られている。他の白木椀の高台内部に削り込みなどが見られないのに対し、高台部分を削り込んで漆も塗っている。体部に膨らみがあり、口縁部は強く外湾しながらも薄く仕上げられており、金属器の鋺を強く意識して製作されたことが伺われる。(948)は古代の皿である。底部しか依存していないため、器形の詳細は不明であるが、漆の塗り方や厚みなどは椀と同じである。(1012)は中世の漆器椀である。内外ともに赤漆で、外面には黒漆で秋草文が施されている。出土地点の近辺からは珠洲系の甕片や瀬戸の細片も出土している。

#### 椀

高台が低く、口径が大きいもの(799、800)と高台が高く口径が小さいもの(801~803、954)に分類できる。前者は口縁部が外反し、作りが丁寧な精製品である。

#### 杯

椀と比較し口径が大きく、器厚も薄い精製品である。(804、953)

#### $\mathbb{I}$

A類:無台で器厚が薄く、底部から口縁部が立ち上がる。(806、807、809、814、949、950、955、1013) B類:有台で器厚が厚く、見込み部分の凹みが少なく、内面が平面的。(808、811~813、815~820、830、955、957、958、963、965、966、1014~1017) C 1 類:高台から直に口縁が立ち上がる。(952) C 2 類:内面が平面的であるが、無台である。(964)

#### 蓋

蓋は3点出土した。(956)は当初穿孔した皿と判断したため皿として図化した。天井部分に荒削りの痕跡を確認でき、穿孔してつまみを付属させている。天井部内面と口縁部は皿A類と類似した特徴を成す。(960)大型容器の蓋で、精製品である。器厚は薄く、天井部には2本の隆線が2カ所に施されている。つまみ部分は欠損しており、有無や形状は不明である。(1018)は小形容器の蓋で、天井部外面にはケズリ痕跡が確認できる。つまみ部の穿孔は鑿状の器具で四角形にくり貫かれている。内面は、丁寧に仕上げられている。

#### 刳物

刳物は(959)の盤のみである。器厚がかなり厚く、粗型である可能性もあるが、他に粗型らしい木製品は確認できず、近隣に木製品の製作工房が存在した可能性は低いと見られる。

#### 曲物

曲物は河川跡から完形品もまとまった数量出土しているが、多くは底板と側板が分離して出土している。大きさから分類すると、直径200mm未満の小型Ⅰ類と直径200mm以上の大型Ⅱ類に大別できる。数的にはⅠ類が優越する。底板と側板の結合方法から分類すると、底板の周縁部に

段を設け、側板をあてるイ類と底板の側面に直接側板をあて、外部から木釘、又は樹皮で固定する口類に分類できる。また、底部形状は、確認可能なもの全てが円形である。1カ所ないしは5カ所の穿孔がある底板も出土した。5カ所穴のあるものは甑または蒸籠として使用されたと見られる。1カ所穴のあるものも同様の使用が可能であるが、穴につまみを装着し、蓋に使用した可能性が強い。側板を観察すると多くが内面にケビキを入れているが、器高が低い曲物には見られない。また、穿孔した側板も見られる。(821)は柄杓の側板と見られ、(970)は2カ所穿孔が認められ、取っ手として紐などを通していたことも想定可能である。

I イ類(828、832、972、978): 底板のみの出土である。 4 点中 3 点が樹皮で側板と固定していた痕跡を確認できる。

I ロ類 (805、810、822、823~827、831、833、961、968、969、973、974、976、977、979、980、1020~1022): (980)のみ樹皮結合で、他は木釘結合である。側板と底板が結合した状態で出土したのはこの類しかない。数も多く、残存率の高さから技術的にも最も安定しているのであろう。 Ⅱ ロ類 (971):直径が260mmを越える。 2 カ所に炭化を確認できる。

また、(946)は、曲物の底に付着していたと見られる漆幕である。

#### (2) 食事具

出土した食事具として箸がある。今回の調査では河川跡から完形品だけでも200本を優に越える大量の箸が出土している。ほとんどが250~300mm程度の長さで、断面は多角形を成し、ほとんどが両端が細くはなっているが、尖らせてはいない。

#### (3) 農具

#### 農耕具

鋤(855)は一木平鋤で、把手は逆三角形を成すが穿孔は存在しない。刃部はU字形の刃先を装着したと見られ、装着部分は段を有している。また、柄部と刃部がやや屈曲を成し、実用性が考慮されている。裏面にはケズリ痕が認められる。

鍬(1011)は柄穴が無く、上部に着柄軸の基部があることから曲柄平鍬である。軸部と刃部の境が明瞭で、刃部幅が肩幅より狭い。

#### 収穫具

(853)は、鎌柄と見られる。上部は炭化し、全体にケズリ痕が認められ、下端には滑り止めの 突起が見られる。また、二股になった材を使用し、柄全体が「く」字型に屈曲している。

#### 調整具

(857)は長さ342mmの横槌である。敲打部と柄部の境が直角で、敲打部が細長い。民具学の成果によれば、豆打ち用の横槌となる。

#### 編具

俵・筵・菰などの藁製品を編む道具である。(856)は長さ220mmの木針で、全体に反りがあり、 下部に突起の痕跡がある。地元で「かがりとうし」と呼称する俵製作用木針に酷似する。

(1006)は編縄(縦糸)を巻いて編台と組み合わせて使用した木錘と見られる。芯持材の中央部に両側から不規則に切り込みを入れている。

#### (4) 工具

篦は5点出土している。(868、870)は柄部と身部の境が不明瞭で、身部の先端が平らである。(869)は、前記の分類形態に近いが、柄部と身部が「く」字状に屈曲している。(1007)も柄部と身部の境が不明瞭であるが、身部の先端が丸くなっている。(1024)は柄部は基部しか残存しないが、身部との境が明瞭で、身部先端が丸い。また、朱の痕跡が認められた。

(854)は漆刷毛である。穂先は喪失し、柄部が3カ所折られており、意図的に折って廃棄したものと見られる。幅広の柄元に切れ目が入り、穂を挟め、2カ所を糸で結合している。

火鑽臼が2点出土している。厚さは20mmほどの角材で、使用面の右側面に火種を溜める「V」字状の刻みを入れ、火鑽穴は全て刻み位置に対応している。他にも火鑽臼の可能性がある角材状木製品(1000)も見られる。

(945)は長さ882mm、径が19mmで両端にケズリが入っている。両端にず 状の加工が見られるため、弓に分類する。また、図化は行わなかったが、2点弓と見られる木製品がある。

#### (5) 装身具

櫛は(928、929、1025)の3点出土している。いずれも横櫛で、基部の断面を観察すると、両面から歯部の刻みを入れていることがわかる。

下駄は(941)の一点が出土している。長さ165mm、幅84mmである。一木作りの連歯下駄である。前壺は幅の3:4の位置で、中心からやや右にずれ、後壺は後歯の前に位置する。歯は下辺幅が台より広く、前歯がほぼ垂直なのに、後歯がやや後斜めである。台は前後の端が弧形を成し、後幅の方が狭い。

#### (6) 祭祀具

河川跡からは大量の祭祀具が出土している。木製の祭祀具としては、斎串、人形、刀形、舟形、 馬形などがある。他に用途不明木製品の中にも、祭祀具が含まれていると思われる。

#### 斎串

斎串は河川跡から大量に出土している。今回は紙幅や時間等の制約から、一部の依存状態が良好なものや、形状が特徴的なものを選別して図化した。

切込みの入れ方により以下の8種に区分できる。

- A: 切込みがない。(899、900、903、905、906、908、909、985、987、990、1047、1049)
- B1:上端部に正面に切り口が向くように、縦方向の切込みが1カ所ある。(896、897、907、927、983、1043)
  - B2:上端部に側面に切り口が向くように、横方向の切込みが1カ所ある。(895、1045)
  - C:側面の上端部に左右1カ所ずつ上方から切込みがある。(986)
  - D:側面の上端部に上方から複数の切込みを左右に入れている。(901、902、910、989)
  - E:側面に上方及び下方から複数の切れ込みを入れた。(912、913)
  - F:上端部正面方向1カ所、側面上端部に左右1カ所ずつ、計3カ所の切込みがある。(1044)
  - G:側面を左右対称に三角形に切り欠いている。(904)
  - 形状は、上端部を圭頭状に下端部を剣先状に加工するのが多数を占めるが、例外的に(1047)が

上端部を圭頭形に加工し、下部の幅が広いオベリスク状のものが見られる。

#### 人形

河川跡から5点出土した。県内では酒田市俵田遺跡に次いで2例目の出土となる。俵田遺跡の 人形の形状には共通性が見られたが、本遺跡出土の人形の形状に共通性は認められない。

(889)は左半身を欠くが、頭頂部を弧状に加工し、側頭部が斜めになるように切込みを入れ肩部も表現している。また腰部には切込みが入り、下端から深い切込みを入れ、足首を含めて脚部を表現している。前面には墨で目鼻口や髪の他に胸の前で組むように手を書き込んでいる。(890)頭頂部を圭頭状に加工し、下端から深い切込みを入れて脚部を表現している。前面に表情がはっきりしないが、人の全身像を墨描している。(891)頭部は弧状に加工し、体部には下方から切込みを入れ、両腕を表現している。下端部は剣先状に加工し、脚部の表現はない。前面に、爪で付けたような傷で眉、目、口が表現され、眉間にも傷が確認できる。また、目、口には墨痕が認められる。(893)頭頂部は圭頭状で、頭部が六角形になるように切込みを入れ、肩部も表現している。体部には下方から切込みを入れ両腕を、下端から深い切込みを入れ、脚部を表している。頭部には眉、目の他、側頭部に耳と推定できる墨描が確認できる。(982)頭頂部は弧状に、側頭部は緩やかな弧を描くように切れ込みを入れ、肩部も表している。体部には下方から切込みを入れて両腕を下端部から深い切込みを入れて脚部を表している。人面の墨描は認められない。

#### 馬形

河川跡から1点出土した。(898)全長は70mmで、表現は極めて抽象的である。ほぼ中央部に下 方から穿孔があり、先の尖った針状のものに刺したことが想定される。

#### 舟形

1点出土した。(1008)船尾部分は欠損しているが、大型の構造船をかなり具体的な表現している。舶先は方形で、断面を見ると船底は丸い。船首部分に上部からの穿孔があり、両舷側には約25mm間隔に丸い刻みが見られ、櫂の装着位置を示していると見られる。甲板と船槽の境には波除け板と見られる表現がある。船槽部には幅21mmの鑿痕が観察できる。

県内では酒田市生石2遺跡、手蔵田10・11遺跡、土崎遺跡などでも出土している。

#### 武器形

2点出土した。(894、996)厚みがあり、断言は出来ないが鏃形と見られる。長さ118mm、厚さ18mm で鏃は九面体を成し、茎部の表現も見られる。

#### (7) 木簡

木片に文字が書き込んである遺物は全て木簡に分類した。今回木簡は全て河川跡から出土している。古代の木簡は7点、中世の木簡は15点である。

(930、931)は3 mほどの範囲内で出土した。(930)は長さ249mm、幅33mmで(931)は下半部が欠損しているが同サイズであると見られる。上部は圭頭状に、下部は剣先状に加工している。材質も同じ木材を使用しており、同時に製作されたと見られる。同じ材から、長方形の板材として切り離した後、それぞれの上部、下部を加工したと推定可能である。表に同一人物によると見られる符籤の墨書がある。この2点は同時に製作、廃棄されたと見られる。

- (932)は長さ133mm、幅29mmで、上部の左右に切込みを入れ、下部を剣先状に加工しているが、 上部の切込み両端が欠損している。表には「畔越」と墨書されている。下部表面に削りがある ので、文字が続いた可能性もある。意味は不明であるが、付札であった可能性が高い。
- (933)は長さ267mm、幅34mmの長方形の板である。上部に刃物を表から入れて折ったような痕跡が認められるが、制作時のものか廃棄時のものか判然としない。

釈文は、	表側に	[物マカ] [] [] [] []	春米	丸子マ牛甘 檜前竹万呂」
	裏側は	「原カ」 (若カ)	大荒木臣田 已上九人	人万呂 □月万呂□] 」

裏の最後の文字が「解」であるなら、偏の部分が欠けており、その部分が欠損していることになる。内容は官人と見られる「万呂」が9人の名前を挙げて報告したものである。一人の筆により、全文「万呂」が書いている。この木簡の上部がほとんど欠けていないならば、判読不能の箇所も人名が入るのであるが、上部が大幅に欠損しているならば、「舂米……」の部分などが下の人物が負担した物品の品目、量が記されている可能性もある。

- (934)は長さ288mm、幅47mmの笏形を呈している。表面には「(符籙)四万八千神急急如律令」と書き込まれている。文字内容から呪符である。
- (935)は長さ131mm、幅13mmの棒状の木製品である。表側右上部に何か文字が墨書されているが、判読できない。形態から推定すると、木簡として使用後、角材状に縦に分割し、片端を鋭く削り、反対側は角を取るように削り、転用したのであろう。
- (997)は長さ61.5mm、幅30mmで側面上部に切込みを入れている。片面には「萬□継」、反対側には「一斛」と記されている。貢進物の付札と推定される。

中世の卒塔婆は、同じF-66Gから出土した。古代の木簡に比べると、木目が粗く、厚みも極めて薄く、残存状況が極めて悪い。何れも上部を圭頭状に、下部を剣先状に加工している。

(1028)は長さは226mm、幅23mmで、中程が欠損している。

#### 「(梵字) □ □ 佛 |

(1029)は長さ157mm、幅26mmで、上部は欠損している。表面に2カ所、刃物で切れ目を入れられ、裏側から折られていた。上部にも文字があった可能性もある。

「南無大日如来」

- (1030)は長さ141mm、16mmで、上部及び右半分が欠損している。文字は判読不能。
- (1031)は長さ120mm、幅25mmで、上部が欠損している。文字は判読不能。
- (1032)は長さ97mm、幅23mmで下半部が欠損している。文字の子細は判読できない。
- (1033)は長さ65mm、幅27mmで下半部が欠損している。文字は判読不能。
- (1034)は長さ80mm、幅25mmで上半部が刃物で切断され、欠損している。

## | 来|

- (1035)は長さ93mm、幅25mmで、下半部が裏から刃物を入れて折っている。文字は不明。
- (1036)は長さ85mm、幅20mmで上半部が欠損し、下半部も刃物で切断。文字は不明。
- (1037)は長さ34mm、幅9.5mmで上半部が欠損し、下半部も刃物で切断文字は不明。
- (1038)は長さ58mm、幅23mmで上半部、下半部が欠損。文字は不明。
- (1039)は長さ82mm、幅14mmで、上下共に刃物を入れて折る。文字判読不能。
- (1040)は長さ90mm、幅28mmで、下半部は欠損。墨痕は認められない。
- (1041)は長さ139mm、幅23mmで、下半部は欠損。墨痕は認められない。
- (1042)は長さ52mm、幅20mmで、上下共に欠損。墨痕は認められない。

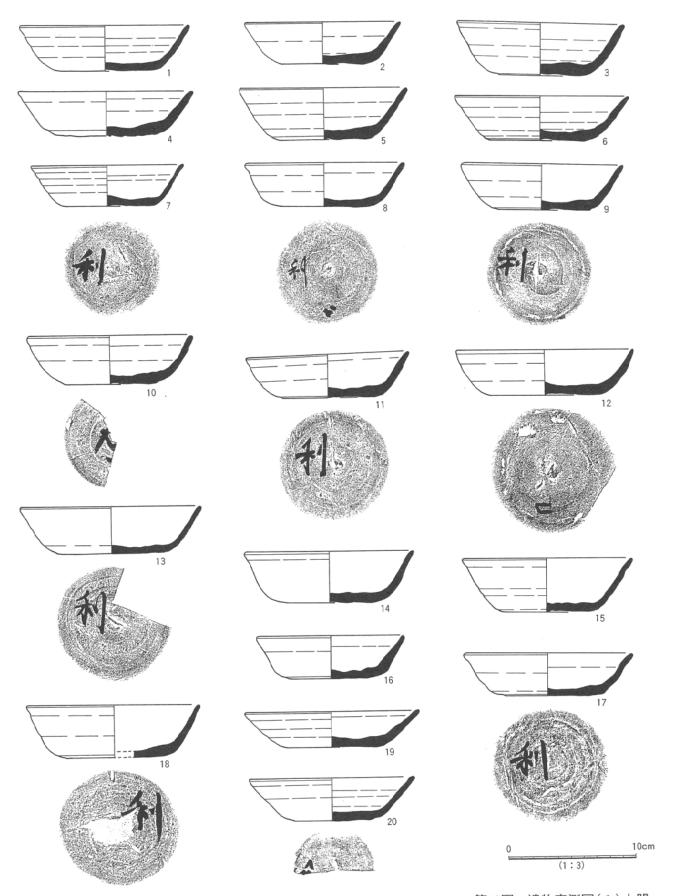
## (8) 用途不明木製品

出土木製品の多くは、用途や種別が特定不能で、これらはまとめて用途不明木製品とした。 (858)は全面ロクロで成形された栓状木製品で、片面にはロクロの爪痕がある。(861)は樹皮付木材の切断面にケズリ調整している。(862、863)は板状の部材に穿孔したものである。(864)は木材を鋸で輪切りにしたものである。(865)は、ケズリを施した後、磨き調整をしている。ほぞ穴があり、組み合わせて使用したと見られる。(872、872、873、942、943)は部材の一部である。(875)は木釘が打たれ、家具などの一部と見られる。(876)は片面に刻みが連続して見られる。(878、879、998、999)は側面上部にくびれが入り、編具の木錘の可能性もある。(880)は筒状木製品で、上部の縁が盛り上がっている。内部が刳り貫かれ、刀子の鞘の可能性もある。

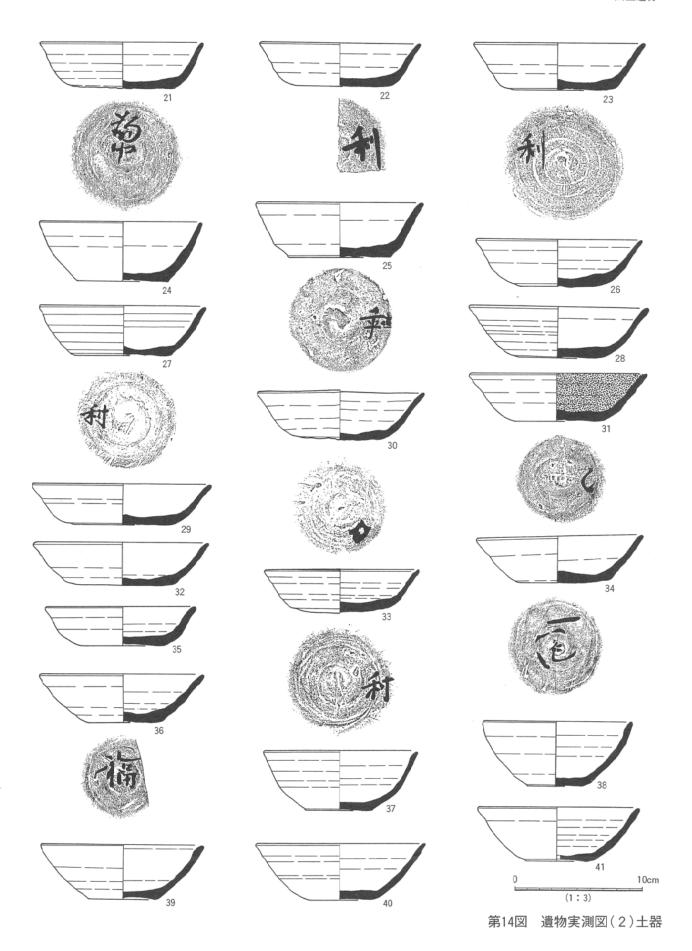
(886、887、888)は茎部から棒を差し込んだ瓢箪製品である。(852)は瓢箪に刺さっていた棒状木製品である。瓢箪は崩壊し、実測不能であった。スクリーントーン部分は瓢箪に接触し、変色した部分である。(914、915)は板材で、(918、919)は角材状木製品で、途中で折られ、片側が4面体に削られている。(916、917、991~995)は樹種鑑定によるとイチイ科カヤであるという。断面は刃物で斜めに切断され、表面に細かいケズリ痕があり、刃物で樹皮を剥がしたと推定できる。また、幹の部分が必ず含まれている点が注目される。特に(991~995)は、一カ所でまとまって出土し、祭祀に関連した可能性が強い。(924~927)は薄い板状の木製品である。片側の端に止めるような小さな穿孔が成されており、一つに纏められていた可能性がある。(1003、1004)は斎串状の大型木製品で、下端部は剣先状に加工され、(1003)は上部が方形で、四角く穿孔されている。(1004)は上部が弧状で、中心から折られている。用途は不明だが、形状から斎串として使用された可能性もある。(975)は樹皮制の留具である。

## 6 金属製品

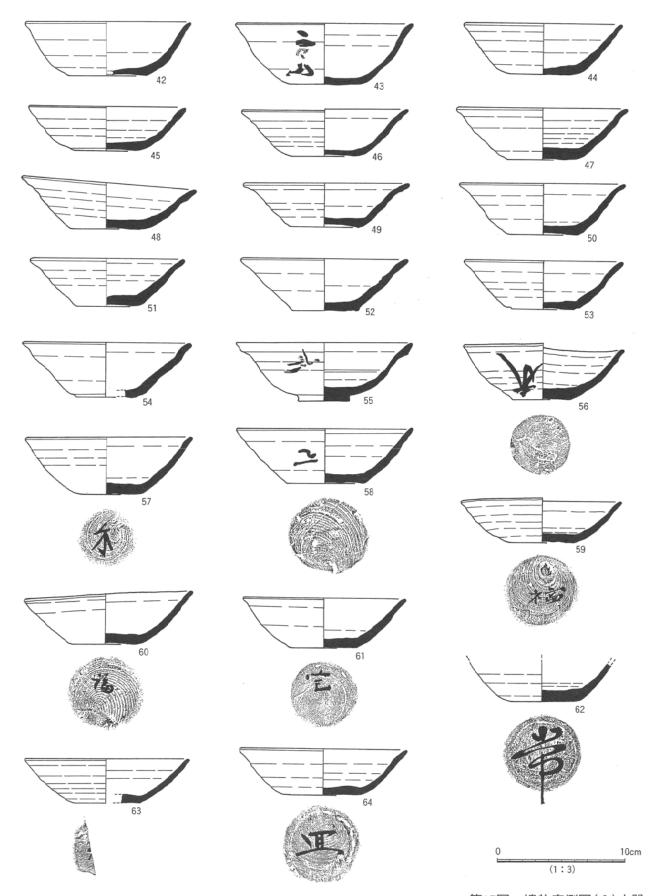
金属製品では刀子がある。(859、860、1009)何れも小形で、官人の書刀の可能性が強い。



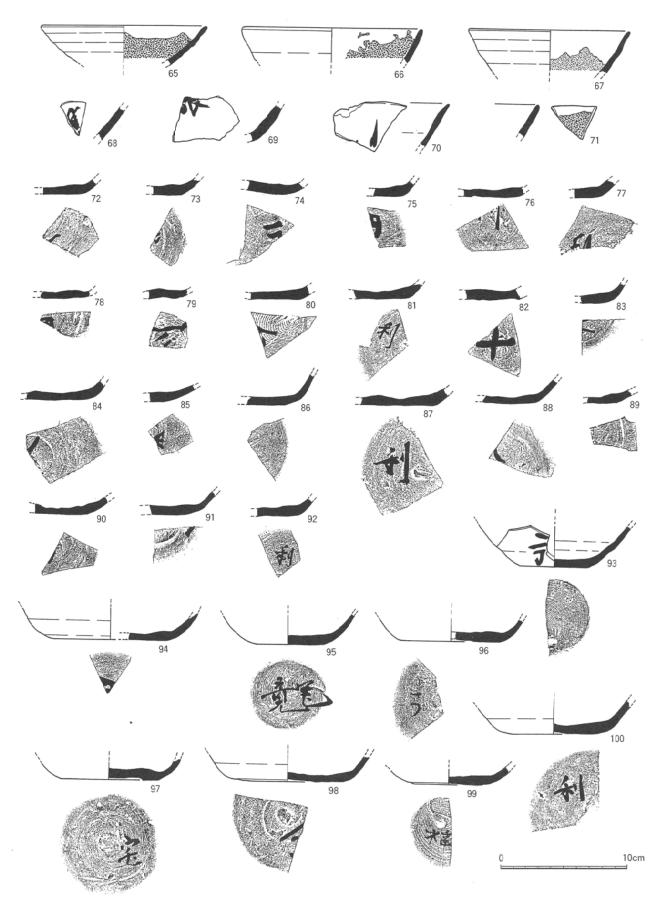
第13図 遺物実測図(1)土器



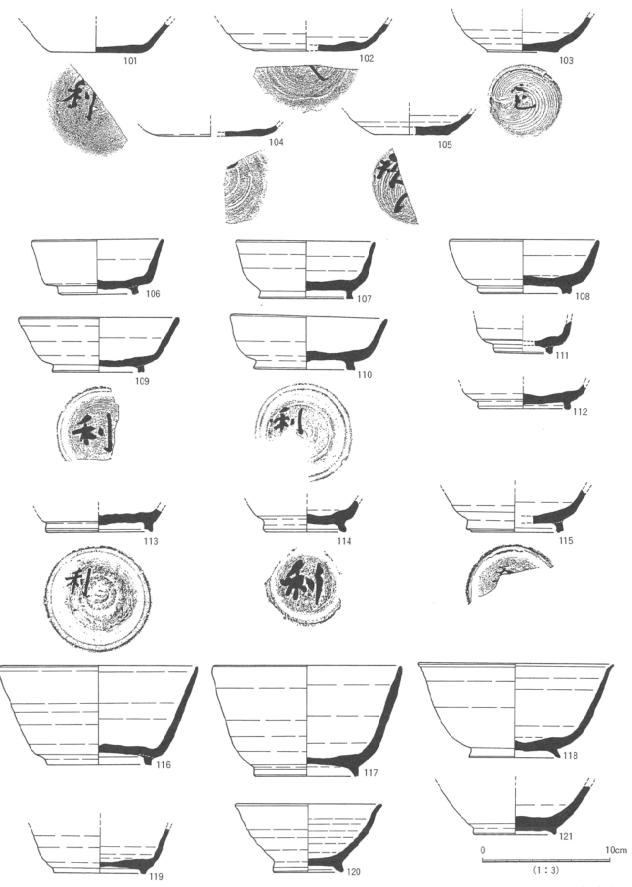
— 33 —



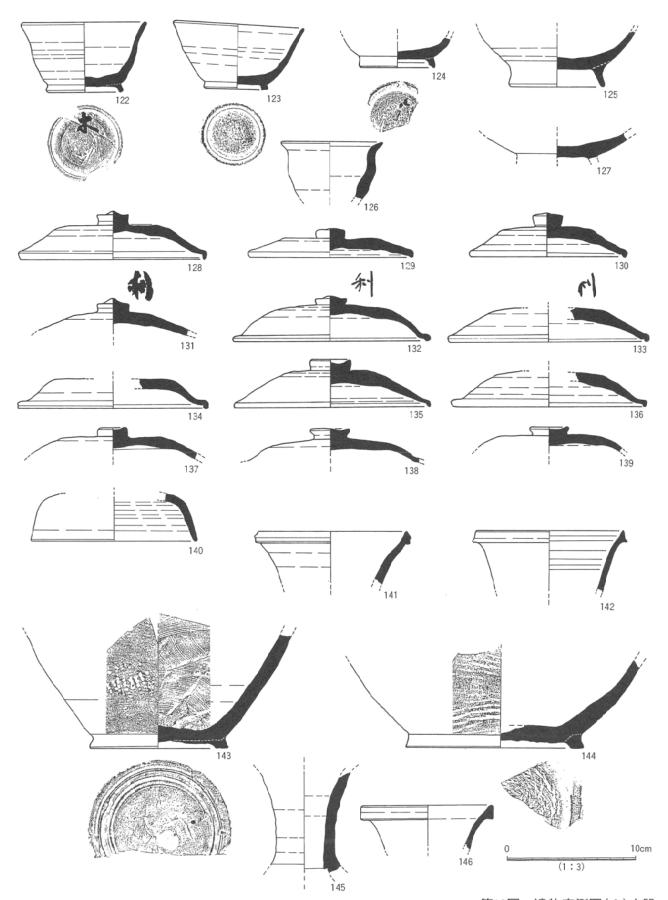
第15図 遺物実測図(3)土器



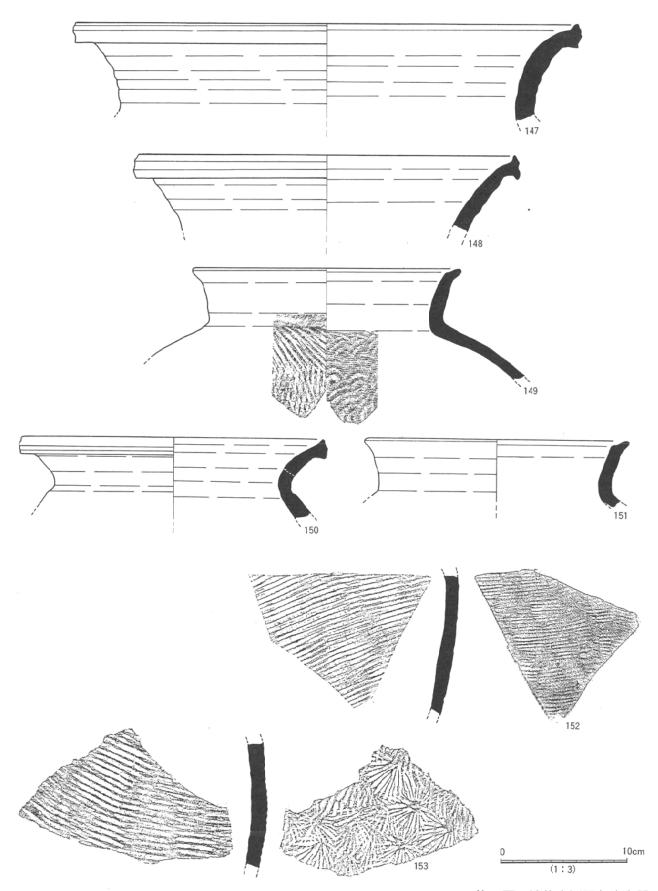
第16図 遺物実測図(4)土器



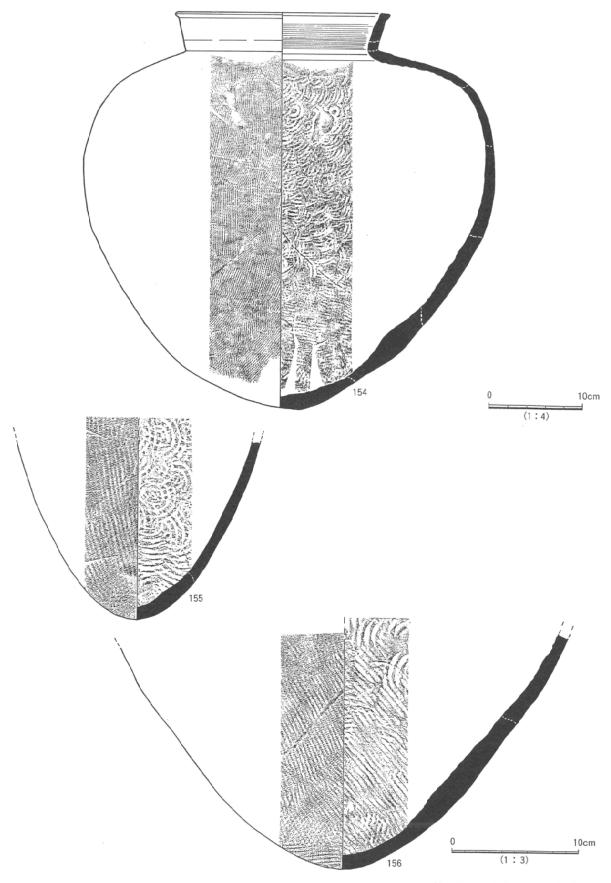
第17図 遺物実測図(5)土器



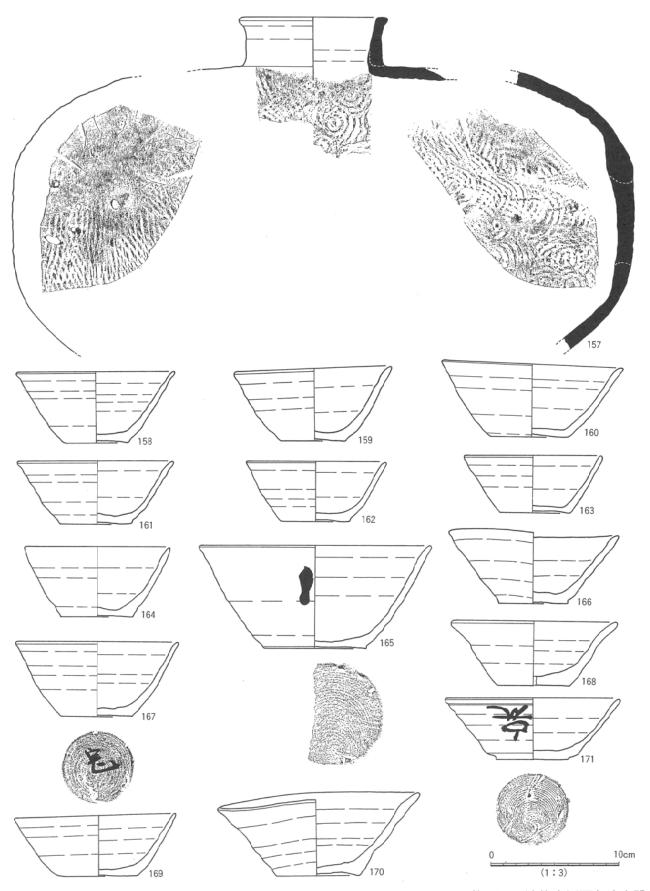
第18図 遺物実測図(6)土器



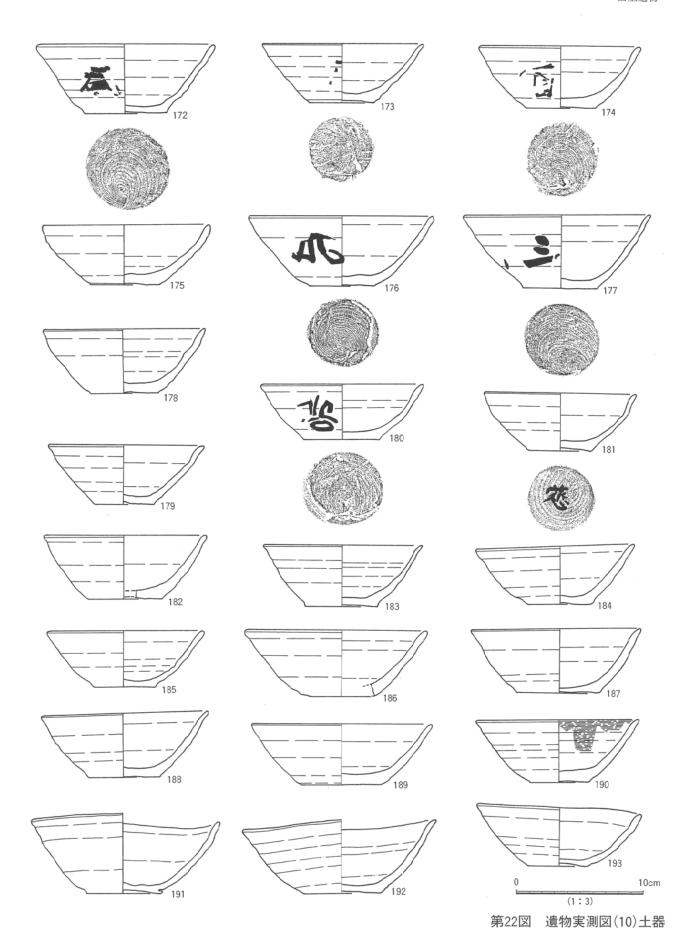
第19図 遺物実測図(7)土器



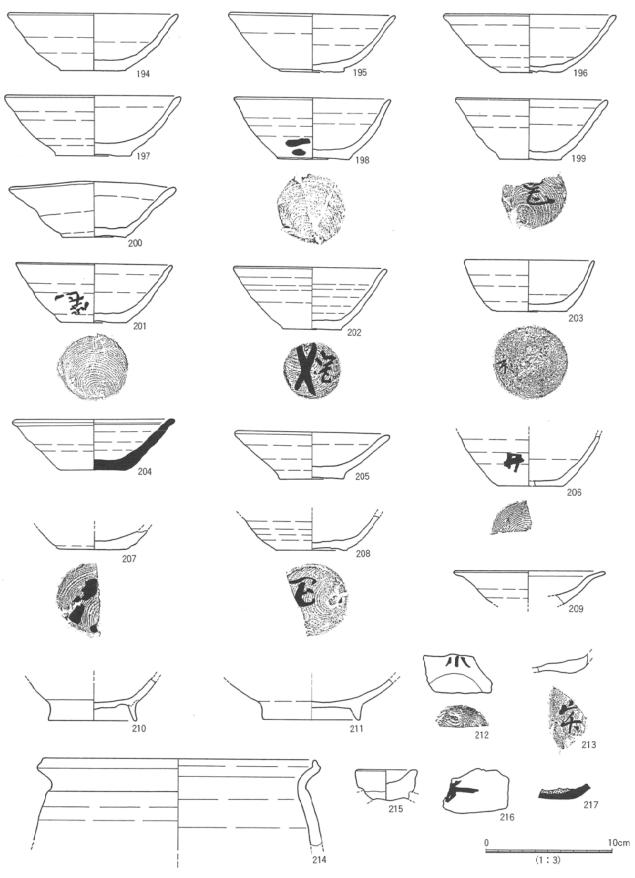
第20図 遺物実測図(8)土器



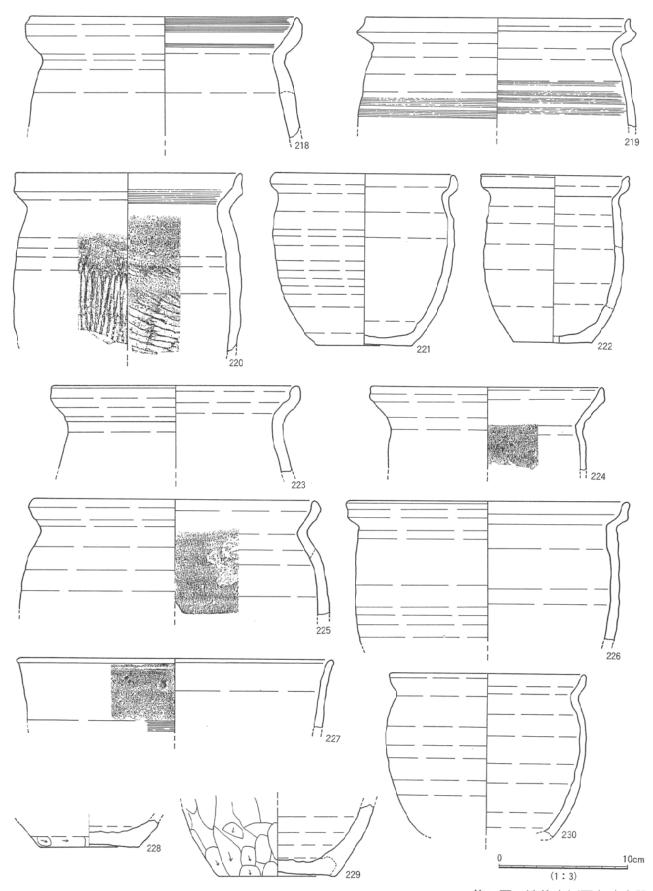
第21図 遺物実測図(9)土器



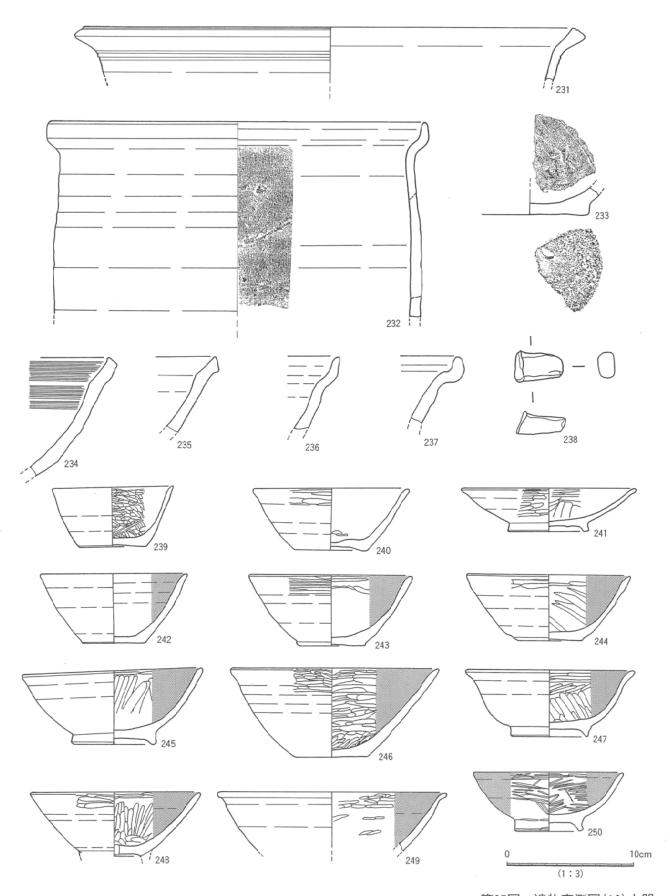
— 41 —



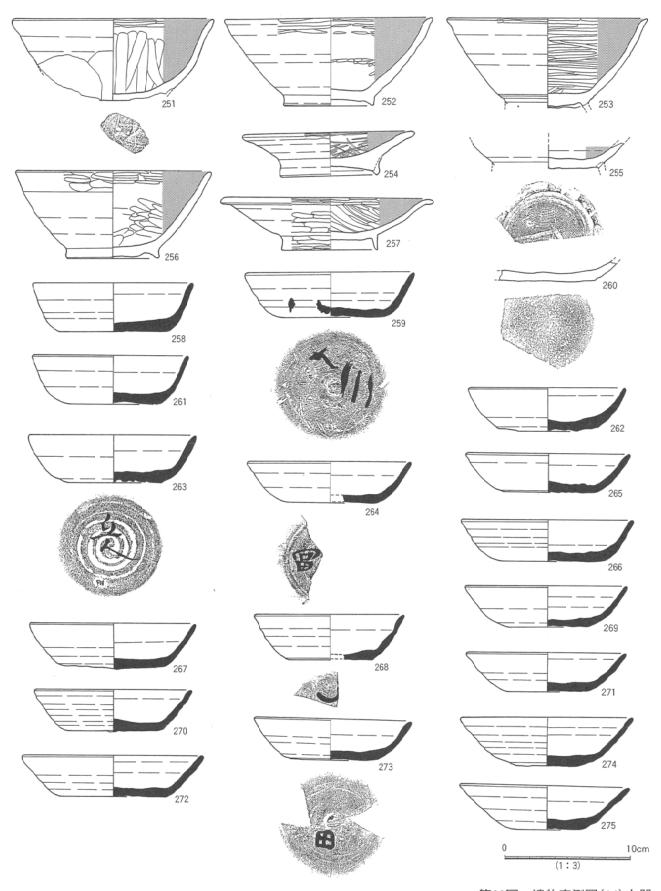
第23図 遺物実測図(11)土器



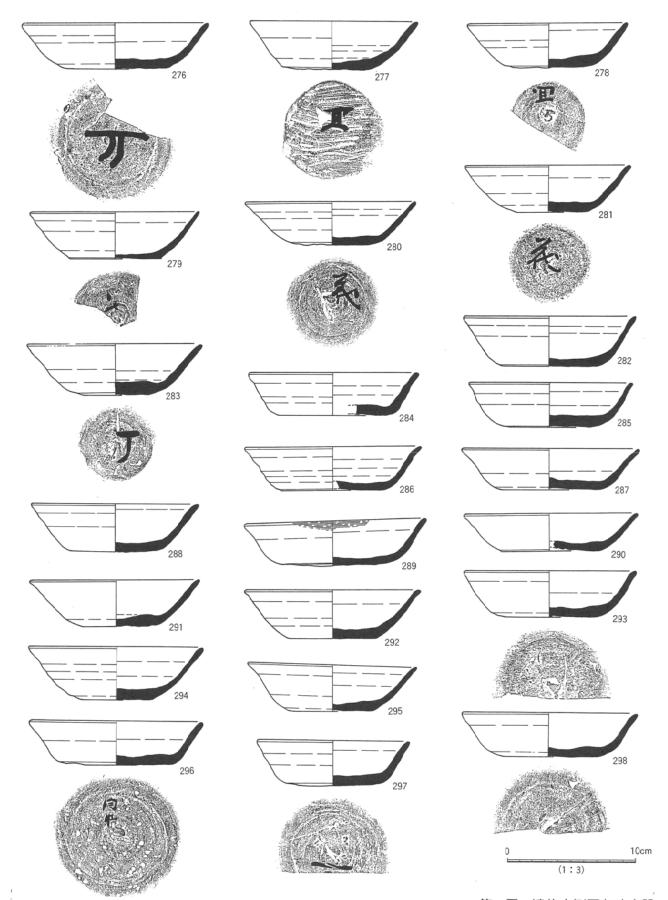
第24図 遺物実測図(12)土器



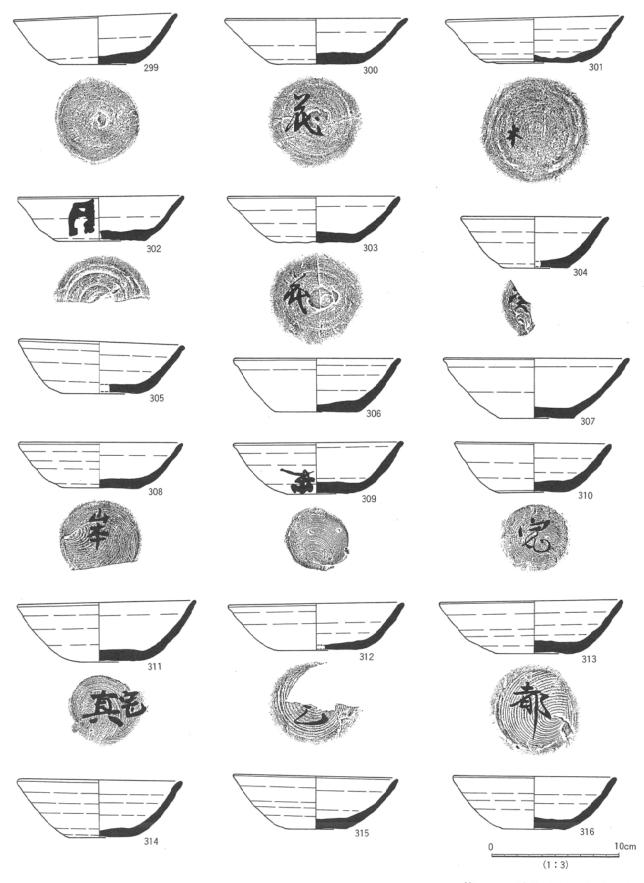
第25図 遺物実測図(13)土器



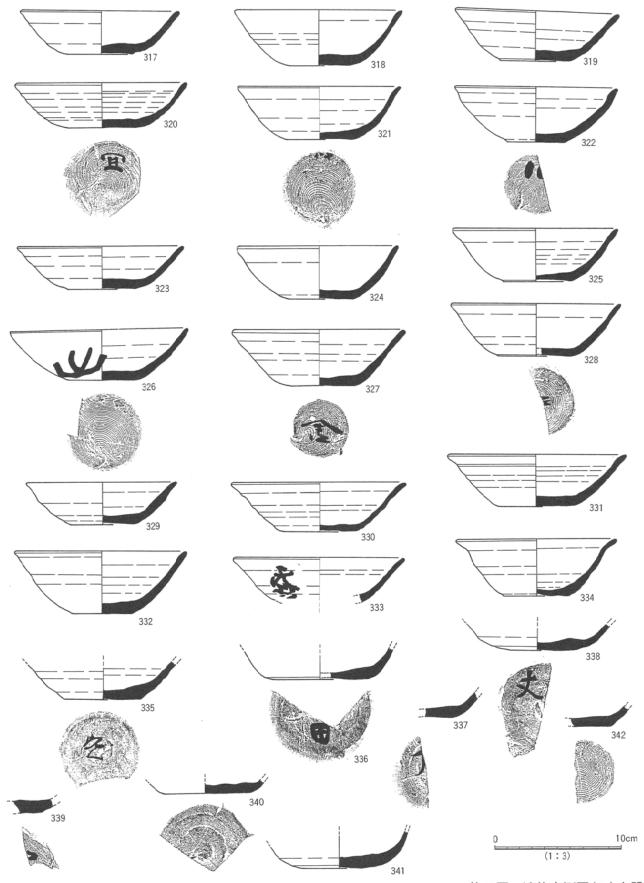
第26図 遺物実測図(14)土器



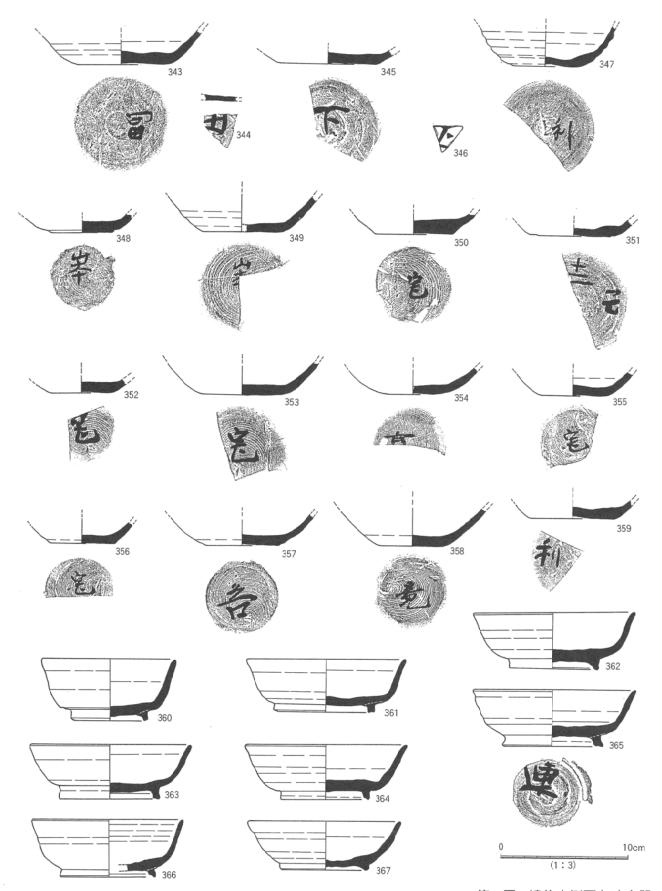
第27図 遺物実測図(15)土器



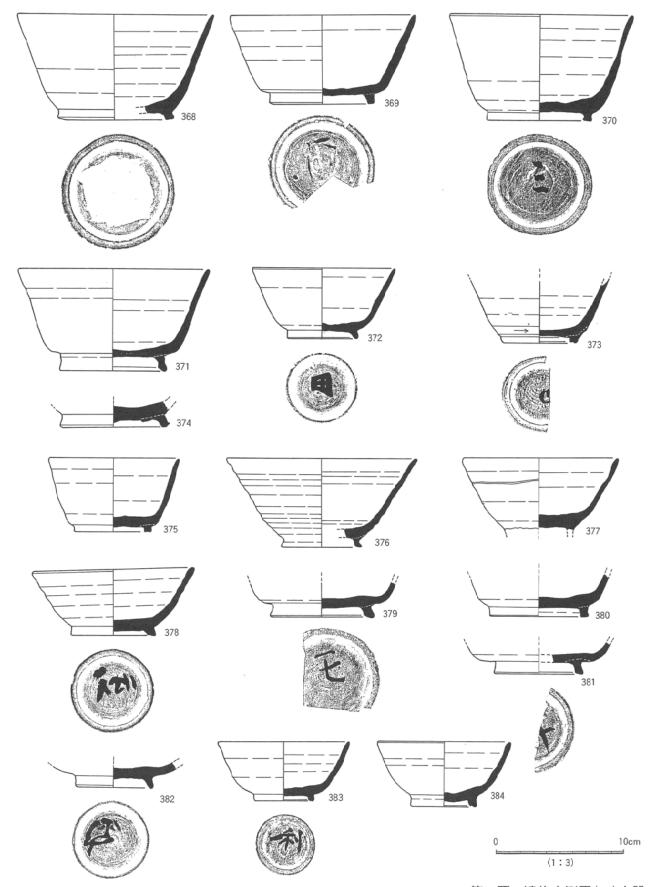
第28図 遺物実測図(16)土器



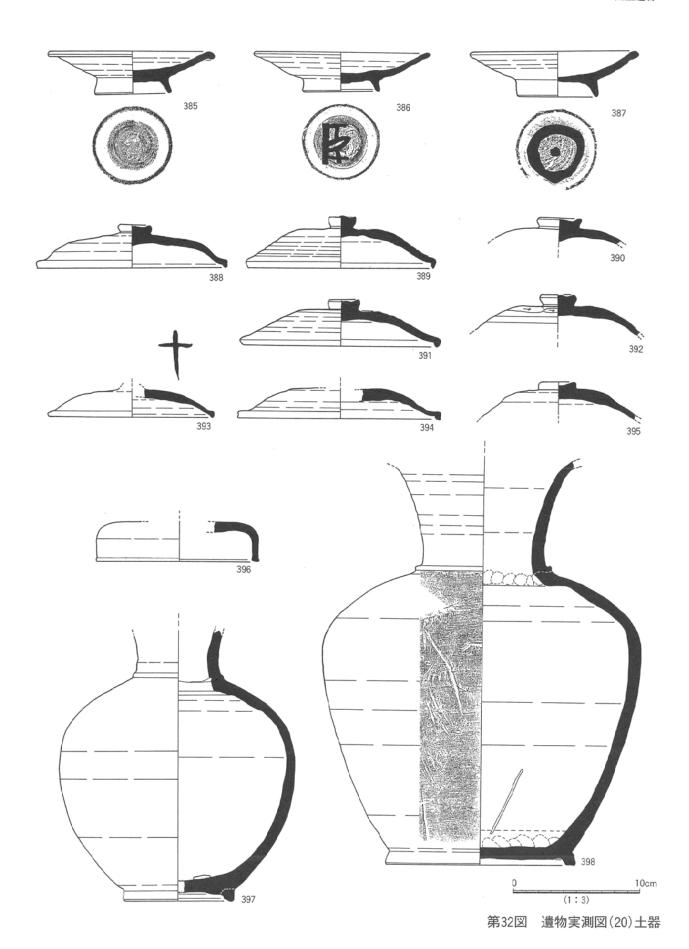
第29図 遺物実測図(17)土器



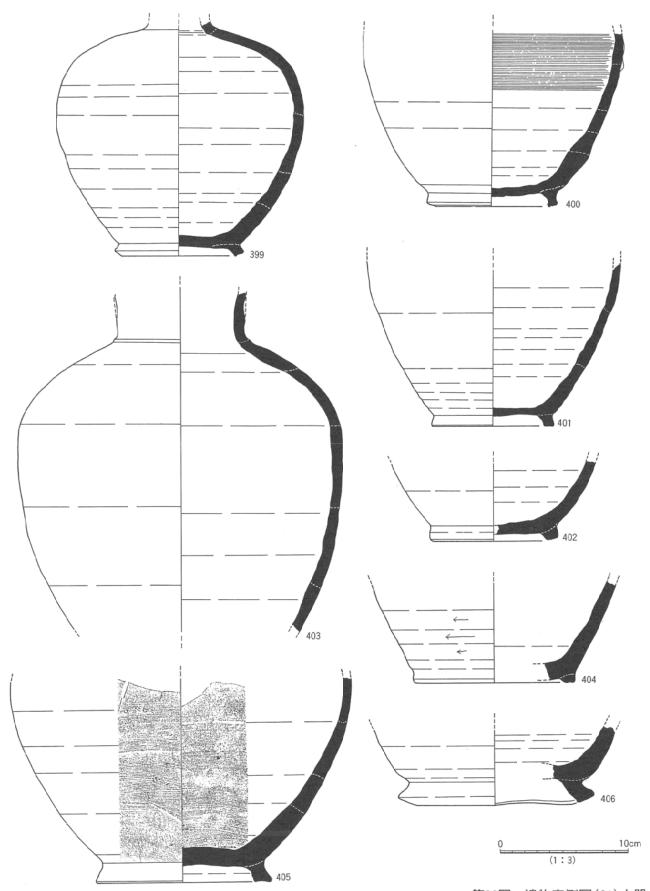
第30図 遺物実測図(18)土器



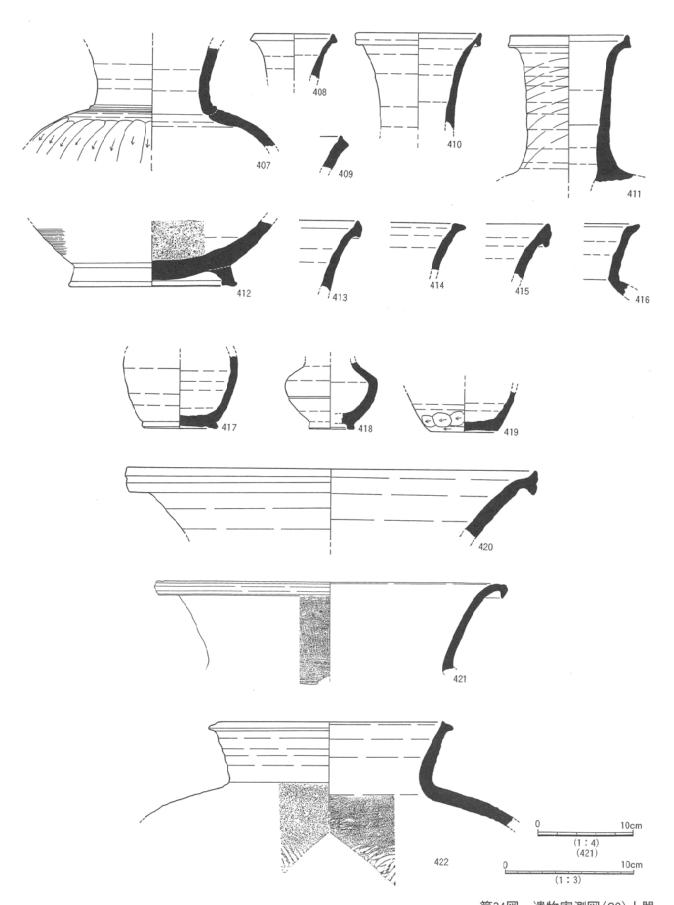
第31図 遺物実測図(19)土器



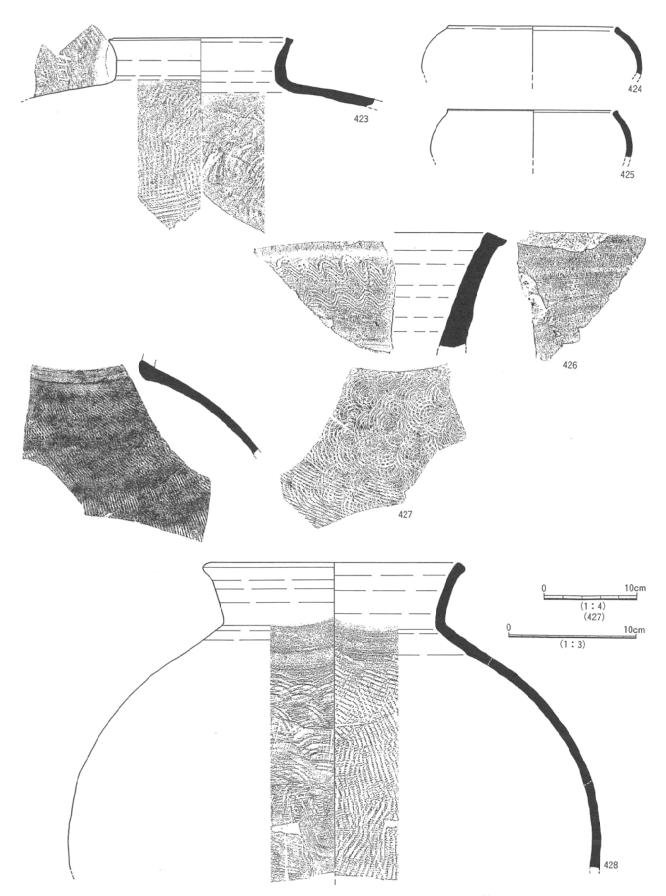
— 51 —



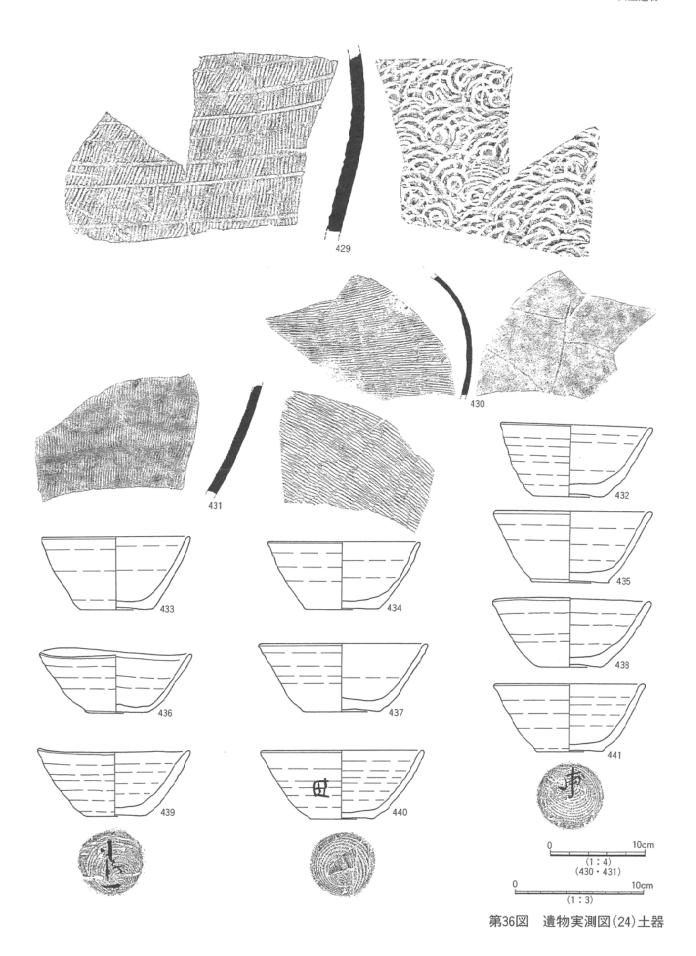
第33図 遺物実測図(21)土器



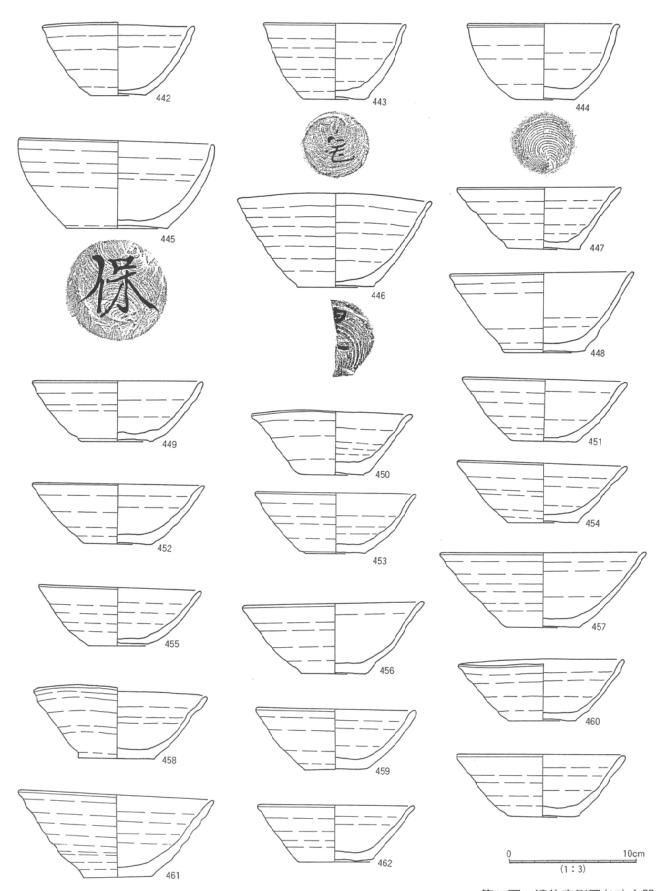
第34図 遺物実測図(22)土器



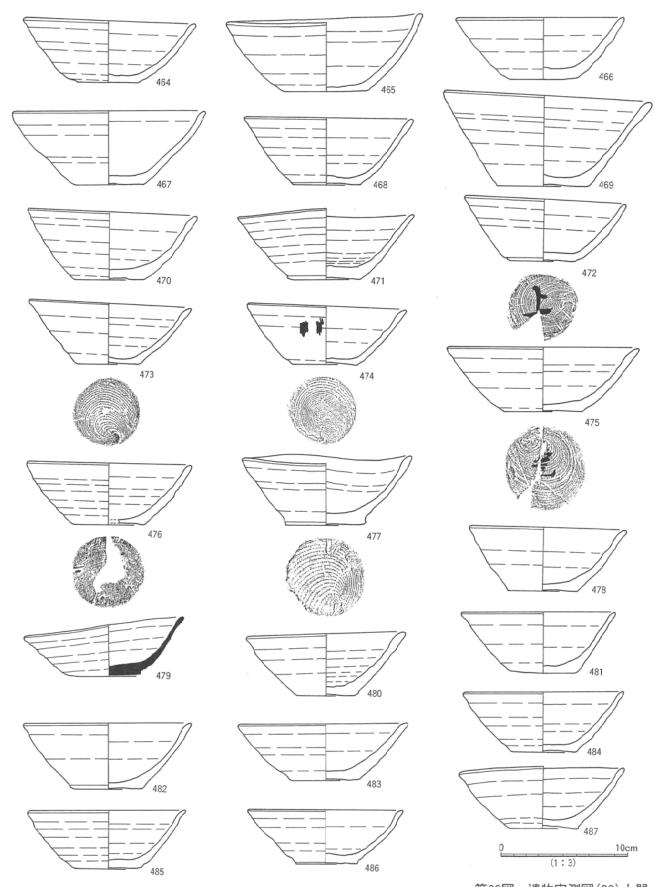
第35図 遺物実測図(23)土器



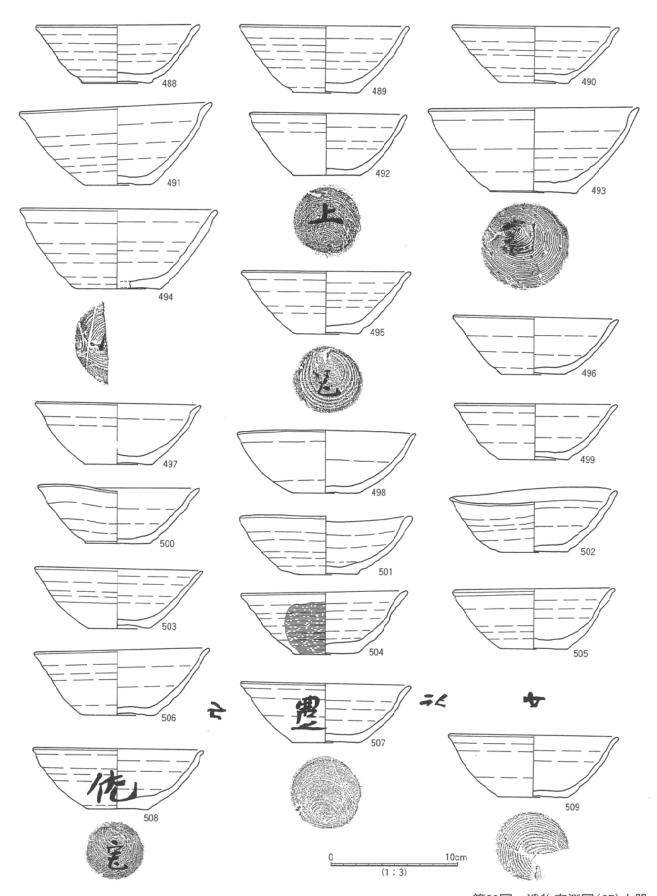
— 55 —



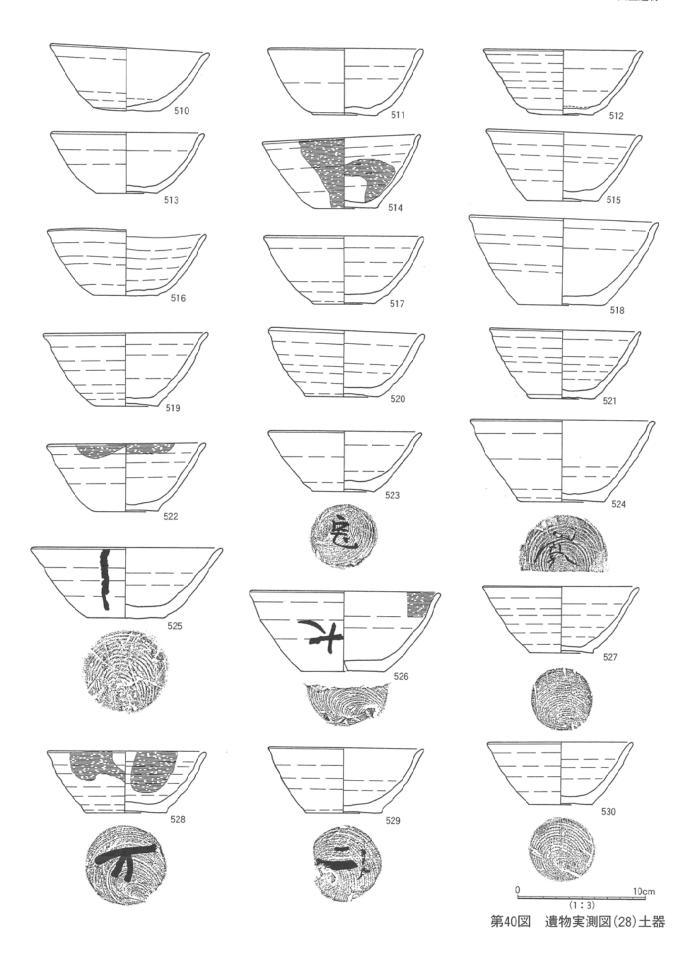
第37図 遺物実測図(25)土器

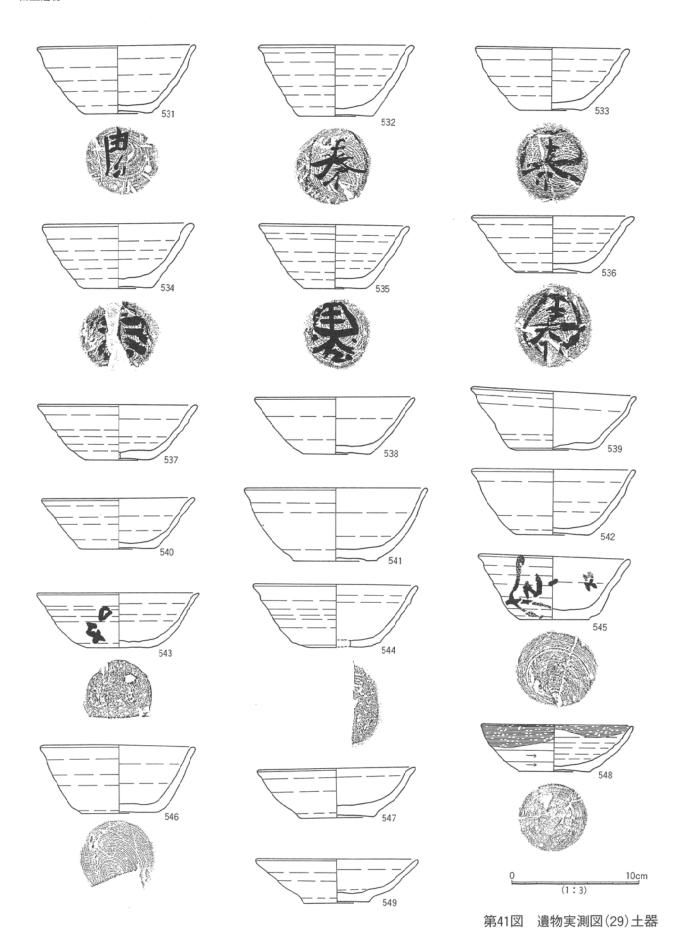


第38図 遺物実測図(26)土器

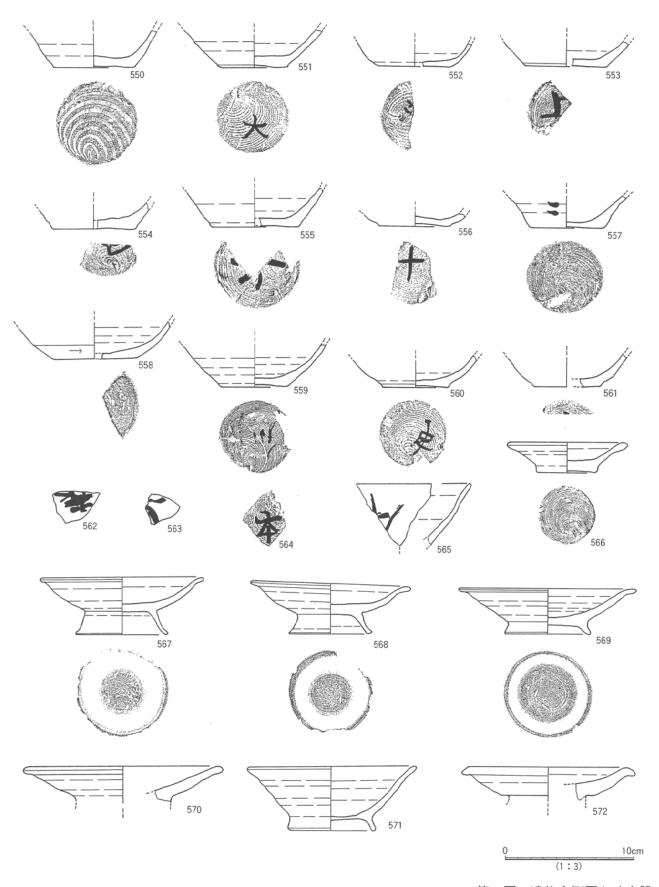


第39図 遺物実測図(27)土器

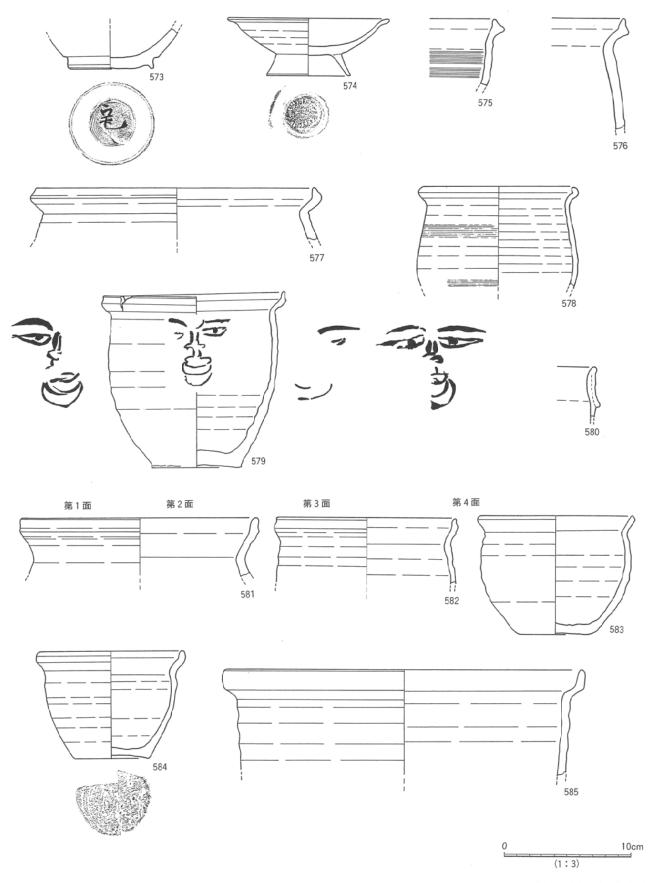




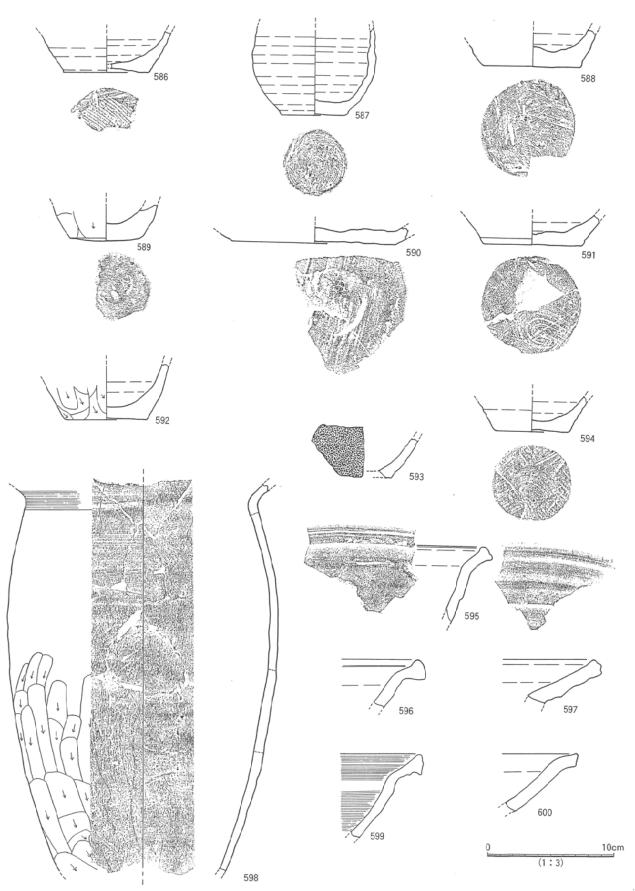
**—** 60 **—** 



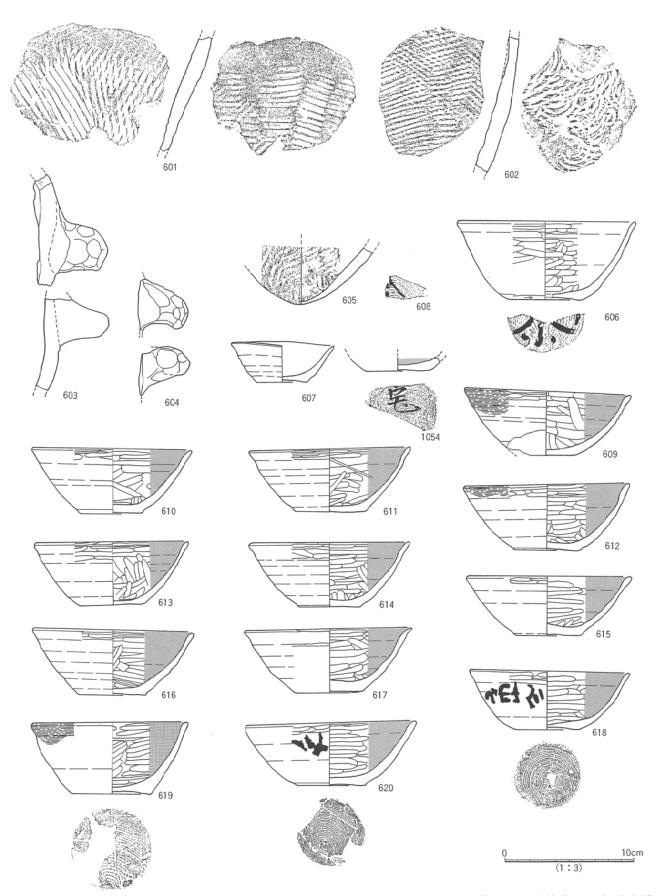
第42図 遺物実測図(30)土器



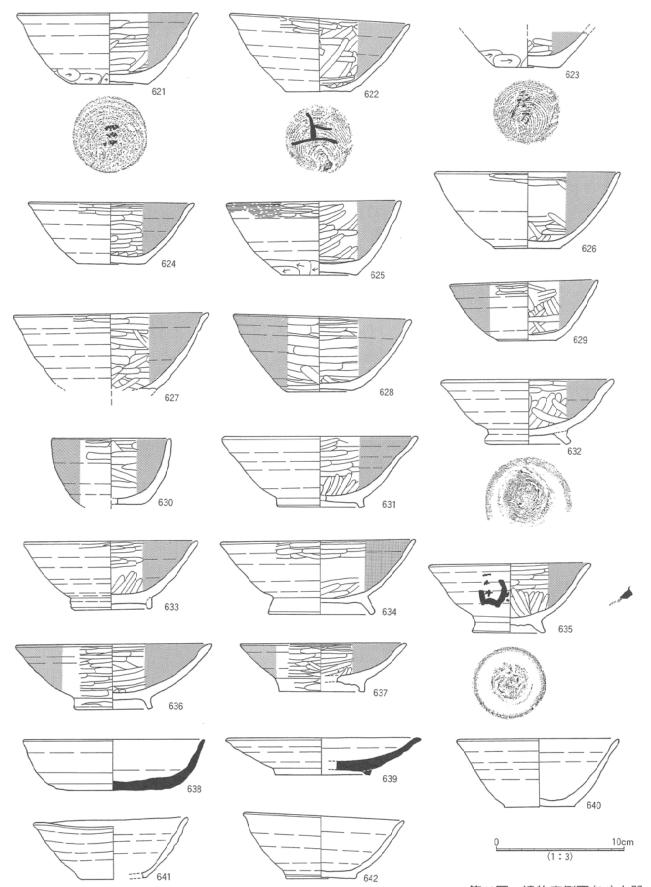
第43図 遺物実測図(31)土器



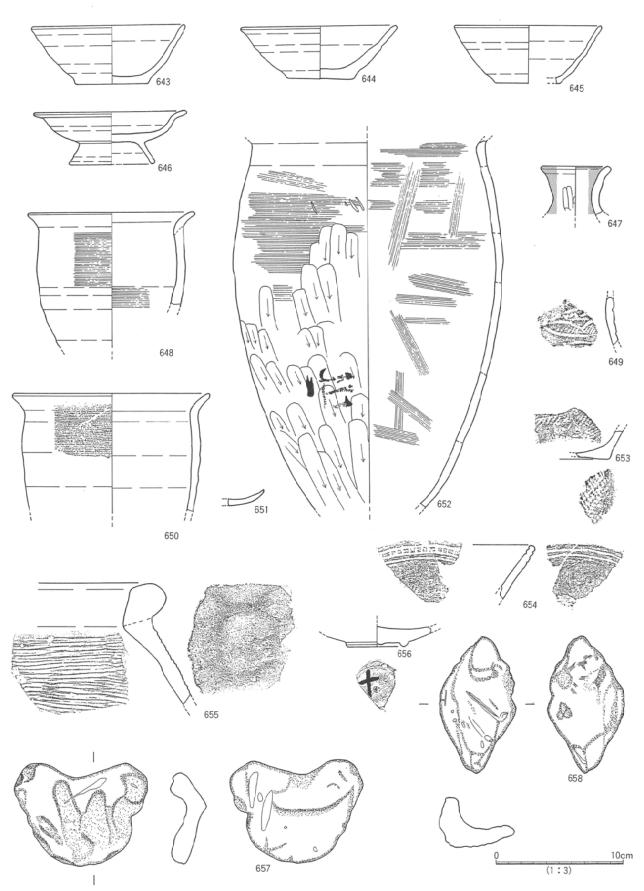
第44図 遺物実測図(32)土器



第45図 遺物実測図(33)土器



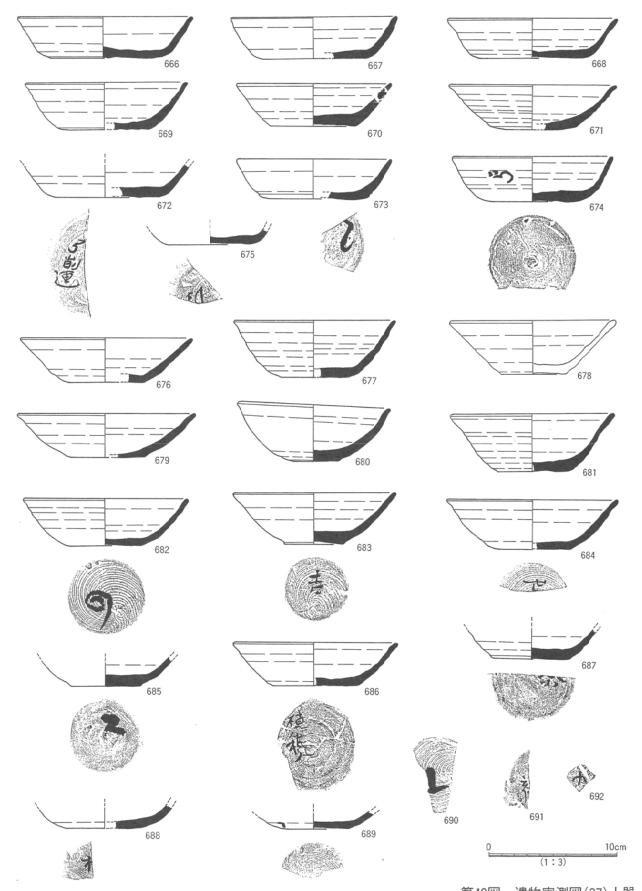
第46図 遺物実測図(34)土器



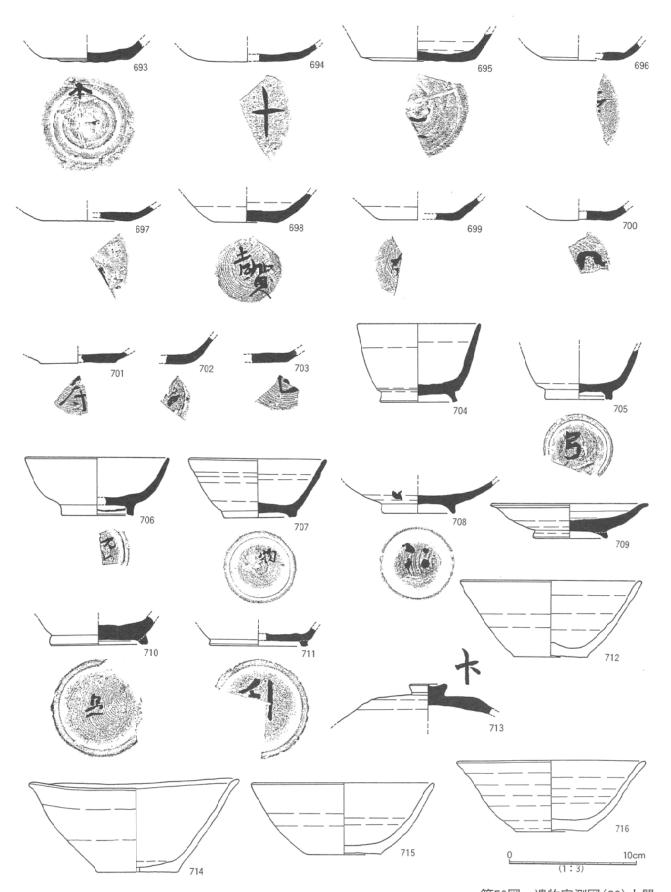
第47図 遺物実測図(35)土器・土製品



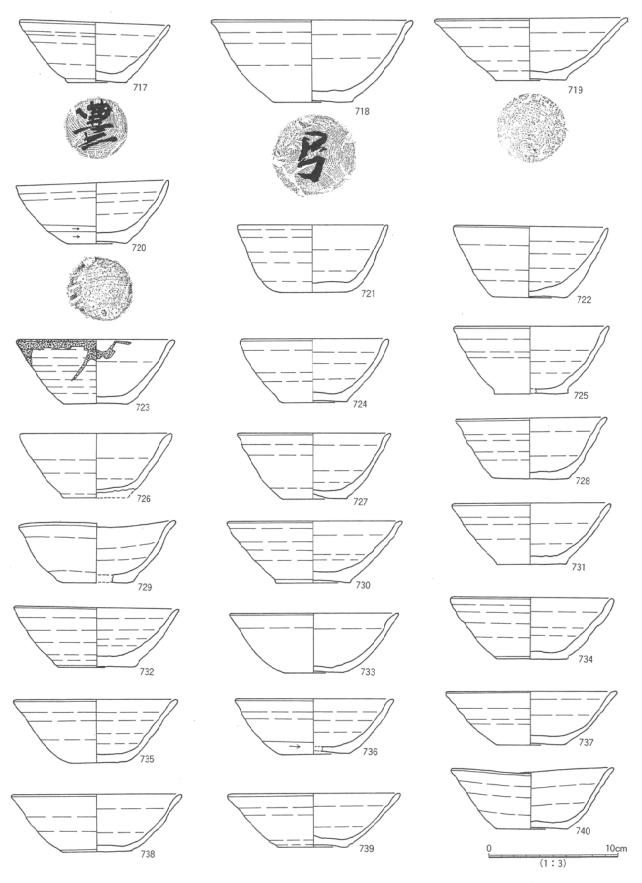
第48図 遺物実測図(36)土製品・石製品



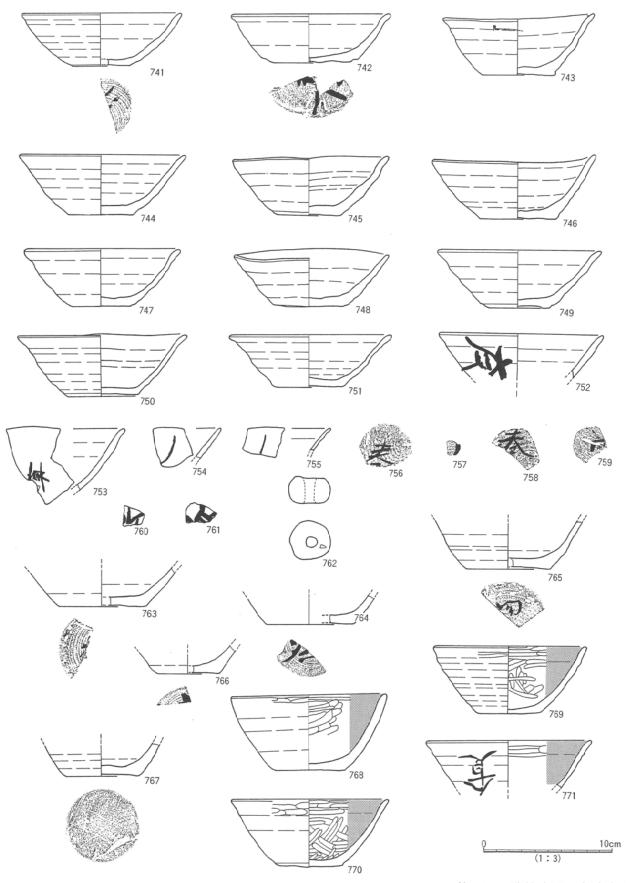
第49図 遺物実測図(37)土器



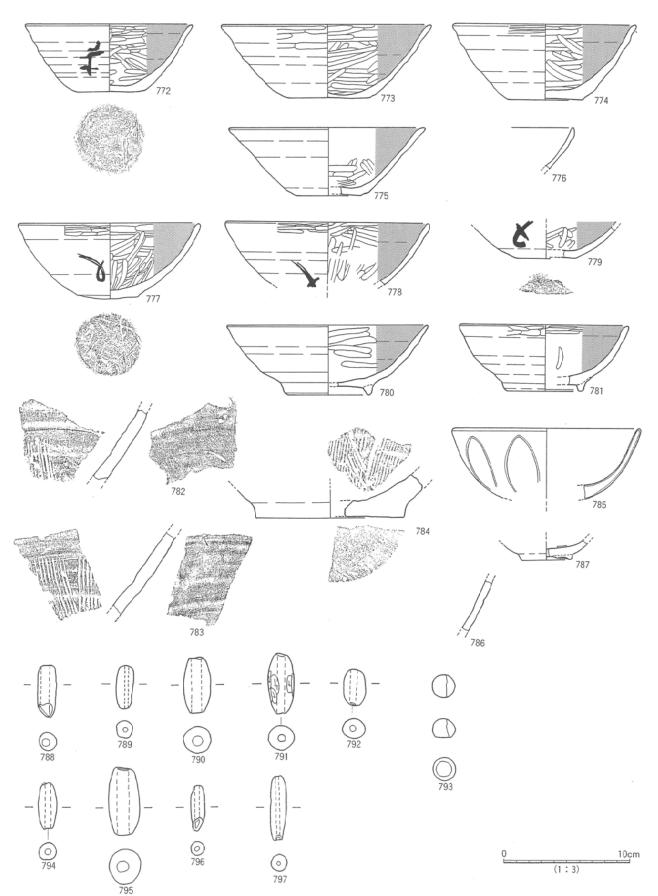
第50図 遺物実測図(38)土器



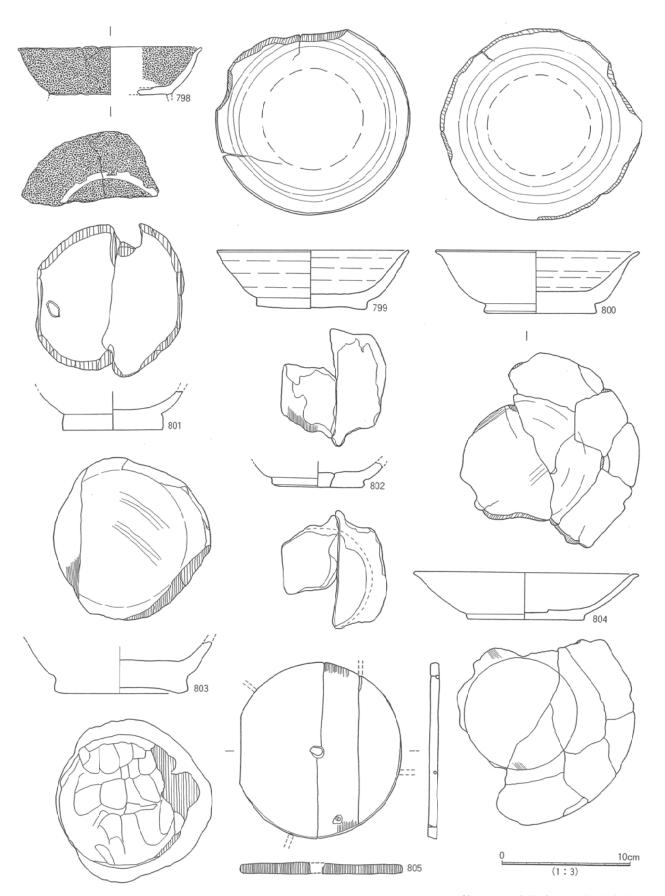
第51図 遺物実測図(39)土器



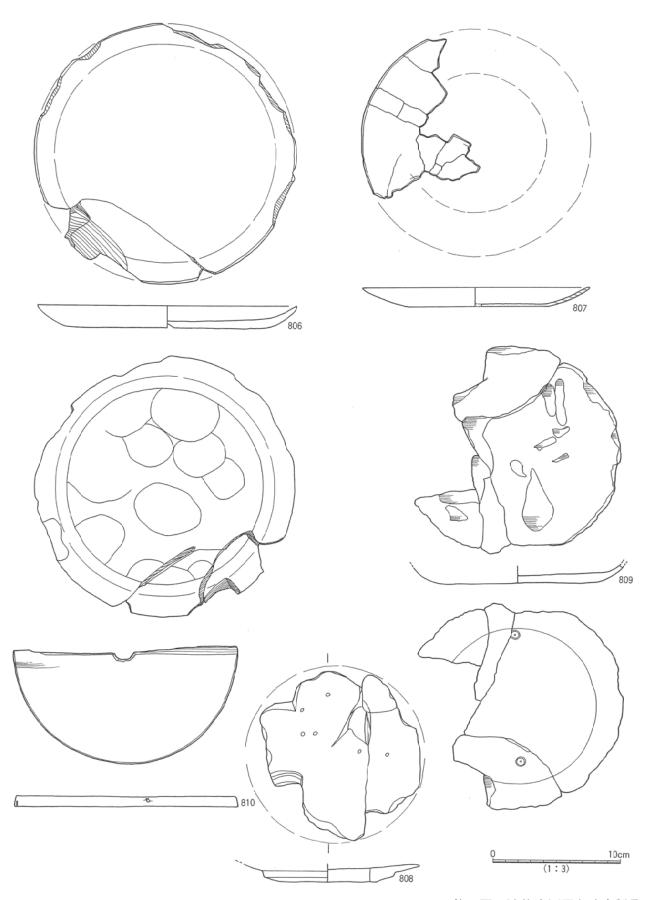
第52図 遺物実測図(40)土器



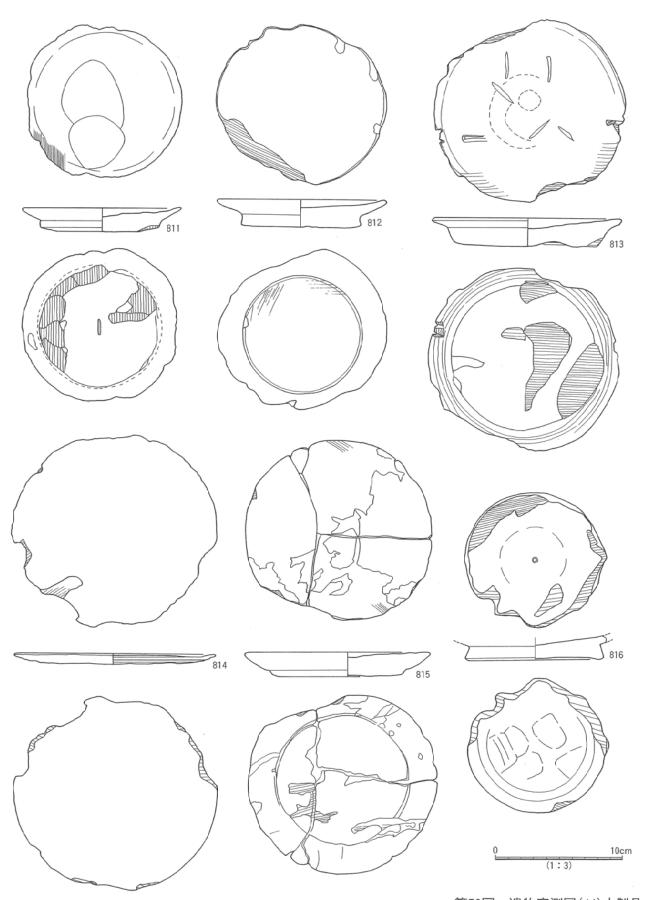
第53図 遺物実測図(41)土器・陶磁器・土製品



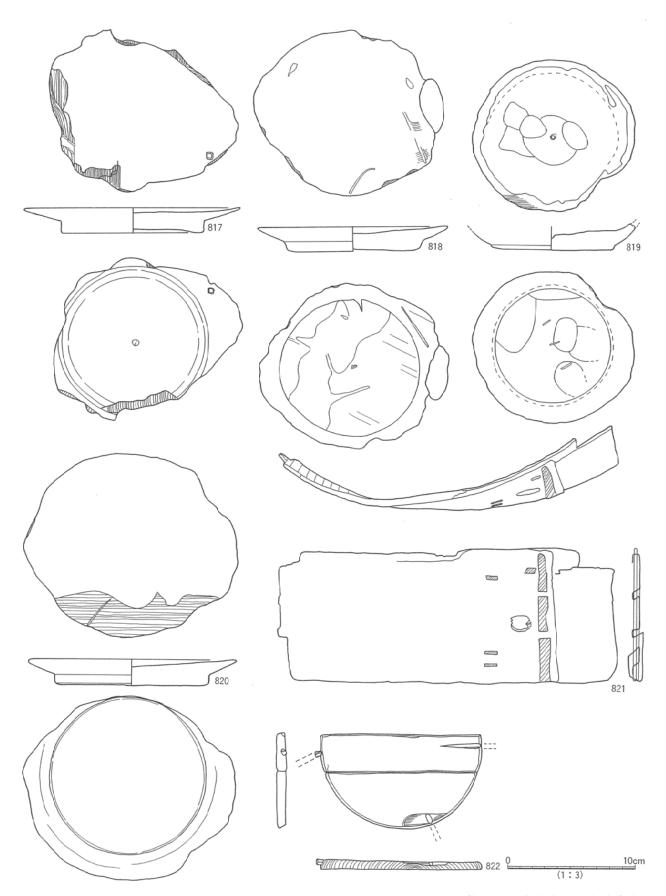
第54図 遺物実測図(42)木製品



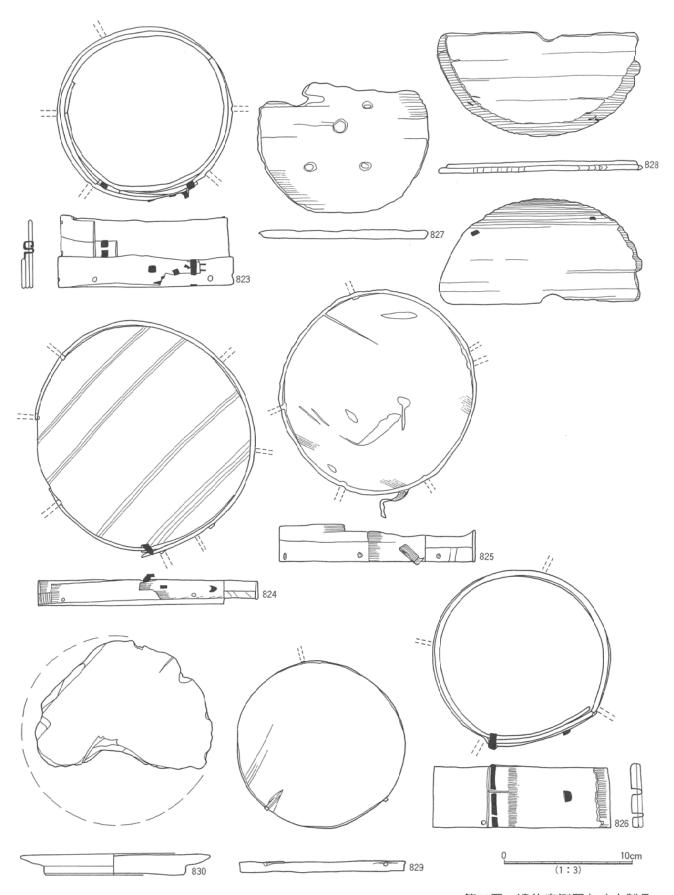
第55図 遺物実測図(43)木製品



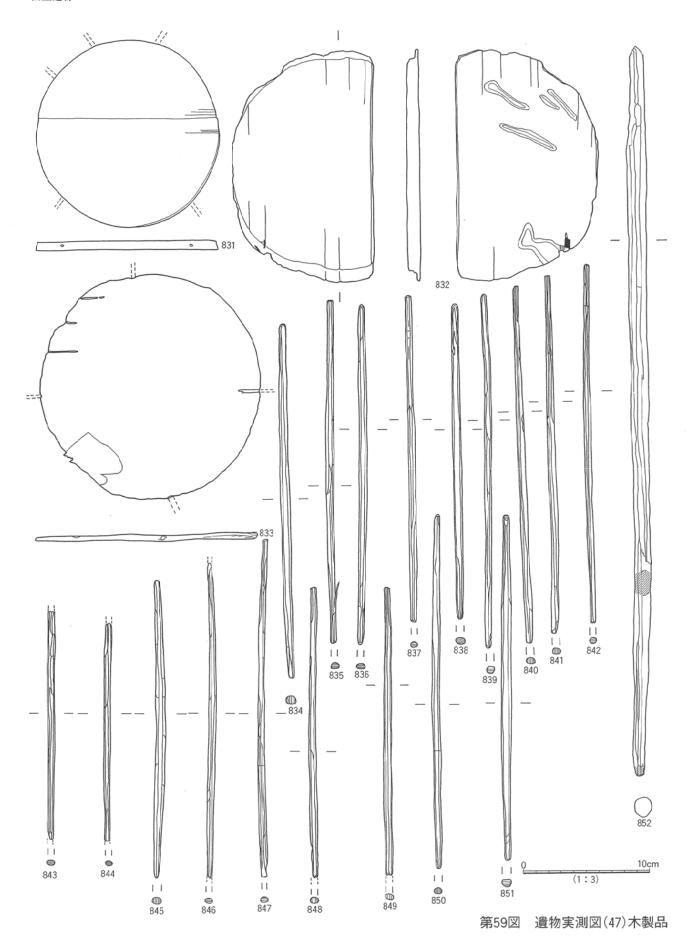
第56図 遺物実測図(44)木製品

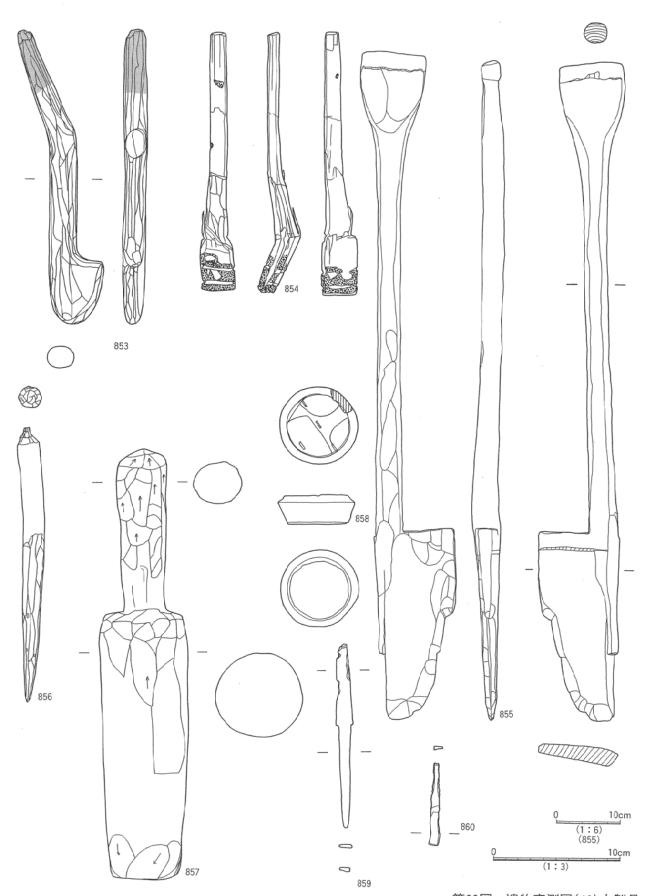


第57図 遺物実測図(45)木製品

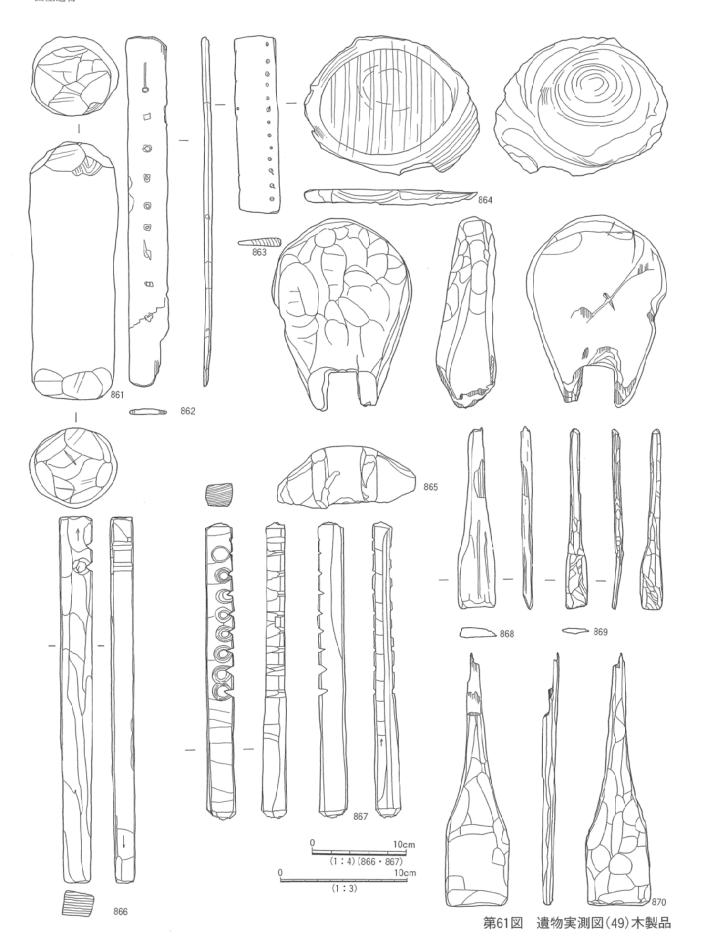


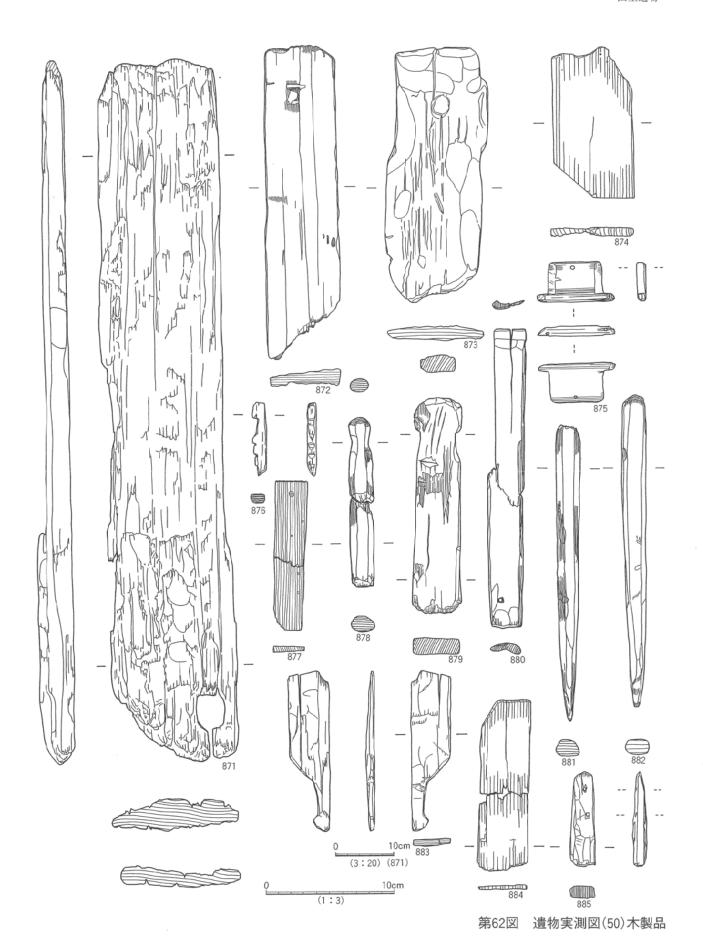
第58図 遺物実測図(46)木製品



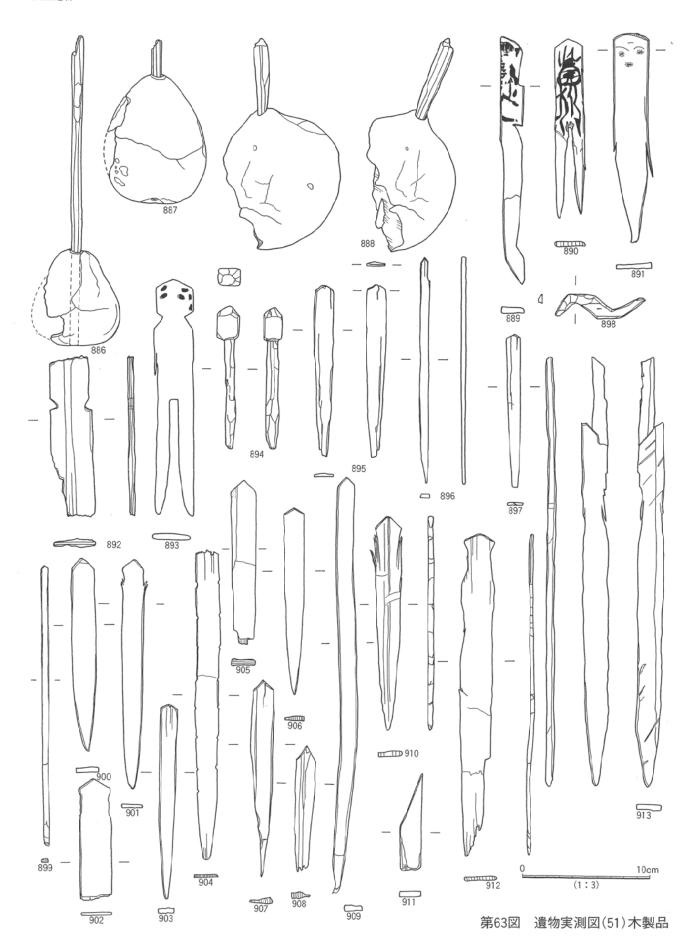


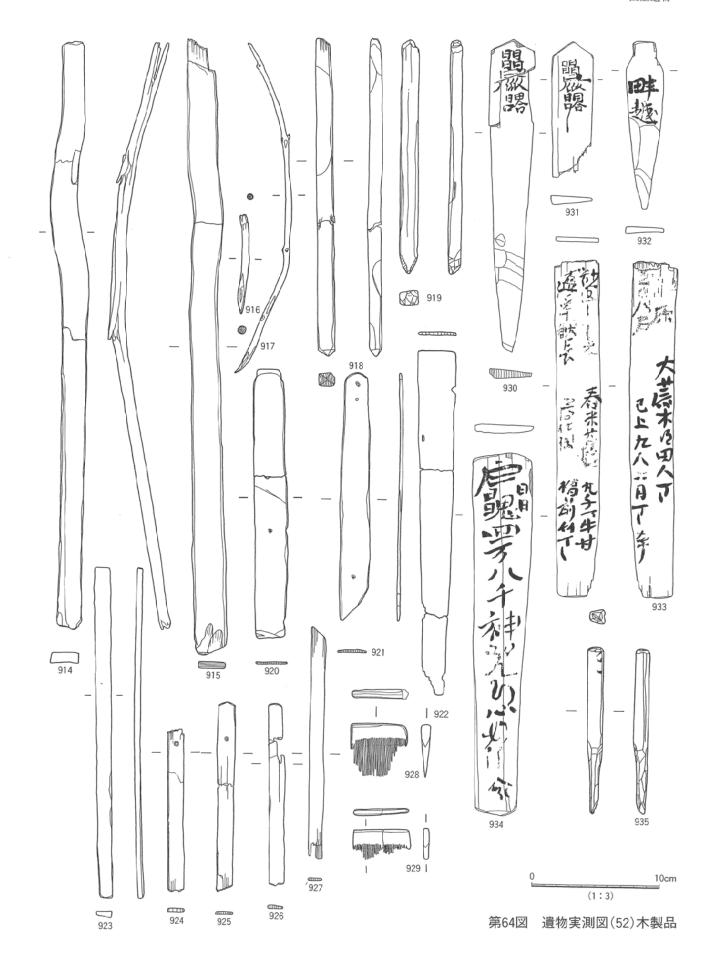
第60図 遺物実測図(48)木製品

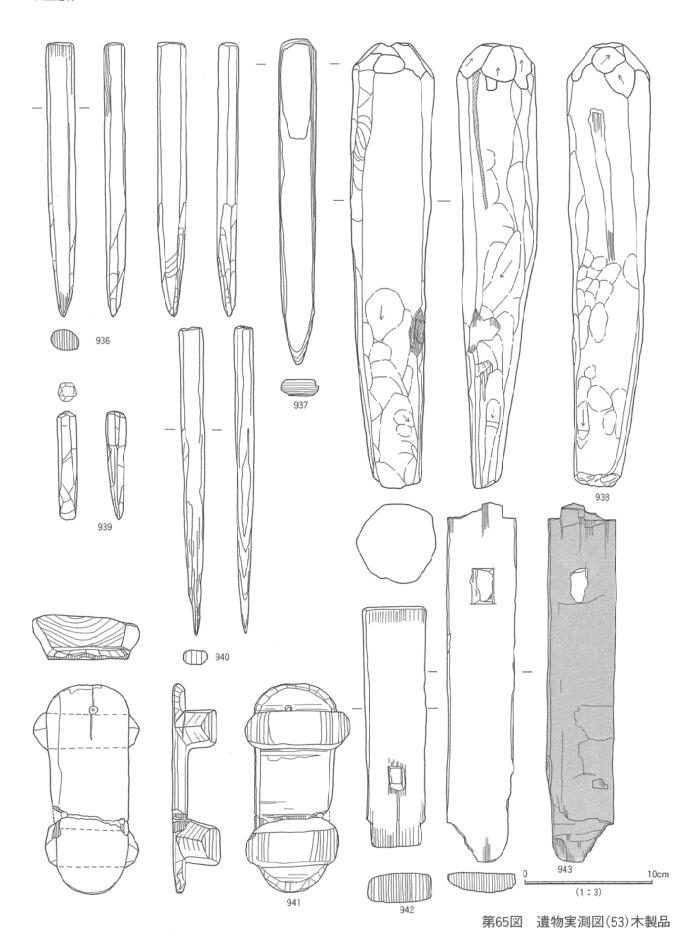




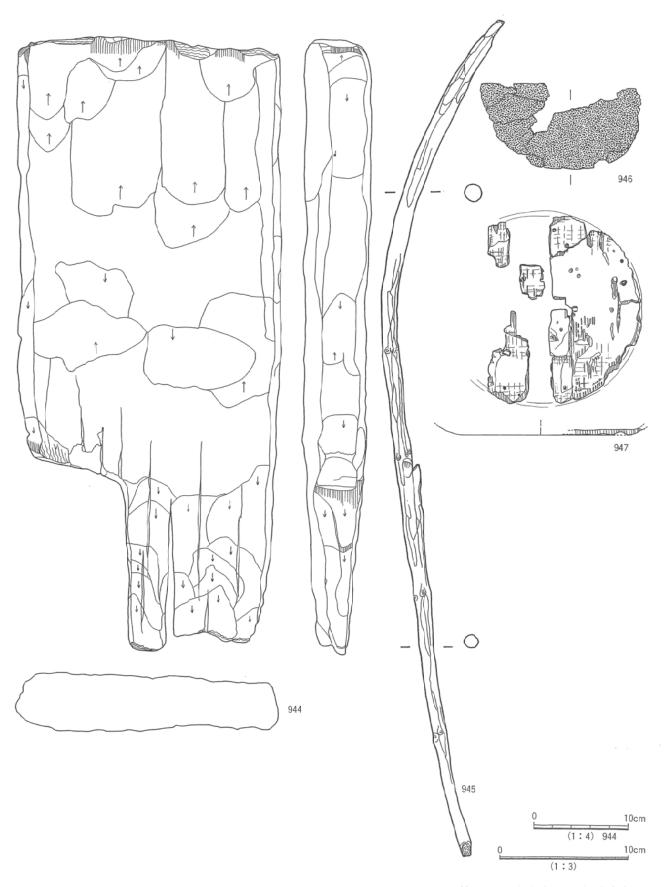
— 81 —



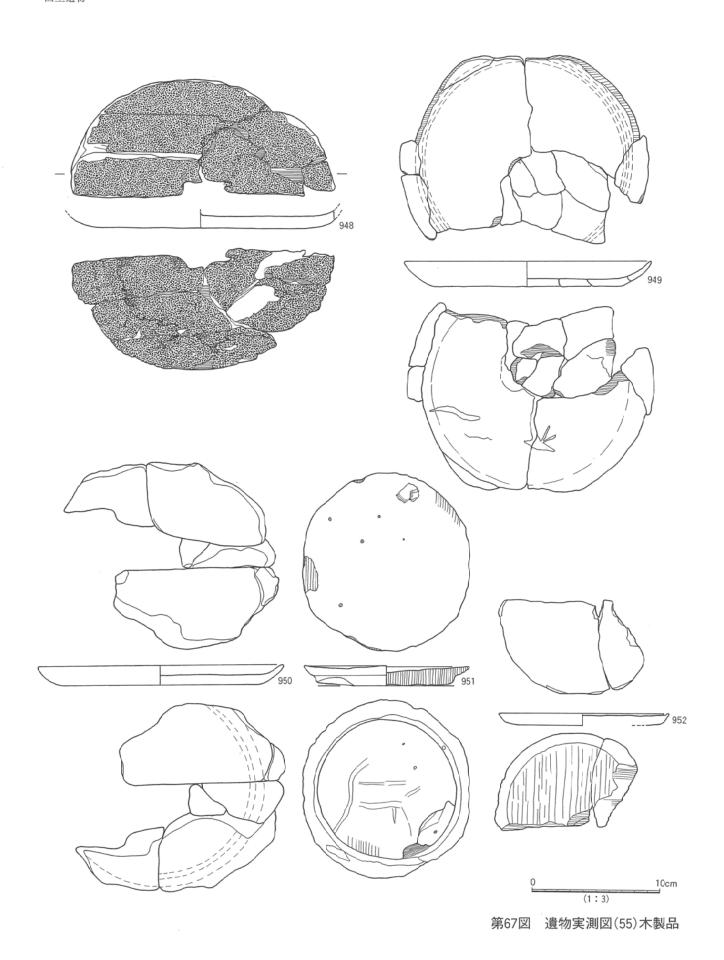




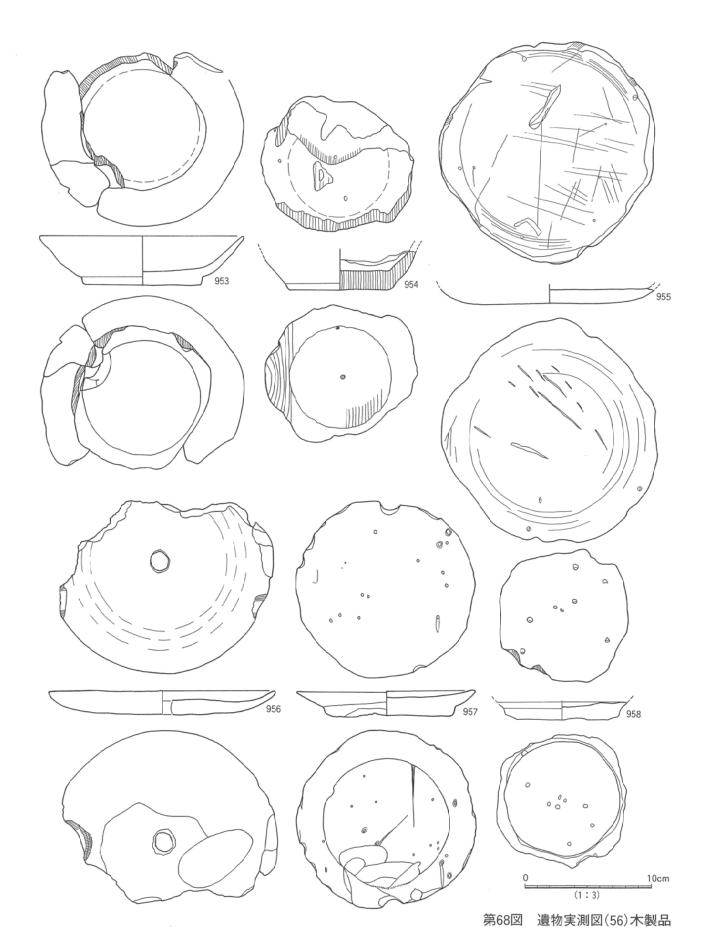
— 84 —



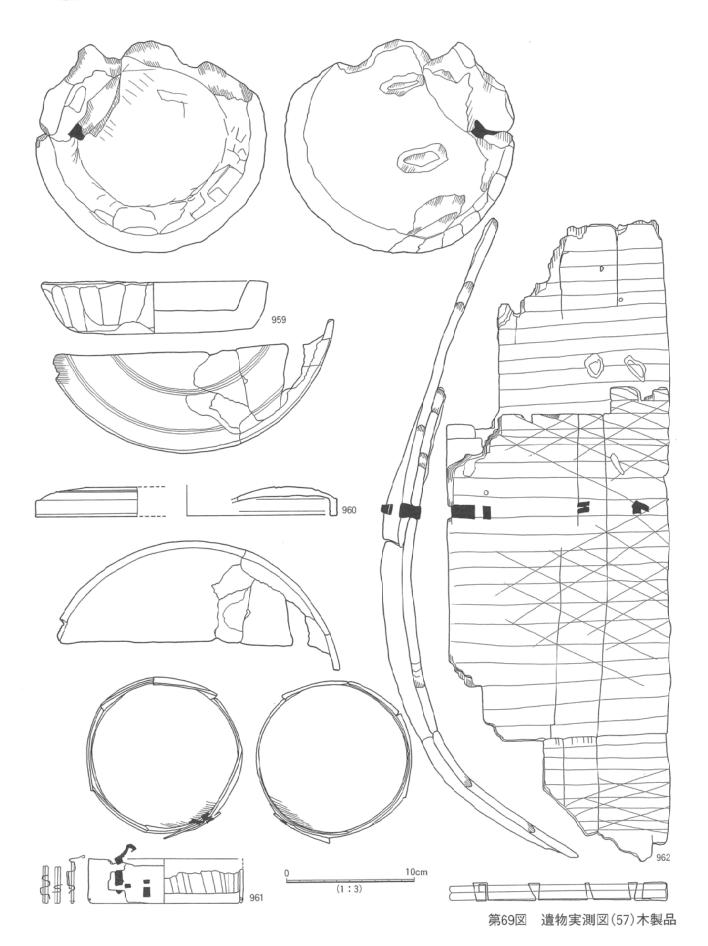
第66図 遺物実測図(54)木製品

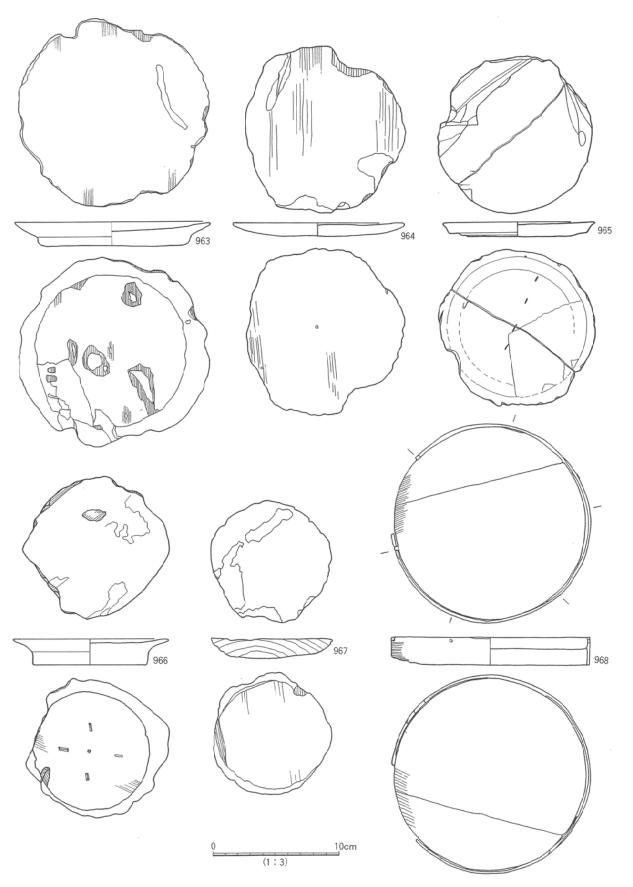


— 86 —

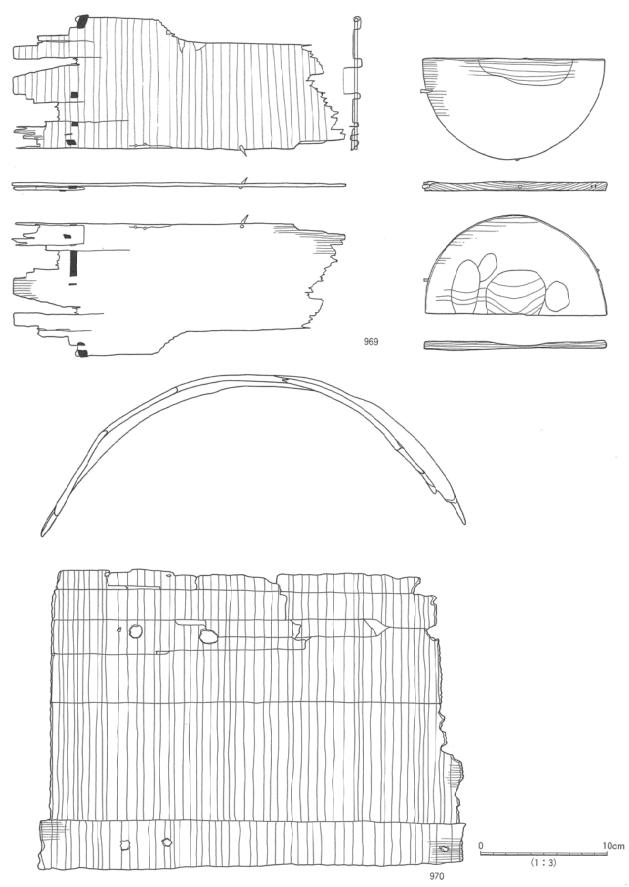


— 87 —

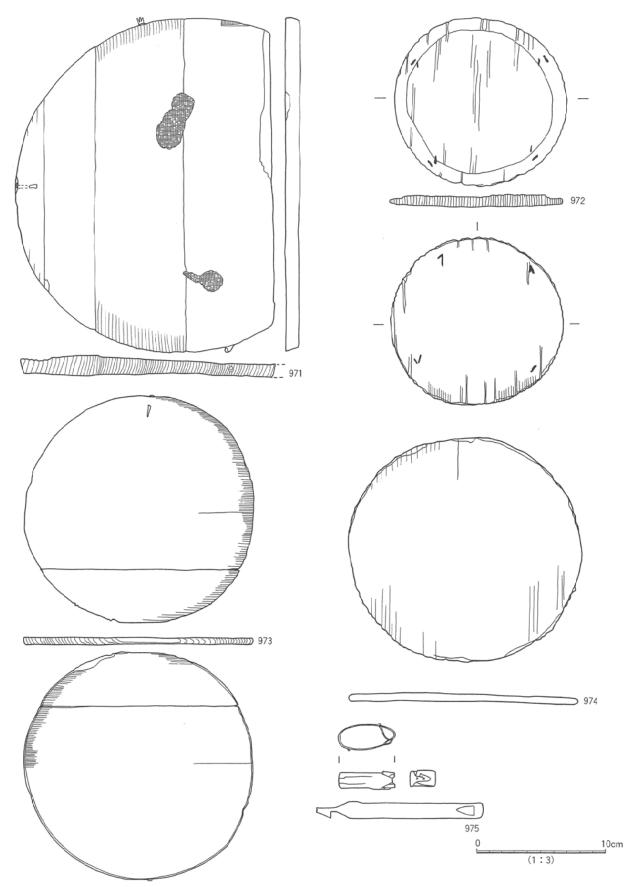




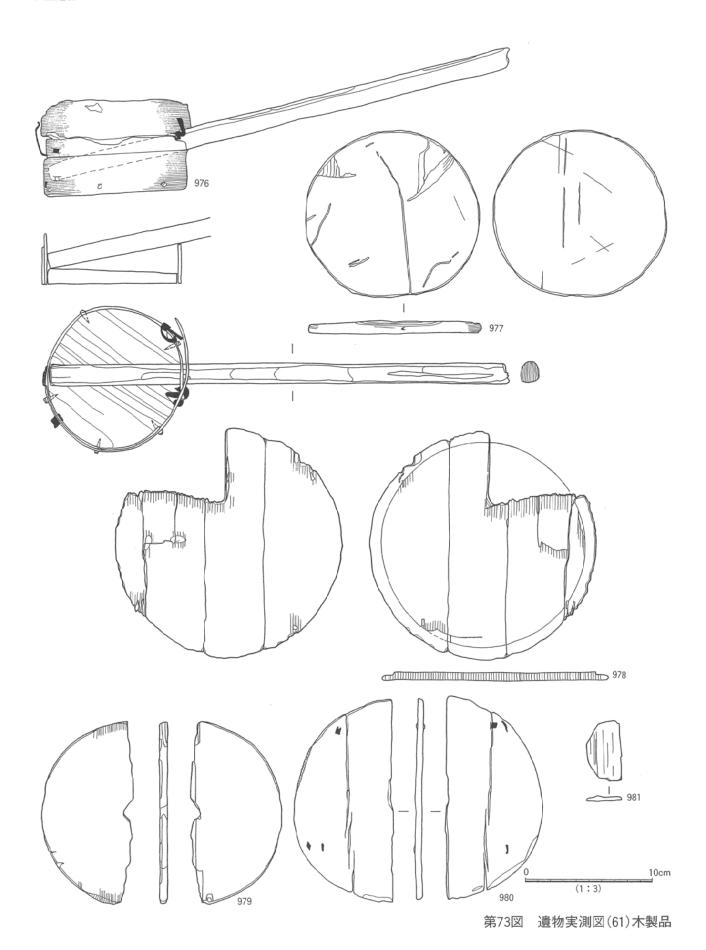
第70図 遺物実測図(58)木製品



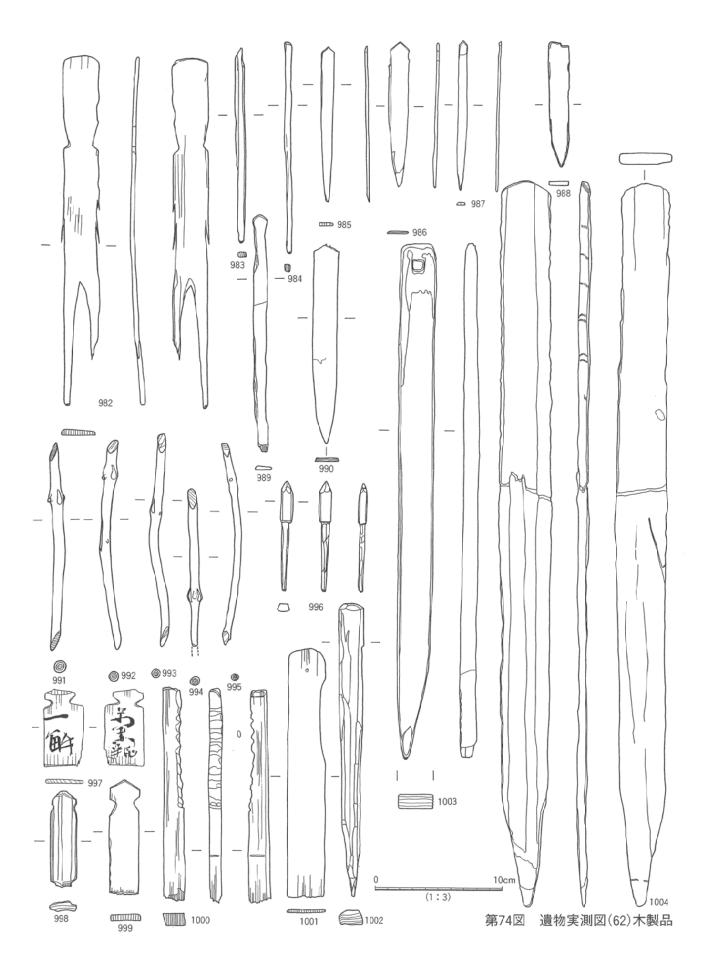
第71図 遺物実測図(59)木製品

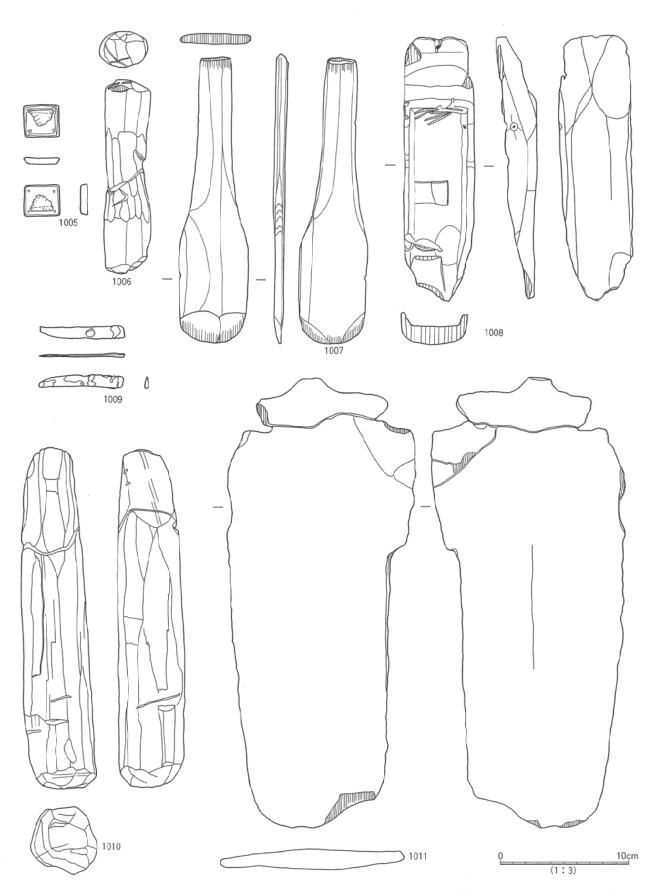


第72図 遺物実測図(60)木製品

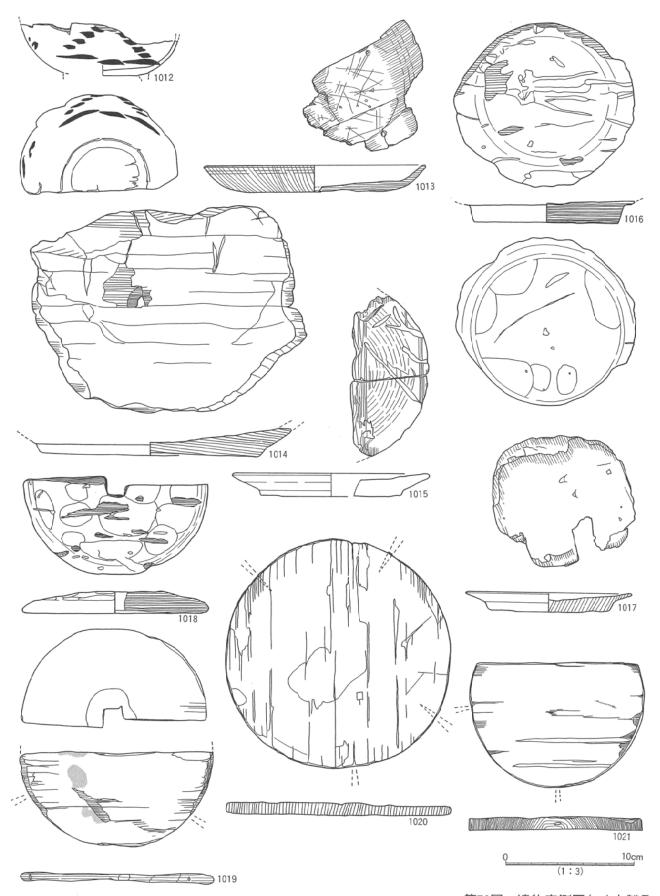


— 92 —

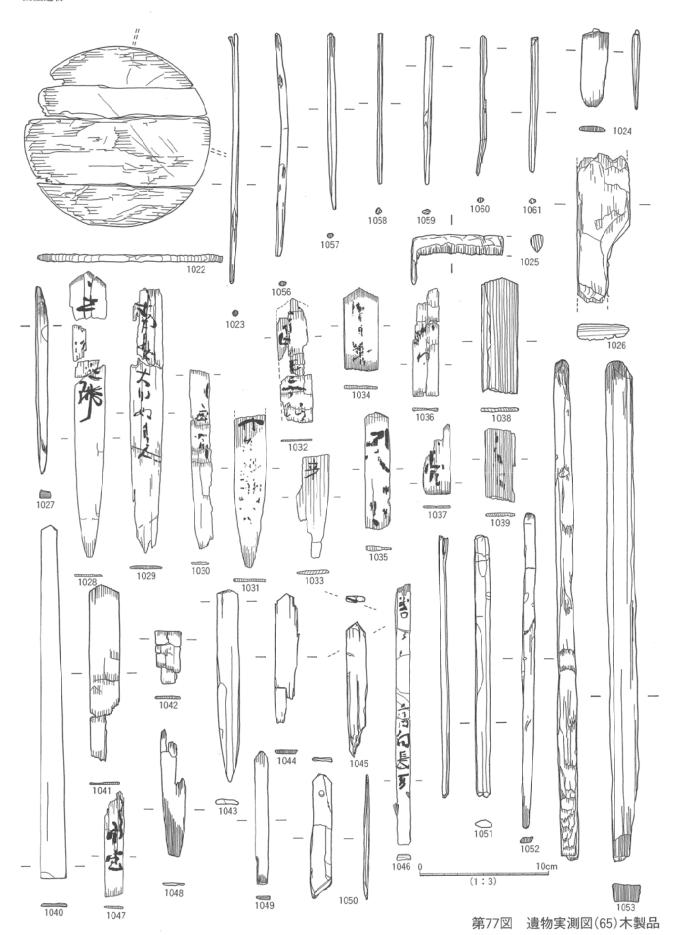




第75図 遺物実測図(63)木製品



第76図 遺物実測図(64)木製品



表一1 出土遺物観察表(1)

挿	NBC46					18	十 測 化	直(mm)			成	形技	法	力	· 使用:	DE .	88	書・線	刻	
図番号	遺物 番号	種別	器種	出土地点	層位	口径	底径	器高	器厚	色 調	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き	底部	備 考
号	1	須恵器	杯	SG 1	F 3	135.0	80.0	36.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	71111	1 3 800	765, EEP	> P 101	10,0	7634 ED	
	2	須恵器	杯	SG 1	F 5	125.0	60.0	33.5	6.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	3	須恵器	杯	SG 1	F 8	128.0	67.0	41.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕					
	4	須恵器	杯	SG 1	F 7	(128)	80.0	35.0	9.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							火だすき有
	5	須恵器	杯	SG 1	F9	131.0	78.0	40.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤					口綠部打欠後灯明皿
	7	須恵器 須恵器	杯杯	SG 1	F 8	134. 0 120. 0	76. 0 72. 0	35.0 33.2	4.0 3.5	白灰色 黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「利」	
	8	須恵器	杯	SG 1	F9	124.0	76.0	34.5	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「利」	
	9 .	須恵器	杯	SG 1	F 9	(126)	80.0	35.5	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤				「利」	灯明皿
13	10	須恵器	杯	SG 1	F 5	128.0	76.0	37.0	8.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
10	11	須恵器	杯	SG 1	F8	122.0	73.0	35.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	使用痕	使用痕				「利」	
	12	須恵器 須恵器	杯杯	SG 1	F 8	170.0 146.0	90. 0 84. 0	36.0 37.0	8. 0 4. 0	黒灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用砚 使用痕				「利」	
	14	須恵器	杯	SG 1	F9	132.0	67.0	40.0	5.5	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		150/13/00				1793	
	15	須恵器	杯	SG 1	F 7	136.0	70.0	42.0	5.0	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕					
	16	須恵器	杯	SG 1	F 9	116.0	70.0	33.0	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤					灯明皿
	17	須恵器	杯	SG 1	F 9	132.0	70.0	33.0	6.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「利」	
	18	須恵器	杯	SG 1	F8	136.0	88.0	41.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	Alt: III alt:	Air EEL str				「利」	
	19	須恵器 須恵器		SG 1	F 9	(138)	75. 0 65. 0	28.0 34.0	6.0 4.5	灰色 橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	使用痕	使用报				墨書不明	
$\vdash$	21	須恵器		SG 1	F10	127.0	83.0	36.0	5.0	灰褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				「物部」	
	22	須恵器		SG 1	F 9	124.0	76.0	34.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				「利」	
	23	須恵器		SG 1	F 9	136.0	80.0	36.5	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤					「利」	
	24	須恵器		SG 1	F9	(126)	74.0	47.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	Ale Evi at-				Fot de 1	
	25 26	須恵器 須恵器		SG 1	F 9	132.0	83. 0 64. 0	43.0 37.0	7.0	白灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	使用痕			-	「乎直」	灯明皿
	27	須恵器		SG 1	F 8	130.0	82.0	39.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	MK	使用痕			_	「村」	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
	28	須恵器		SG 1	F 8	(142)	60.0	40.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用硯				1172	
	29	須恵器	杯	SG 1	F 8	(142)	80.0	32.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	30	須恵器		SG 1	F 8	130.0	69.5	38.0	4.5	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	媒	煤					口縁部打欠後灯明皿
14	31	須恵器		SG 1	F9	140.0	66.0	37.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		滦				[Z][X]	
	32	須恵器 須恵器		SG 1	F 9	(136.0)	91.0 65.0	34.0	3.0	白灰色 黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	使用痕	使用痕			-	「村」	
	34	須恵器		SG 1	F 9	130.0	70.0	38.0	6.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	12/11/25	使用痕			_	宅」	
	35	須恵器	杯	SG 1	F 7	121.0	70.0	31.0	6.0	黑灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	36	須恵器		SG 1	F 9	(130)	(58)	38.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用砚				「福」	
	37	須恵器	杯	SG 1	F 5	120.0	54.0	47.0	5.0	灰褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		Ale FEL ete					歪み大
	38	須恵器 須恵器	杯杯	SG 1	F 8	(116)	44.0	51.0 43.0	5. 0 4. 0	灰褐色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				-	
	40	須恵器	杯	SG 1	F 5	136.0	52.0	44.0	4.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		IL/11/3C					
	41	須恵器	杯	SG 1	F 9	(130)	(50)	43.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	42	須恵器	杯	SG 1	F 8	(128)	(59)	42.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	43	須恵器		SG 1	F 5	(140)	55.0	48.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		Ata FEE ata		墨書不明	正位		
	44	須恵器 須恵器	杯杯	SG 1	F 9	(125)	(58) 55. 0	40.0 34.0	5.0	黒灰色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕			_	-	
	46	須恵器	_	SG 1	F 5	130.0	55.0	36.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	47	須恵器	杯	SG 1	F 10	136.0	104.0	40.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤					灯明皿
	48	須恵器	杯	SG 1	F 7	136.0	54.0	41.0	6.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	49	須恵器		SG 1	F 7	126.0	53.0	35.0	4.5	黄白色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		Lie-					loe ara mi
	50	須恵器 須恵器		SG 1	F 5	(128)	52.0 48.0	40.0 38.0		鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤			-		灯明皿
	52	須恵器		SG 1	F 5	(119)	50.0	41.0	6.0 5.0	黄白色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切	-				-	-	歪み大
15		須恵器		SG 1	F 9	(120)	47.0	38.0	5.0	黄白色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	54	須恵器	杯	SG 1	F 5	(128)	44.0	43.0	7.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明皿
	55	須恵器		SG 1	F 10		40.0	46.0	5.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				墨書不明	36.41		底部が極端に小さい
	56 57	須恵器 須恵器	_	SG 1	F 7	124.0 129.0	47.0 43.0	44.0	6.5 5.0	灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕		「禾」	逆位	「禾」	-
	58	須恵器		SG 1	F 5	(137)	58.0	44.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切	大州根	使用痕	-	墨書不明	-	175	
	59	須恵器		SG 1	F 8	124.0	51.0	35.0	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		転用硯		25.6-1-77		「福」	
	60	須恵器	杯	SG 1	F 9	135.0	57.5	42.0	6.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「福」	歪み大
	61	須恵器	_	SG 1	F 7	126.0	52.0	40.0	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				[宅]	
	62	須恵器		SG 1	F 5	(110)	(60)	24.0	6.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		205			-	「常」	
	63	須恵器 須恵器		SG 1	F 5	(130)	(54)	34.0	4.5	灰褐色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切 回転糸切		煤 使用痕	-			墨書不明	-
$\vdash$	65	須恵器		SG 1	F8	131.0	50.0	(29)	4.0	灰褐色	ロクロ	ロクロ	ELITERATE SU		漆				1 256.3	
	66	須恵器		SG 1	F 10	-			4.0	灰色	ロクロ	ロクロ			漆					
	67	須恵器		SG 1	F 8	128.0		(33)		灰褐色	ロクロ	ロクロ			ベンガラ					
	68	須恵器	THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN	SG 1	F 7				5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ			He re or		<b>墨書不明</b>			
16		須恵器		SG 1	F 7				6.0	橙色 参压鱼	ロクロ	ロクロ	-		使用痕	-	墨書不明	-	墨書不明	-
	70	須恵器 須恵器		SG 1	F 8				3.5 4.0	黄灰色 灰色	ロクロ	ロクロ			漆付着	-			靈音小明	
	72	須恵器	_	SG 1	F 9				6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		12.41			<u> </u>	墨書不明	
L	73	須恵器		SG 1	F 10					白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				墨書不明	
_						-		-												

表一2 出土遺物観察表(2)

挿	260/66n			шь-		1	计测计	値 (mm)			成	形技	法	1 4	k·使用:	NE .		書・締	割	
図番号	遺物 番号	種別	器種	出土地点	層位	口径	底 径	器高	器厚	色 調	外面	内面	底 部	外面	内面	底部	外面	向き	底部	- 備 考
,	74	須恵器	杯	SG 1	F 8				6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				墨書不明	
	75	須恵器	杯	SG 1	F 9				5.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				[田ヵ」	
	76	須恵器		SG 1	F10				7.0	白褐色		ロクロ	ヘラ切						「利ヵ」	
	77	須恵器		SG 1	F10				7.0	灰色		ロクロ	ヘラ切						「利ヵ」	
	78 79	須恵器 須恵器		SG 1	F10 F8				5.5	白灰色		ロクロ	ヘラ切		-				田力」	
	80	須恵器		SG 1	F9				7.0	灰色		ロクロ	回転糸切		使用痕				墨書不明	
	81	須恵器		SG 1	F 5				6.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕	_			「利」	
	82	須恵器		SG 1	F10				7.0	黒灰色		ロクロ	ヘラ切		転用硯				[+]	
	83	須恵器	杯	SG 1	F10				4.5	黄褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	84	須恵器		SG 1	F 5				6.5	灰色		ロクロ	ヘラ切		使用痕				墨書不明	
	85	須恵器		SG 1	F9				4.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「利ヵ」	
10	86	須恵器		SG 1	F 9				5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						線刻	
16	87 88	須恵器 須恵器		SG 1	XO F9				8. 0 5. 0	白灰色 白色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		-			_	利」	
	89	須恵器		SG 1	F 9				4.0	鈍い褐色	U / U	ロクロ	ヘラ切		-			-	墨書不明 線刻	
	90	須恵器		SG 1	F 9				5.5	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				墨書不明	
	91	須恵器		SG 1	F 9				4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		IZTITUS				墨書不明	
	92	須恵器		SG 1	F 9				5.0	灰色		ロクロ	ヘラ切						「利」	
	93	須恵器		SG 1	F 5	(121)	55.0		6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				墨書不明	正位		
	94	須恵器		SG 1	F 8		88.0		5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	95	須恵器		SG 1	F 4		55.0	(24)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「竟宅」	
	96	須恵器		SG 1	F10		(77)		4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				<b>墨書不明</b>	
	97	須恵器		SG 1	F9		72.0		4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-	Adr Est at-				[宅]	
	98 99	須恵器 須恵器		SG 1	F 9		86.0 56.0		6.0 5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切 回転糸切		使用痕				「福」	
	100	須恵器		SG 1	F 9	136.0	91.0	34.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	_	使用痕				利」	
H	101	須恵器		SG 1	F 9	100.0	74.0	51.0	5.0	黒灰色		ロクロ	ヘラ切		IZ/II/II			_	「利」	
	102	須恵器		SG 1	F 8		(80)		4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	103	須恵器	杯	SG 1	F 5	(108)	56.0	26.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						[宅]	
	104	須恵器	杯	SG 1	F 9		78.0		6.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	105	須恵器		SG 1	F 5	(98)	60.0	(17)	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「利ヵ」	
	106	須恵器	高台付坏	TRL	II	(104)	(57)	42.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	107	須恵器			F10	(110)	(76)	45.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	調整ヘラ	140						
	108	須恵器 須恵器	高台付杯	SG 1	F 8	(118)	(72)	42.0	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤				East 1	灯明皿
	109		高台付坏		F8	126. 0 123. 0	(74) 80.0	43.0	4.0	黒褐色 黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		煤				「利」	
17	111	須恵器	高台付坏		F 3	120.0	(44)	11.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	1 7 93		MK.			_	1793	
	112	須恵器	高台付坏		F 7		72.0	(20)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	113	須恵器			F 9		85.0		5.0	黒灰色		ロクロ	ヘラ切		転用硯				「利」	
	114	須恵器	高台付杯	SG 1	F 9		63.0		4.5	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「利」	
	115	須恵器			F10		77.0		5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用砚	使用痕			墨書不明	
	116	須恵器			F 8	(155)	83.0	77.0	6.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	117	須恵器	高台付坏		F 5	148.0	83.0	87.0	6.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	PE* Aula 30						火ぶくれ多数有
	118	須恵器 須恵器	高台付年		F 9	153.0	72.0 74.0	24.0	5. 0 3. 5	黒灰色 暗赤褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	灰被り 灰被り	灰被り	使用痕				外面全体に被灰
	120	須恵器	高台付坏		F 9	114.0	55.0	53.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	かいなり	使用痕	区/円/民				
	121	須恵器			F 7	111.0	65.0	00.0	6.0	暗褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		漆付着					
П	122	須恵器			F 9	97.0	58.0	54.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「木」	
	123	須恵器			F 9	102.0	50.0	52.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	124	須恵器			F 9		58.0		4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		転用硯				墨書不明	
	125	須恵器			F 4	(122)	76.0	(43)	5.0	黄白色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							高台の取り付けが雑
	126	須恵器		SG 1	F10	(78)	E0.0	(45)	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	table /-		det turver					O Maldinghada
	127	須恵器 須恵器		SG 1	F 8	(146)	59.0	38.0	6:0 7.0	鈍い橙色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸		転用硯					2次焼成有
	129	須恵器		SG 1	F9	(127)		23.0		灰色	ロクロ	ロクロ		煤						
	130	須恵器		SG 1	F 5	(124)		34.0	_	灰色	ロクロ	ロクロ		M						
	131	須恵器		SG 1	F 9	(120)		(25)	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ					「利」			
	132	須恵器		SG 1	F 8	153.0		36.0		灰色	ロクロ	ロクロ			灰被り		「利」			
	133	須恵器		SG 1	F 5	155.0			9.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				「利」			
18	134	須恵器		SG 1	F 9	(152)			7.0	暗灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用硯					
	135	須恵器		SG 1	F8	155.0		37.5	8.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			転用砚		墨痕あり			墨溜として使用
	136	須恵器		SG 1	F10	(152)		(27)	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ			転用硯					
	137	須恵器 須恵器		SG 1	F10 F8	(135)		(25)	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		灰被り 灰被り					
	139	須恵器		SG 1	F10	(110)		(17)	6. 0 5. 0	灰色 黒灰色	ロクロ	ロクロ	- 17 90		爪扱り					
	140	須恵器		SG 1	F 8	(138)		38.0		灰色	ロクロ	ロクロ		灰被り						外面綠褐色
	141	須恵器		SG 1	F 5	(118)		40.0		灰色	ロクロ	ロクロ			灰被り					
	142	須恵器		SG 1	F 9	(118)				鈍い褐色	ロクロ	ロクロ								
	143	須恵器		SG 1	F 9		110.0	(87)	10.0	黒褐色	ロクロ・タタキ	ハケメ	ヘラ切?	煤	灰被り					
	144	須恵器		SG 1	F 4		141.0			灰色	タタキ	ハケメ	タタキ			1				側面に指紋有
	145	須恵器		SG 1	F 7	(72)		(73)	-	白灰色	ロクロ	ロクロ			pate to the					
Ш	146	須恵器	22	SG 1	F 4	(103)		(33)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ			灰被り					

## 表一3 出土遺物観察表(3)

挿	遺物			# +		1	计测台	値 (nm)			成	形技	法	ľ	ķ·使用:	Æ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	建刻	
図番号	番号	種別	器種	出土地点	層位	口径	底 径	器高	器厚	色 調	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き	底 部	備考
,	147	須恵器	瓷	SG 1	F 4	(398)			14.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ						$\vdash$		
	148	須恵器	瓷	SG 1	F 5	(298)		(59)	12.0	灰褐色	ロクロ	ロクロ								
10	149	須恵器	速	SG 1	F9	(210)		(83)	11.0	灰色	ハケメ	アテ・ハケメ ロクロ	-	-				-		
19	150 151	須恵器 須恵器	要要	SG 1	F 9 F 10	(238)		(58)	11.0	黄灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	-	-	_	-		$\vdash$	-	
	152	須恵器	発	SG 1	F8	(20)		(00)	11.0	灰色	タタキ	アテ						+		
L	153	須恵器	甕	SG 1	F 5				12.0	灰色	タタキ	アテ								
	154	須恵器	甕	SG 1	F 8	224.0		418.0	11.0	灰色	タタキ	アテ		灰被り	灰被り					外面に焼台跡有り
20	155	須恵器	選	SG 1	F7				7.0	暗褐色	タタキ・ハケメ	アテ		灰被り	使用痕			-	-	
-	156 157	須恵器 須恵器	<b>売</b> 横瓶	SG 1	F5 F3	(113)			12.0 18.5	灰色 緑黒色	タタキ	アテ		自然和	,			-		
	158	赤燒土器		SG 1	F8	123.0	50.0	55.0	5.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	_	使用痕			$\vdash$		外面の煤付着が激しい
	159	赤焼土器		SG 1	F 9	124.0	51.0	58.0	6.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明皿
	160	赤焼土器		SG 1	F 9	140.0	59.0	60.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							底部周辺調整
	161	赤焼土器		SG 1	F7	120.0 119.0	57.0 54.0	49. 0 47. 0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-114.	煤			-		mを3次度とする。 公より日日 m
	163	赤焼土器		SG 1	F9	107.0	54.0	45.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	JAK.	Mc			-		口縁部打欠後灯明皿 全面なで調整
21	164	赤焼土器	_	SG 1	F 9	(114)	56.0	54.5	6.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	使用痕					灯明皿
	165	赤焼土器		SG 1	F 7	(182)	81.0	80.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤	煤				灯明皿
	166	赤焼土器		SG 1	F8	132.0	53.0	58.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				E.A.	
	167 168	赤焼土器	_	SG 1	F 9	(127)	56.0 (55)	58. 0 50. 0	6.0	鈍い橙色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	AU.	煤			-	「宅」	-
	169	赤焼土器	_	SG 1	F 7	128.0	59.0	49.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	使用痕			-	-	□緑部に煤、調整有
	170	赤焼土器	_	SG 1	F 7	(158)	65.0	65.0	7.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	,						
	171	赤焼土器		SG 1	F 8	(138)	56.0	48.0	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				「宛ヵ」	逆位		
	172	赤焼土器	<u> </u>	SG 1	F8	140.0	64.0	55.5	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕		墨書不明	正位		割れ3ヶ所有
	173 174	赤焼土器		SG 1	F8	(125)	48. 0 53. 0	46. 0 49. 0	4.5 6.5	橙色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕		墨書不明「週ヵ」	逆位	-	
	175	赤焼土器		SG 1	F 7	(130)	54.0	47.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	区州坂	戊州报		1 712 77 ]	建议	<u> </u>	
	176	赤焼土器		SG 1	F 8	(145)	52.0	54.5	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				墨書不明	正位		
	177	赤焼土器		SG 1	F 9	147.0	59.0	52.0	4.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕		ſΞJ	正位		
	178	赤焼土器		SG 1	F7	128.0	50.0	50.0	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切	Let-	煤			-		les DEL tra
	179 180	赤焼土器		SG 1	F9	120.0 126.0	46.0 59.0	46. 0 44. 0	5.0 6.0	赤褐色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	深	煤		墨書不明	-	-	灯明皿
	181	赤焼土器		SG 1	F 9	120.0	51.0	47.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕		200 101 (1 4.5)		「慈」	
22	182	赤焼土器		SG 1	F 9	(128)	(58)	50.0	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
22	183	赤焼土器	_	SG 1	F5	(126)	53.0	48.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					口縁部打欠後灯明皿
	184 185	赤焼土器		SG 1	F4 F5	123.0 122.0	52.0 50.0	47. 0 54. 0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		MP					
	186	赤焼土器		SG 1	F5	142.0	(48)	51.0	5.0 6.0	赤褐色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤煤			-	_	
	187	赤燒土器		SG 1	F8	132.0	63.0	51.0	7.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕					
	188	赤焼土器	_	SG 1	F 8	130.0	56.0	52.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	189	赤焼土器		SG 1	F3	145.0	62.0	47.5	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	_	1.0					
	190 191	赤焼土器		SG 1	F 9	128.0 148.0	46.0 58.0	49. 0 63. 5	6.0 5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤			-		灯明皿 外面口緑部に煤
	192	赤焼土器		SG 1	F 7	(152)	60.0	57.5	5.0	鈍い福色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	煤		-			歪大、灯明皿
	193	赤燒土器	坏	SG 1	F 9	128.0	48.0	48.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		7.11					
	194	赤焼土器		SG 1	F8	131.0	49.0	45.0	6.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明皿·蓋
	195	赤焼土器		SG 1	F8	130.0	54.0	46.0	7.0	橙色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切		使用痕					
	196	赤烷土器		SG 1	F 8	134.0 137.5	48.0 59.0	44.5	4.5 6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-				-		
	198	赤焼土器		SG 1	F10	121.0	57.0	49.0		鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				اتا	遊位		灯明皿·蓋
		赤焼土器	坏	SG 1	F 8	123.0	51.5	47.5	8.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤				[宅]	灯明皿·蓋
	200	赤焼土器		SG 1	F8	129.0	48.0	43.5		橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		Ale Erro - A		E-t- I	m. **		歪大
	201	赤焼土器		SG 1	F8 F9	123.0 116.0	51.0 47.0	46.0 48.0	6.5 5.0	橙色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕		「宅」	逆位	[ver	[&] ottom.
	202	赤焼土器		SG 1	F 9	103.0	58.0	40.0		売福色	ロクロ	ロクロ	四転糸切						「×宅」 「利」	「宅」の方が濃い 外面調整有
	204	須恵器		SG 1	F 9	122.0	51.0	39.5	7.0	浅橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤				. 193	灯明皿
23	205	赤焼土器		SG 1	F 9	121.0	52.0	37.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
20	206	赤焼土器		SG 1	F8	(110)	53.0	(40)			ロクロ	ロクロ	回転糸切				墨書不明		III che constitu	-
	207	赤焼土器		SG 1	F 5		(56) 55.0			鈍い褐色 鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	樵	煤			-	墨書不明	内面火ハネ
	209	赤焼土器		SG 1	F9	(120)	35.0		5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	C3 46/15 9J	MK	煤				1-61	1 JBI/\/ \^
	210	赤焼土器	高台付坏	SG 1	F 8		69.0		6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	煤					
	211	黒色土器			F 9	(128)	76.0	(29)	5.0	橙色	ロクロ	ミガキ	回転糸切	煤	煤					非内黒・灯明皿
	212	赤焼土器		SG 1	F9				5.0		ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕		墨書不明	正位	Ceta I	
	213	赤焼土器		SG 1	F 5	(214)		(67)	5.0 9.0	橙色 橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					-	[宅]	
		赤焼土器			F 7	49.0	44.0	25.0	010	橙色	ロクロ	ロクロ						-		
	216	赤焼土器	坏	SG 1	F 9				6.0	橙色	ロクロ	ロクロ			使用痕		墨書不明	正位		
-	217	須恵器		SG 1	F 7	(nr a)		/A=1	7.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	Marin -	漆					
24	218			SG 1	F 5	(212)		(97)		鈍い橙色		ロクロ・ハケメ		使用痕						灯明皿
_	219	<b></b>	26	30 1	гő	(209)		(60)	b. U	橙色	11711 1177 X	コンロッザメ			付着物					

## 表一4 出土遺物観察表(4)

挿	遺物			出土		1	计 測	道 (mn)			成	形技	法	炒	· 使用症	Ę	摄	書·線	[刻]	
図番号	番号	種別	器種	地点	層位	口径	底 径	器高	器厚	色調	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き	底 部	備 考
	220	赤焼土器	兜	SG 1	F 9	(179)			9.0	橙色	ロクロタタキ	ロクロタタキ		使用痕	煤					
	221	赤焼土器	遊	SG 1	F 7	(139)	76.0	135.0	8.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	煤					灯明皿
	222	赤焼土器	玊	SG 1	F 5	(116)	(61)	131.0	7.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	煤					灯明皿
	223	赤焼土器	甕	SG 1	F 7	(192)		(67)	9.0	橙色	ロクロ・ハケメ	ロクロ		煤						口縁部に煤
	224	赤焼土器	逃	SG 1	F9	(181)		(65)	5.0	橙色	ロクロ・ハケメ	ロクロ・ハケメ		付着物	煤					灯明皿
24	225	赤焼土器	355	SG 1	F5	(220)		(89)	8.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ・ハケメ		付着物	煤					
	226	赤焼土器		SG 1	F 8	(218)		108.0	7.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ		付着物	煤		-			
	227	赤焼土器	堝	SG 1	F 5	(248)			7.0	黄灰色	ロクロ・ハケメ	ロクロ・ハケメ		_	付着物					
	228	赤焼土器	燛	SG 1	F 8		78.0	19.0	8.0	鈍い橙色	ロクロ・ケズリ	ロクロ	静止糸切							外面下部にケズリ有
.	229	赤焼土器		SG 1	F 5		92.0		11.0	鈍い橙色	ケズリ	ハケメ	?	77.1			<u> </u>		`	
	230	赤焼土器	_	SG 1	F 9	152.0		(127)	7.5	橙色	ロクロ	ロクロ	·	煤	煤					口縁部打欠後灯明皿
$\vdash$	231	赤焼土器	堝	SG 1	F 5	(384)		(42)	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ・ハケメ		7514	775					HAMILY DAY OF THE
	232	赤焼土器	燛	SG 1	F 5	(298)		(150)	8.0	灰白色	ロクロ	ロクロ・ハケメ		煤	煤					
	233		堝	SG 1	F 7	(210)	(87)	(200)	10.0	鈍い褐色		ハケメ		7714	771					底部に砂粒付着
	234	赤焼土器		SG 1	F5		(01)		10.0	鈍い褐色	ロクロ・タタキ	ロクロ・ハケメ						-		25,1171-12/12/13/18
	235	赤焼土器		SG 1	F 8				10.0	橙色	ロクロ	ロクロ・ハケメ								
	236	赤焼土器		SG 1	F 3				9.0	赤褐色	ロクロ	ハケメ								
	237	赤焼土器		SG 1	F 5				10.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	-	煤	-	-	-			□緑部打欠後灯明皿
	238	赤焼土器	つまみ	SG 1	F 5				17.0	橙色	ケズリ	L / L	-	///K				-		144 Uh 1 V 1871 21mm
	239	黒色土器		SG 1	F 7	96.0	52.0	48.0	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	-	煤	-		_		非内黒、灯明皿
	240	黒色土器		SG 1	F8	121.0	56.0	49.5	6.0	橙色	ロクロ・ミガキ	ミガキ	回転糸切	_	/MK		-			内黒、ミガキ痕不明瞭
25	241	黒色土器		SG 1	F3	(134)	62.0	34.0	3.5	鈍い橙色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転系切				-	-		非内黒、歪有
	242	黒色土器		SG 1	F 3	114.0	50.0	52.0	6.0	黄褐色	ロクロ・ミガキ	ミガキ	回転系切			-	-	-		
	243	黒色土器		SG 1	F 7	(127)	(54)	54.0		鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ミガキ		朱	-			_		内黒
	243	黒色土器	_	SG 1	F 8	_			5.0		ロクロ・ミガキ		回転系切	*		-	-	-		内黒
	244	黒色土器		SG 1	F 5	128. 0 141. 0	54.0 63.0	52.0 60.0	4.0 7.0	灰色 鈍い橙色	ロクロ	ミガキ	回転糸切		-		-			ミガキ痕不明瞭 内黒
	246	黒色土器		SG 1	F8	163. 0	57.0	69.0	7.0	橙色	ロケロ・ミガキ	ミガキ	回転糸切	-			-			
	247	黒色土器		SG 1	F8				5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ・ミガキ		-						底部調整、内黒
	248	黑色土器		SG 1	F8	(131)	60.0	52.0			ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転系切							内黒
	249	黑色土器			_	(132)	(41)	(5)	5.0	鈍い橙色		ミガキ	回転糸切					-		内黒
	-	黒色土器		SG 1	F3	(178)	50.0	(45)	6.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ・ミが	fallet é lm	-	<u> </u>					内黒
$\vdash$	250			SG 1	F 5	117. 0	50.0	46.0	4.0	黒色	ロケロ・ミガキ		回転糸切						P.O. L	両黒 カ用 ガラエネヤケ 30世
	251	黒色土器 黒色土器		SG 1	F 5	157. 0	(38)	64.0	5.0	黄褐色	ロクロ・ミガキ	ミガキロケロ・ミ炸	回転系切	-			-		「サ」	内黑、外面下半打欠·剥離
ı	252			SG 1	F9	165.0	70.0	68.0	7.0	鈍い褐色			回転糸切	-			-			内黒、ミガキ痕不明瞭
	253	黒色土器 黒色土器		SG 1	F 5	158. 0	(58)	(69)	6.0	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	-	-			-		内黑
	254	黒色土器		SG 1	F 9	(130)	77.0	39.0	6.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	-				_	Fv I	内黒、底部再調整
	255	黒色土器		SG 1	F 9	(159)	(81)	60 A	7.0	鈍い褐色			回転糸切	-					[×]	内黒、ミガキ痕不明瞭
	256	黒色土器	高台付瓜	SG 1	F 9	(153)	72.0	68.0	6.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ミガキロケロ・ミ炸	回転系切	-164				-		内黒
	257	須恵器	坏	SG 2	F 7	161.0	76.0	40.0	4.0	鈍い橙色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	赤彩						内黒、底部ミガキ 内外面に火だすき有
	259	須恵器	坏	SG 2	F 7		86.0	38.0	4.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-	Alt: EEL els:		SIL etc		LT1	門が順に欠びまる智
	260	黒色土器	坏	SG 1	F8	133.0	84.0 78.0	34.0	4.0	灰色 橙色	пуп	пуп	ヘラ切	-	使用痕		墨痕	-	[+=]	非内里、口縁部打欠後灯明直
	261	須恵器	坏	SG 2	F8	122.0	69.0	39.0	5.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-	-		-	-		州"浩、仁称南灯"人及灯州里
	262	須恵器	坏	SG 2	F 7	(124)	82.0	34.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-				-		
26		須恵器	坏	SG 2	F8	(131)	80.0	37.0	4.5	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-	使用痕		-	_	丘(立ヵ)人	
120	264	須恵器	坏	SG 2	F9	(128. 0)	71.0	33.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		灰州极		-	-	「富」	
	265	須恵器	坏	SG 2	F6						ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-			-	-	1 16 3	
	266	須恵器	坏	SG 2	F7	(129) 134. 0	(72) 82.0	30.0	5.0	褐灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	140:	煤		-	-		打阻塞
	267	須惠器	坏坏	SG 2	F 5	(129)	(87)	37.0		黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤		-	-	-		灯明蓋
	268	須恵器	坏坏	SG 2	F 5	(119)	(69)	34.0	4.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	転用視煤		-	-	HI de A. m.	PTRIM:
	_		-	_	_		-		5.5	黒灰色				旅	AR	114		-	墨書不明	万門面
	269		坏	SG 2	F8	(127)	(65)	32.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	341	101	煤	-	-		Jor DD 36:
	270		坏	SG 2	F4	(123)	71.0	33.0	5.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤	-		-		灯明蓋
	271	須恵器	坏	SG 2	F5	(128)	61.0	3.0		灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-	Alt III at-	-	-	-		
	272		坏	SG 2	F 5	(143)	85.0	32.0	5.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-	使用痕		-		Emil	
	273		坏	SG 2	F9	123. 0	76.0	33.0	4.0	黄灰	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	JAI:	使用痕		-	-	[田]	for DO W
	274		坏	SG 2	F 8	136.0	54.0	38.5	3.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤			-		灯明蓋
-	275		坏	SG 2	F10	133.0	56.0	35.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤				Fort /	灯明蓋
	276		坏	SG 2	F8	(145)	83.0	36.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	140					[万]	I to DETAIL to the Are I to A
	277	須恵器	坏	SG 2	F9	132.0	72.0	39.0	5.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤					「宜」	灯明蓋、底部横方向に調整
	278	須恵器	坏	SG 2	F 9	(124.0)	62.0	36.5	4.5		ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「宜」	
	279		坏	SG 2	F 9	(131)	(72)	37.0	3.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				墨書不明	
	280		坏	SG 2	F9	134.5	65.0	34.0	3.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	使用痕	使用痕				「花」	
	281	須恵器	坏	SG 1	F 8	129.0	56.0	38.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤					「花」	
	282	須恵器	坏	SG 2	F 9	134.0	79.0	39.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
-	283	須恵器	坏	SG 2	F6	(136)	60.0	40.0	5.5	黄灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						[7]	
27	_	須恵器	坏	SG 2	F 6	(133)	(90)	33.0	5.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	285	須恵器	坏	SG 2	F 8	(127)	65.0	34.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					<u> </u>		
	286	須恵器	坏	SG 2	F 5	(139)	(78)	34.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕					- Andread of the Comment
	287	須恵器	坏	SG 2	F 5	(138)	8.4	32.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤					口縁部打欠後灯明皿
	288	須恵器	坏	SG 2	F 4	129.0	70.0	37.0	4.0	白灰黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤					灯明皿
	289	須恵器	坏	SG 2	F 7	144.0	90.0	38.0	6.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切		煤					灯明皿
	290	須恵器	坏	SG 2	F 6	(136)	81.0	39.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕					
	291	須恵器	坏	SG 2	F 5	134.0	60.0	36.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					-		
	292	須恵器	坏	SG 2	F10	(136)	(66)	38.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						L	

表一5 出土遺物観察表(5)

捶	Midde			ulu de		17	計 測 化	値 (mm)			成	形 技	法	- 8	<ul><li>使用</li></ul>	fit	.98	書・線	刻	
図番号	遺物 番号	種別	器種	出土地点	層位	口径	底径	器高	器厚	色 調	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き	底部	備考
号	293	須恵器	坏	SG 2	F 9	(135)	(80)	37.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	71181	1,3 181	AEX, EED	7F IIII	In) G	ASC HD	線刻
	294	須恵器	坏	SG 2	F 7	(137)	60.0	42.0	3.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕					44.50
27	295	須恵器	坏	SG 2	F 9	131.0	62.0	38.5	3.5	橙色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		煤					内面に斑状の付着物有
2	296	須恵器	坏	SG 2	F 7	135.0	95.0	34.0	4.0	灰白色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「月中」	
	297	須恵器	坏	SG 2	F 7	(120)	75.0	35.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤					墨書不明	灯明蓋
$\vdash$	298 299	須恵器 須恵器	坏坏	SG 2	F 6	(140) 128.0	(80) 62.0	34.0 40.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	-					線刻	
	300	須恵器	坏	SG 2	F 9	(143.0)	65.0	36.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			-	墨書不明 「花」	
	301	須恵器	坏	SG 2	F 6	138.0	77.0	37.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		煤				「水」	□緑部打欠後灯明皿・蓋
	302	須恵器	坏	SG 2	F 9	134.0	(72.0)	35.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		煤		[月]	逆位	177-3	灯明皿
	303	須恵器	坏	SG 2	F 6	137.0	67.0	36.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				「花」	
	304	須恵器	坏	SG 2	F 4	(115)	(50)	50.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤				墨書不明	灯明蓋
	305	須恵器	坏	SG 2	F 5	(129)	(60)	42.0	5.5	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	漆					
	306	須恵器	坏	SG 2	F 5	130.0	65.0	42.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
28	307	須恵器 須恵器	坏坏	SG 2	F 8	146.0 128.0	62.0 59.0	41.5 36.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						Estade I	
	309	須恵器	坏	SG 2	F 6	131.0	47.0	39.0	4.5	灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切 回転糸切	_				_	「山本」 墨書不明	
	310	須恵器	坏	SG 2	F 7	122.0	55.0	49.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤		-		[宅]	灯明
	311	須恵器	坏	SG 1	F 10	139.0	55.0	47.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		7754				「宅ヵ」	71.71
	312	須恵器	坏	SG 2	F 5	(138)	68.0	37.0	5.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				笔	
	313	須恵器	坏	SG 2	F 10	148.5	62.0	42.5	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「都」	
	314	須恵器	坏	SG 2	F 9	128.0	48.0	47.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕					
	315	須恵器	坏	SG 2	F 9	129.0	47.5	43.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕					
$\vdash$	316	須恵器	坏	SG 2	F7	(128)	(50)	41.5	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	317	須恵器	坏坏	SG 2	F4	(124)	52.0	34.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	319	須恵器 須恵器	坏	SG 2	F 5	(131) 128.0	50.0 55.0	44.0	5.0	鈍い橙色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	320	須恵器	坏	SG 2	F8	(133.0)	55.0	35.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				「宜」	
	321	須恵器	坏	SG 2	F 6	(128)	54.0	41.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		12/11/02				墨痕	
	322	須恵器	坏	SG 2	F 10	(127.5)	(46.0)	43.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
	323	須恵器	坏	SG 2	F 8	(131)	54.0	33.0	4.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		転用砚					
	324	須恵器	坏	SG 2	F 9	(126)	53.0	41.5	5.0	白褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			使用痕				
	325	須恵器	坏	SG 2	F 7	129.0	55.0	41.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	326	須恵器	坏	SG 2	F 6	(149.0)	(55.0)	41.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			転用硯	[万]	逆位		
	327	須恵器	坏	SG 2	F 5	(133.0)	54.0	44.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						[舎]	
	328 329	須恵器 須恵器	坏 .	SG 2	F 5	(134)	54.0 52.0	41.0 33.0	5.0	白灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	101					墨書不明	
29	330	須恵器	坏	SG 2	F 5	(137)	58.0	37.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	198:						
	331	須恵器	坏	SG 2	F 6	139.0	58.0	40.0	4.5	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	煤					灯明皿
	332	須恵器	坏	SG 2	F 9	(135)	46.0	49.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	7/84					V1-51mr
	333	須恵器	坏	SG 2	F 9	(134.0)			4.0	灰色	ロクロ	ロクロ		煤			「物」	横位		灯明遊
	334	須恵器	坏	SG 2	F 6	126.0	52.0	4.4	4.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明蓋
	335	須恵器	坏	SG 1	F 4		60.0		7.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						[宅]	
	336	須恵器	坏	SG 2	F 6	(118)	(82)	(22)	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						[田]	
	337	須恵器 須恵器	坏坏	SG 2	F 8	(114)	(cc)	(10)	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	_	Alle EXI also				墨書不明	
	339	須恵器	坏	SG 2	F4	(114)	(66)	(19)	4.0 7.0	黄灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切 回転糸切	-	使用痕				「丈」 墨書不明	
	340	須恵器	坏	XO			(74.0)		3.5	白灰色		10,0	ヘラ切	-					[X]	
	341	須恵器	坏	SG 2	F 7		72.0	(24)	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤					口綠部打欠後灯明皿
		須恵器		SG 2	_		50.0			黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						[×]	The state of the s
	343	須恵器		SG 2	F 7	(124)	72.0	(23)	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用砚					底部に火だすき有
	344	赤焼土器		SG 2	F8	/100	(0::::	(0.7		白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「田」・線刻	
	345	須恵器		SG 2	F9	(102.0)	(80.0)	(11.0)		灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						[下]	
	346 347	須恵器 須恵器		SG 2	F 6	(107.0)	(60.0)	(30.0)		灰色	ロクロ	ロクロ	A SAIR						墨書不明	
	348	須恵器	坏	SG 2	F 4	(82)	48.0	(14)		白灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切 回転糸切						「山本」	
	349	須恵器		SG 2	F 4	(115)	60.0	(25)	5.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「山本」	
	350	須恵器	坏	SG 2	F 5	(94)	60.0	(15)	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						宅」	
	351	須恵器	坏	SG 2	F 7		(70.0)		5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							「宅」が濃い
	352	須恵器	坏	SG 2	F 5		(48)	(7)	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		転用硯				[宅]	-
	353	須恵器		SG 2	F 5	(118)	(60)	(39)		白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				[宅]	
30	354	須恵器	坏	SG 2	F 5	(99)	(45)	1107		白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	Like .					「高ヵ」	
	355 356	須恵器 須恵器	坏坏	SG 2	F5	(90)	(52)	(18)	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	爆					[宅]	ribe dett ditt sleb
	357	須思辭	坏坏	SG 2	F 5	(112.0)	52.0 55.0	(21.0)	3.5 4.0	授色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切 回転糸切		媒				「窓」	底部調整
	358	須恵器	_	SG 2	F 6	(112.0)	48.0	(21.0)	5.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		亦				「善」	
	359	須恵器	坏	SG 2	F 5	(220)	(68)		4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「利」	
	360	須恵器	高台付坏		F 5	(104)	57.0	48.5	5.0		ロクロ	ロクロ	回転糸切	灰被り	灰被り				. 143	
	361	須恵器	高台付坏	and the same of th	F 4	124.5	80.0	42.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	使用痕						
	362	須恵器	高台付坏		F 5	126.0	69.0	46.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							
	363	須恵器	高台付坏		F 7	(126)	78.0	43.0	3.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切			1				
		4107 - 4																		
	364 365	須恵器 須恵器	高台付坏 高台付坏		F 8 F10	(127)	70.0	42.5 44.0	5.0	黒褐色 灰白色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用砚				「連」	

表一6 出土遺物観察表(6)

捕			, .				S.L. 20d	He /			-de	W. 14-	244	14	h Alema	ter	I	EU ets	delta -	ded		
挿図番号	遺物 番号	種別	器種	出土地点	層位	_	計測化底径	iti (mm)	器厚	色 測	成	形技	法	-	中原		Jul 7	基書			備	考
$\Box$	366	須恵器	高台付坏	SG 2	F 8	口径 (118)	医 (74)	器高 45.0	4.0	灰色	外面ロクロ	内面ロクロ	底 部 ヘラ切	外面	内面	底部	外 i	面向	] 8	底部		
30	367	須恵器	高台付坏	SG 2	F 7	120.0	67.0	39.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切									
Г	368	須恵器	高台付坏	SG 2	F 5	153.0	80.0	83.5	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤		煤						
	369	須恵器 須恵器	高台付坏	SG 2	F 6	(146) 144. 0	84. 0 83. 0	70.0 83.0	6.0	褐灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					-		墨書不明		
	371	須恵器	高台付坏	SG 2	F 5	144.0	(83)	80.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	使用痕	使用痕		_	+	$\dashv$	[E]		
	372	須恵器	高台付坏	SG 2	F 2	(112.0)	55.0	55.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	DC/11/3C	12/11/02			+		[田]		
	373	須恵器	高台付坏	X0		(108)	58.0	49.0	4.5	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							墨書不明	高台切目入	
	374	須恵器	壺	SG 2	F 6	101.0	(86)	(==)	10.0	黒灰色			ヘラ切		EST Anh. In			_	_	墨痕		
31	375 376	須恵器 須恵器	高台付坏	SG 2	F 8	104.0	61.0	70.0	4.0	灰色 黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		灰被り			-	-			
101	377	須恵器	高台付坏	SG 2	F10	122.0	(54)	(54)	3.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					_	$\dashv$			
	378	須恵器	高台付坏	SG 2	F 9	127.0	67.0	54.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							墨書不明		
	379	須恵器	高台付坏	SG 2	F7		83.0	25.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		141-			_		「宅」	to e met ma	
	380	須恵器 須恵器	高台付坏	SG 2	F 9	(113.0)	(76)	(22.0)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	,	煤			-	$\dashv$	[+]	灯明皿	
	382	須恵器	高台付坏	SG 2	F 6	(96)	59.0	(15)	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用砚			+	$\dashv$	墨書不明		
	383	須恵器	高台付坏	SG 2	F 5	104.0	48.0	46.0	4.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切							「一利」		
L	384	須恵器	高台付坏	SG 2	F 4	(106)	(54)	51.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切								内外に火だ	すき有
	385	須恵器 須恵器	高台付皿	SG 2	F 9	126.0	56.0	35.0	5.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切			転用視	墨痕	+		CES I		
	386	須思器	高台付皿	SG 2	F 9	136. 0 128. 0	59. 0 65. 0	32.0 36.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	煤	煤煤		+	-	[臣]		
	388	須恵器	蓋	SG 2	F 4	152.0	50.0	34.0	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ATM/15 90		.70	7775		+		.01		
	389	須恵器	蓋	SG 2	F 7	(149)		41.0	7.5	灰色	ロクロ	ロクロ										
	390	須恵器	蓋	SG 2	F7	(151)		95.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	felic 6 to		転用硯						Lander and the	lanuate at -
32	391	須恵器 須恵器	蓋	SG 2	F 4	(151)		37.0	5.0	灰色 黒灰色	ロクローケズリ	ロクロ	回転糸切		灰被り				$\dashv$		上面に回転	切狠有
	393	須恵器	蓋	SG 2	F 8	(130)		(31)	3.5	灰色	ロクロ	ロクロ					[+]	_	$\dashv$			
	394	須恵器	蓋	SG 2	F 8	(160)		(23)	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ										
	395	須恵器	蓋	SG 2	F 7			()	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ										
	396	須恵器 須恵器	遊	SG 2	F10	(127)	9.0	(31)	5. 0 8. 0	黒褐色	ロクロロケロ・タタキ	ロクロ・か相		灰被り				_	$\dashv$		継ぎ目がはっき	h I Ars
	398	須恵器	發	SG 2	F9		148.0		8.0	灰色	ロクロ・ハケメ	ロクロ・カキ目	ヘラ切?	灰被り	灰被り			-	$\dashv$		外部に指圧	
$\vdash$	399	須恵器	發	SG 2	F 5		(90)	(170)	10.0	灰色	ロクロ・タタキ	ロクロ・ハケメ	不明	灰被り	灰被り				$\neg$		y rapic production	30
	400	須恵器	壺	SG 2	F 2		(90)		8.0	黒灰色	ロクロ・ナア	ロクロ	不明	灰被り	灰被り						自然釉	
	401	須恵器	並	SG 2	F4		98.0	(115)	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ	不明	灰被り				_	_			
33	402	須恵器 須恵器	壺	SG 2	F 4		(95)	(61)	9.0 7.0	灰色	タタキ ロクロ・ナア	ロクロ	不明	灰被り	DE atch			-	$\dashv$			
	404	須恵器	遊	SG 2	F 7		(124)		11.0	赤褐色	ナデ	アテ		DC 80. 9	灰被り			_	$\dashv$			
	405	須恵器	壺	SG 2	F10			(157)	11.0	灰色	ロケロ・ハケメ	ロクロ・ハケメ	不明									
L	406	須恵器	並	SG 2	F 5		(134)	(60)	13.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ						_				
	407	須恵器 須恵器	壺壺	SG 2	F 5	(64)			7.5 6.0	灰色 黒灰色	ロクロ	ロクロ						-	-			
	409	須恵器	壺	SG 2	F 6	(04)			7.0	黒灰色	タタキ	ロクロ		灰被り	灰被り			+	$\dashv$			
	410	須恵器	遊	SG 2	F 6	(98)			7.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ		灰被り					$\neg$			
	411	須恵器	壺	SG 2	F 5	(92)			7.0	灰色	ロクロ	ロクロ									二重にロク	口痕
	412	須恵器 須恵器	壺壺	SG 2	F 4		(139)	(45)	8.0	白灰色	ハケメ	ハケメ	ヘラ切?	-				-	-			
	414	須恵器	委	SG 2	F 6				5.5	褐灰色 黒褐色	ロクロ	ロクロ		灰被り	灰被り			-	$\dashv$			
34	415	須恵器	壺	SG 2	F 9					灰色	ロクロ	ロクロ		灰被り				+			自然釉	
	416	須恵器	甕	SG 2	F 3			(55)	8.0	灰色	ロクロ	ロクロ										
	417	須恵器	小壺	SG 2	F8	(49)	53.0	(56)	5.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	EC 2d- In	使用痕			+	-			
	418	須恵器 須恵器	小壺	SG 2	F 5	(42)	(36)	(51)	7.0	黒灰色 黒灰色	ロクロロケバリ	ロクロ	回転糸切	灰板り	灰被り			+	$\dashv$			
	420	須恵器	甕	SG 2	F 9	(324)	55.0	52.0	10.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	F-1957/5 30					+	$\dashv$			
	421	須恵器	甕	SG 2	F 9	(553)			15.0	灰色	ロクロ・タタキ	ハケメ・アテ			灰被り							
$\vdash$	422	須恵器	悪細密	SG 2	F5	(178)			10.0	灰色	ロクロ・タタキ	アテ		灰被り			Pdon 5	1.0	1.54		Offi dal	
	423	須恵器 須恵器	横瓶	SG 2	F5 F5	(136)		(38)	7.0	灰色 橙色	タタキ ロクロ	アテロクロ		-			「加」	積	位		線刻	
	425	須恵器	崩	SG 2	F 9	(132)		(30)	4.5	橙色	ロクロ	ロクロ						+	$\dashv$			
35	426	須恵器	逃	SG 2	F 4					灰色	ロクロ	ロクロ										
	427	須恵器	亮	SG 2	F 5				_	灰色	タタキ・ハケメ	アテ							$\Box$			
$\vdash$	428	須恵器 須恵器	喪	SG 2	F 5	196.0			7.0	白灰色 灰色	ロケロ・タタキ タタキ	アテ		-				+	$\dashv$			
	430	須恵器	変	SG 2	F 7				9.0	黄灰色	タタキ	アテ		-				+	$\dashv$			
	431	須恵器	売	SG 2	F 5				15.0	灰色	タタキ	アテ									布と漆で割を修	復、布付着
	432	赤焼土器		SG 2	F 7	117.0	55.0	57.0	6.0	鈍い橙色		ロクロ	回転糸切									
36	433	赤焼土器		SG 2	F 5	(116)	(59)	58.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	画線がナデ		Alt DT st-			_				
	434	赤焼土器 赤焼土器		SG 2	F 6	119.0 123.5	59.0 61.0	52.0 58.0	4.0	鈍い橙色		ロクロ	回転糸切	-	使用痕 使用痕			+	-		灯明蓋	
	436	赤虎土器		SG 2	F8	120.0	50.0	51.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	_	煤			+	$\dashv$		歪大	
	437	赤焼土器	坏	SG 2	F 7	126.0	48.0	48.0	4.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕							
L	438	赤焼土器	坏	SG 2	F 9	123.0	49.0	54.0	6.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕							

表一7 出土遺物観察表(7)

挿図	遺物	66 Put 88 66	出土	E2 AL	1	計 測 1	直 (mm)		4	成	形技	法	抗	ま・使用:	E	## 500	書・線	!刻	
図番号	番号	種 別 器種	地点	層位	口径	底 径	器高	器厚	色調	外面	内面	底 部	外面	内面	底部	外面	向き	底部	備考
1	439	赤虎土器 坏	SG 2	F 8	121.0	50.0	53.5	8.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-				111	墨書不明	
36	440	赤虎土器 坏	SG 2	F 8	153.0	65.0	62.0	6.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				[H]	横位	565 IN -1 -93	
	441	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	116.0	52.0	53.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				「甫」 <b>『</b> ×』	
	442	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	118.0	42.0	58.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	443	赤焼土器 坏	SG 2	F 10	(111)	49.0	59.0	6.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤				「宅」	
	444	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	117.0	46.0	59.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	445	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	152.0	78.0	71.0	7.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「保」	底部 3回切離(2回回 転糸切、1回静止糸切)
	446	赤焼土器 坏	SG 2	F 5	152.5	(60)	74.0	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
	447	赤焼土器 坏	SG 2	F 5	127.0	59.0	49.0	3.5	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤					灯明皿
	448	赤虎土器 坏	SG 2	F 6 F 5	143.0	(58.0)	63.0 47.0	5. 0 6. 0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	450	赤虎土器坏	SG 2	F 5	127.7	55.0	50.0	4.5	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			_	-	_	-	歪大
	451	赤焼土器 坏	SG 2	F 6	129.0	52.0	49.0	5.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			-				正人
37	452	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	135.0	55.0	47.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					口緑部打欠後灯明皿
101	453	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	125.0	52.0	48.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明皿
	454	赤澆土器 坏	SG 2	F 7	133.5	58.0	59.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	使用痕					灯明蓋
	455	須恵器 坏	SG 2	F 8	(132.0)	63.0	52.0	4.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		付着物					
	456	赤虎土器坏	SG 2	F 7	141.0	51.0	56.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	457	赤流土器 坏	SG 2	F 7	101.0	56.0	59.0	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	458 459	赤虎土器 坏	SG 2	F 7	136. 0 123. 0	59.0 42.0	58.0	3.5	橙色 鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切	-				-		
	460	赤虎土器 坏	SG 2	F 7	130.0	52.0	49.0	5. 5 3. 5	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				-	-		
	461	赤虎土器坏	SG 2	F 8	150.0	53.0	69.5	7.0	姉い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤			-	-	灯明蓋
	462	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	124.0	58.0	44.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	7/15	20%					7.1 '91 mr.
	463	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	133.0	50.0	49.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤				,	灯明蓋
	464	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	133.0	50.0	51.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤					
	465	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	(126)	50.0	54.0	4.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切				[H]	横位		
	466	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	130.0	57.0	49.0	6.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤	煤				灯明蓋
	467	赤虎土器 坏	SG 2	F 8	151.0	56.0	58.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					
	468	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	132.0	54.0	53.5	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	469	赤虎土器 坏	SG 2	F 9	161.0	73.0 56.0	75.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切	煤	煤田砂					
	471	赤虎土器 坏	SG 2	F 9	133. 0 138. 0	61.0	56.0 55.5	5. 0 4. 0	鈍い橙色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	使用痕					底部まで至るひび有
	472	赤虎土器坏	SG 2	F 7	128.0	53.0	51.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	-	区州派				[上]	底部よく主るひり有
	473	赤焼土器 坏	SG 2	F 4	129.0	52.0	51.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕				底部穿孔	
	474	赤焼土器 坏	SG 2	F 6	125.0	53.0	47.0	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切	1.0.11.00	14/1/4		墨痕		PERSONAL TO	
38	475	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	(152)	63.0	50.0	5.5	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				「宅」	灯明蓋
100	476	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	(128)	56.0	49.5	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	477	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	131.0	63.5	56.0	4.5	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	478	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	122.0	55.0	50.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明蓋
	479	須恵器 坏 赤焼土器 坏	SG 2	F 5	125. 0 124. 0	49.0 48.0	46.0	3. 0 6. 0	鈍い褐色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							歪大
	481	赤焼土器坏	SG 2	F 7	123.0	55.0	48.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							2回切離し
	482	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	132.0	58.0	61.0.	4.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤						灯明蓋?
	483	赤焼土器 坏	SG 2	F 5	133.0	56.0	44.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	17/4						7.7 7.3 m. 1
	484	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	126.0	54.0	48.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	485	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	123.0	53.0	46.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明皿?
	486	赤焼土器坏	SG 2	F 8	121.0	48.0	43.0	4.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明蓋
$\vdash$	487	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	130.0	56.0	49.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切							
	488	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	127. 0 133. 0	55.0 52.0	46.0		鈍い橙色	-	ロクロ	回転糸切							
	490	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	130.0	56.0	52.5 45.0		拠い物色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	491	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	150.0	53.0	65.0		橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	492	赤焼土器 坏	SG 2	F 5	123.0	52.0	49.0		褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「上」	
	493	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	165.0	68.0	68.0		鈍い橙色		ロクロ	回転糸切		墨痕				笔	
	494	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	(153)	(70)	63.0		鈍い橙色		ロクロ	回転糸切		煤				墨書不明	灯明皿
	495	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	(130)	52.0	49.5		鈍い橙色		ロクロ	回転糸切	煤	煤				「宅」	灯明蓋
	496	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	129.0	51.0	45.0		鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	497	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	130.0	53.0	46.0		鈍い褐色		ロクロ	回転糸切							
39	498	赤焼土器 坏	SG 2	F 4	(141)	55. 0 54. 0	50.0		鈍い褐色		ロクロ	回転糸切							
	500	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	126.0	51.0	48.0		褐灰色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					歪大
	501	赤焼土器坏	SG 2	F 7	134.0	51.0	46.0			ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					<b>近</b> 明蓋
	502	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	130.0	53.0	51.0		褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	7.95	-794					歪大
	503	赤焼土器 坏	SG 2	F 8	130.0	48.0	47.5		橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	504	赤焼土器 坏	SG 2	F 9	128.0	52.0	49.5		鈍い橙色		ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明蓋
	505	赤焼土器 坏	SG 2	F10	124.0	51.0	48.5	4.0		ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	506	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	137.0	50.0	53.0		鈍い褐色		ロクロ	回転糸切							En El
	507	赤焼土器 坏	SG 2	F 6	133.0	55.0	47.0		橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		Adv Pra		墨書4字		E.dv. 1	「豊」「女ヵ」「祇ヵ」「子ヵ」
	508	赤焼土器 坏	SG 2	F 7	(135) 133. 0	46.0	47.0			ロクロ	ロクロ	回転系切		使用痕		「佐」	正位	[毛]	
H	510	赤烷土器 坏	SG 2	F 6	125.0	54. 0 50. 0	48.0 52.0		鈍い橙色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切		墨痕					<b>応報御</b> 参
40	511	赤焼土器坏	SG 2	F 6	121.0	50.0	52.0		鈍い褐色	_	ロクロ	回転系切							底部調整
_		2 Section 1-15		- 0	20110	50.0	-a. 0	U. U	-0-146	-, -	- / -	2-14017K 90							

表一8 出土遺物観察表(8)

1	挿図	遺物			出土		î	计 測 1	ě (nm)			成	形技	法	均	<ul><li>使用</li></ul>	Ę	思	書・線	[刻	
15.1   報託書     17.2     17	番号		種別	器種		層位	口径	底 径	器高	器厚	色 調	外面	内面	底 部	外面	内面	底部	外面	向き	底 部	備考
Septile   Part   Septile   Part   12.5   4.6   Septile   Part   12.5   Part   Part	Г	512			SG 2	F 7	124.0	51.0	51.0	4.0	赤褐色										
15.0					-																
Septile   Part   Pa					-																
ST   現民選手   1   SC   1   P   1   SC   P   S															付着物	付着物					灯明皿?
Seption   Mexical Park   Soc 2   Fo 7   17.0   66.0   70.0   70.0   84.0   70.0   70.0   19.0				_												Alte DIII afte			_		
150   機能計算   150   2   9   120						_													-		
50   國報報音   1   50   9   11   15   15   15   15   15   15															继	灰州派					·打田海
10   50													_			使用痕					
SSS   操性함   SG2   F4   144   0.0   54.0   4.6   69%   970   970   98% 이 명   44	40											ロクロ	ロクロ								
SS   神经性   F   SG   F   1(44)   66,0   5.0		522	赤焼土器	坏		F 9			54.5	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		煤·					灯明蓋
Sep   Mark Hank   Sep   Pa   Mark   Mark		523	赤焼土器	坏	SG 2	F 4	121.0	50.0	47.0	4.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「宅」	
Sep   神社발   R		524		_	SG 2	F 4	(144)	68.0	64.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
Septimal Part   Septimal P		525								6.0		_									
508   新社計															煤			「大」	逆位		灯明蓋
509   神社전   14   15   15   16   16				_						_					Late:					Cope I	
SSS   神社王   F															7/4:	_	_				-
SATE   Mat 28   Fr   SO 2   Fr   G   G   SA 0															NE.	-	-				
533 神社전   F   502   F 8   120   0 6.0   50.0   50.0   6.0   6.0   4.	$\vdash$														.980						
534 神社등   F   SO 2   F 9   U30   S. 0   S. 0   S. 0   S. 0   S. 0   P 9   U30   S. 0   S. 0   S. 0   S. 0   P 9   U30   S. 0   S																IC/17/JC					
555 神肚王함   F   SC2   P   18-0   1																					
558 神社등   1						_	_									使用痕					
538   神원王함   H   50   2   F   10   120   10   10   10   10   10   1		535				F 9				4.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明蓋
598   神원도함   H   50   2   F   125.0   52.5   44.0   4.0   현사면은 1970   970   神經문항   伊用成   中用成   中国成   中国成		536	赤焼土器	坏	SG 2	F 9	(127)	58.0	44.0	6.0	純い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕					「秦」	灯明皿
59   神麗王朝   1   50   神麗王朝   1   50   2   1   7   130   0   0   0   0   0   0   0   0   0		537	赤焼土器	坏	SG 2	F 5	(124)	(50)	43.0	4.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	使用痕					灯明蓋
541   競技   FK   502   F8   43.0   60.0   49.5   49.0   程色   位在   19.0   19.		538			SG 2	F 5	125.0	52.5	44.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ								
No.   20		539				_															
No.   No	41				_	_															L-mark
Second				<u> </u>		_									煤						灯明皿
Septimized   Form   Soc 2   F 7   118.0   50.0   60.0   40.0   50.0   60.0   40.0   50.0   60.0   40.0   50.0   60.0   40.0   50.0   60.0   40.0   50.0   60.0   40.0   50.0   60.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0   50.0   40.0				_		_	_									保		88.46-75.00	106.64		15-50 T T 20-7-
Septiment						_									-			愛貴小明	32.12.		
Septiment																		「たロロ」	結付		ACOD # F 100 3E
Separate   Fig.   F									_									I ALCIUJ	19(1%		
Septiment   Signar   Signa						_															
580   李斐上音   环   SG 2   F 7   (100)   63.0   (28)   5.0		548				F 9			_	5.0	-	ロケロ・ケズリ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					灯明皿
Fig.   李挽上器   环   SC   F   SC   F   SC   C  SC		549	赤焼土器	坏	SG 2	F 7	128.0	52.0	35.0	4.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							底部まで至るひび有
Fel		550	赤焼土器	坏	SG 2	F 7	(100)	63.0	(28)	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
553   赤砂土曽   下   SG 2   F 5   (63)   5.0   極色   ロクロ   ロクロ   回転糸切   便用紙   「「七」   「七」   「一」   「七」   「一」   「七」   「一」		551				_	(108)			_						使用痕					
Feb						_			(20)						44-101-4-						
555   赤砂土器   F   S   S   C   F   6   (68)   6.0   場所後   ロクロ   ロクロ   回転糸切   同転糸切   「丁丁」   空位   京部   京部   京部   京都   京都   京都   京都   京都										_						Ale tro ate					
556   赤蛇土器   F   S   S   S   S   S   S   S   S   S					_	_									保	使用狠					
557 素養土器   F   SG 2   F 8   59.0   4.0   報色   ロクロ   ロクロ   回転糸切   使用痕   「二」 遊位   原語ケズリ成形   558 素養土器   F   SG 2   F 7   (112)   58.0   (28)   5.0   報色   ロクロ   ロクロ   回転糸切   回転糸切   原語ケズリ成形   原語・															_		-		-		
558   赤泉土器   平   SG 2   F10   (32)   (32)   (33)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (34)   (35)   (35)   (35)   (34)   (35						_				_		_	_		-	使用痕	_	L-I	遊位	1113	
559   赤泉土蕃   坪   SG 2   F 7   (112)   58.0   (34)   3.5   純い褐色   ロクロ   ロクロ   ロクロ   回転糸切   原土番   坪   SG 2   F 7   S2.0   4.0   復色   ロクロ   ロクロ   ロを糸切   原土番   田本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本				_	_	_			(28)			_	_		赤彩	IK/II IK		13	3212		底部ケズリ成形
560 赤統土器   环   SG 2   F 7   52.0   4.0   接色   ロクロ   ロクロ   ロの田   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日						_	(112)						_		77.45					墨書不明	Table 1
562 赤焼土器 坪         SG 2         F 6         4.8         鈍心检色         ロクロ         ロクロ         腸舎不明         逆位           563 赤焼土器 坪         SG 2         F 3         4.9         褐色         ロクロ         ロクロ         暴舎不明         「本月           556 赤焼土器 坪         SG 2         F 8         (111)         5.0         赤褐色         ロクロ         ロクロ         暴舎不明         逆位           566 赤焼土器 皿         SG 1         F 2         90.0         47.0         24.0         4.0         陽色         ロクロ         ロクロ         国転糸切         馬舎不明         逆位           567 赤焼土器 高台館 SG 2         F 10         127.0         72.0         44.5         5.0         砂砂砂色         ロクロ         ロクロ         回転糸切         馬舎不明         逆位           567 赤焼土器 高台館 SG 2         F 8         121.0         62.0         44.5         5.0         砂砂砂砂 ロクロ         ロクロ         回転糸切         回転糸切         ロクロ         中の・         一次の         中の・         上番店台館         SG 2         F 7         152.0         65.0         35.0         長砂砂砂         ロクロ         ロクロ         回転糸切         中の・         一次の         上野店台館         SG 2         F 7         152.0         (23)         8.0         資格色         ロクロ												ロクロ	ロクロ							_	
563 赤焼土器   坏   SG 2   F 3           4.9   協色   ロクロ   ロクロ   ロクロ   ロクロ   ロクロ   田永切   日本の	42	561	赤焼土器	坏	SG 2	F 8		(50)	(26)	5.5	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕				墨書不明	
554 赤焼土器 坏 SG 2 F 5         1         5.9 慢色 ロクロ ロクロ ロクロ ロシロ ロ転糸切 原統分 原体 大き 赤炭土器 木 SG 2 F 8 (111)         5.0 赤褐色 ロクロ ロクロ ロ野 原体 切 原統分 原体 日本						_													逆位		
555   赤焼土器   以   SG 2   F 8   (111)   127.0   47.0   24.0   44.0   24.0   44.0   24.0   24.0   44.0   24.0   24.0   24.0   44.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   24.0   25.0   2													_	and the control				墨書不明		f-t-:	
S66   赤炭土器   III   SG 1   F 2   90.0   47.0   24.0   4.0					_	_	(1111						_	回転糸切				BH distretion	36.55	本]	
557    赤焼土器 高台信						_		47.0	24.0				_	जिस्ट दे जि	-			· 靈音小明	地位	-	
568       赤焼土器 高台村       SG 2       F 8       121.0       62.0       41.5       6.0       競色       ロクロ       ロクロ       回転糸切          559       赤焼土器 高台村       SG 2       F 5       132.0       65.0       35.5       6.0       鈍い褐色       ロクロ       ロクロ       回転糸切          570       赤焼土器 高台村       SG 2       F 7       (152)       (23)       8.0       黄褐色       ロクロ       ロクロ       ロクロ       日夕口       日夕日															-	-	-	-	-	-	-
559 赤焼土器 高台龍   SG 2   F 5   132.0   65.0   35.5   6.0   鈍い褐色   ロクロ   ロクロ   ロクロ   ロを糸切   ログロ   ロが高   ログロ   ログロ   ログロ   ログロ   ログロ   ログロ   ロが高   ログロ   ログロ															-	-	-	-	-	-	
570 赤焼土器 高台信       SG 2       F 7       (152)       (23)       8.0       黄褐色       ロクロ       ロクロ       ロクロ       ロクロ       日夕田       日村田       日本       日本 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>																					
571 赤焼土器 高台村 SG 2 F 5 131.0       65.0       51.0       4.5       褐色 ロクロ ロクロ ロクロ 回転糸切       「下記」         572 赤焼土器 高台間 SG 2 F 9 (124)       (26) 9.0       褐灰色 ロクロ ロクロ 回かの 回転糸切       「下記」         573 赤焼土器 高台間 SG 2 F 8 (63.0 (28) 7.5       砂色 ロクロ ロクロ 回転糸切       「下記」         574 赤焼土器 高台間 SG 2 F 7 (126.0 (63) 45.0 4.0 慢色 ロクロ ロクロ 回転糸切       中外面丁寧ドナデ調整         575 赤焼土器 兜 SG 2 F 7 (220)       (84) 7.5 触い褐色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ログロ・パメ アルバメ 水       「アルバメ 本売土器 兜 SG 2 F 7 (220)       「不の 純い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 水       「水井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上野・大井田大上町・大井田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田						_		0010		_				12.49.71.32							内外面丁寧にナデ調整
572 赤焼土器 高台館 SG 2 F 9 (124)       (26) 9.0 陽灰色 ロクロ ロクロ ロクロ 回転条切 [7を]         573 赤焼土器 高台館 SG 2 F 8 (65.0 (28) 7.5 極色 ロクロ ロクロ 回転条切 [7を]         574 赤焼土器 高台館 SG 2 F 7 (126.0 (63) 45.0 4.0 極色 ロクロ ロクロ 回転条切 使用痕 [7を]         575 赤焼土器 兜 SG 2 F 7 (520)       (53) 6.0 陽灰色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ラウン・バメ 紫         576 赤焼土器 兜 SG 2 F 7 (220)       (84) 7.5 純い褐色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 紫         577 赤焼土器 兜 SG 2 F 7 (220)       (7.0 純い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 紫         578 赤焼土器 兜 SK 120 (120)       (78) 4.0 黄褐色 ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 紫         580 赤焼土器 兜 SG 2 F 8 140.0 71.0 136.0 5.0 純い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 紫       大面も前 外面に煤だれ有 外面に煤だれ有 外面に煤だれ有 580 赤焼土器 兜 SG 2 F 7 (190) (46) 6.5 純い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 柴 紫         581 赤焼土器 兜 SG 2 F 8 (142)       50.0 陽色 ロクロ ロクロ ロクロ 原糸切 埃 紫       大面糸砂 紫         582 赤焼土器 兜 SG 2 F 8 (142)       50.0 陽色 ロクロ ロクロ 原糸切 埃 紫       大はね激						_	_	65.0						回転糸切							
574 赤焼土器 高台信 SG 2 F 7       126.0 (63) 45.0 4.0 慢色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロタロ・アクス						_						ロクロ	ロクロ								
43     575     赤焼土器     翌     SG 2     F 7     (53)     6.0     陽灰色     ロクロ     ロクロ・ハウメ     媒        576     赤焼土器     翌     SG 2     F 10     (84)     7.5     鈍い褐色     ロクロ     ロクロ・ハウメ     球        577     赤焼土器     翌     SG 2     F 7     (220)     7.0     鈍い橙色     ロクロ     ロクロ     東       578     赤焼土器     翌     SK 120     (120)     (78)     4.0     黄褐色     ロクロ     ロクロ     財ン・ハウ     ハウ目の上からナア画整       579     赤焼土器     翌     SG 2     F 8     140.0     71.0     136.0     5.0     鈍い橙色     ロクロ     ロクロ     財際     人面4面     外面に煤だれ有       580     赤焼土器     翌     SG 2     F 5     (40)     6.4     鈍い褐色     ロクロ     ロクロ     使用痕       581     赤焼土器     翌     SG 2     F 7     (190)     (46)     6.5     鈍い橙色     ロクロ     ロクロ     使用痕       582     赤焼土器     翌     SG 2     F 8     (142)     5.0     褐色     ロクロ     ロクロ     財産     火はね激       583     赤焼土器     SG 2     F 8     (142)     5.0     褐色     ロクロ     ロクロ     原生     サスロ     大は 製		573				F 8		65.0	(28)	7.5	橙色									「宅」	
43       576       赤焼土器 兜 SG 2 F 10       (84) 7.5       鈍い褐色 ロクロ・ロケロ 原生 原本 原土器 兜 SG 2 F 7 (220)       ボール では おおお で おおお で は おお で また で は おお で また で		574					126.0	(63)						回転糸切							内外面丁寧にナデ調整
43       577 赤焼土器 兜 SG 2 F 7 (220)       7.0 鈍い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ 関係       媒       パヤ目の上からナデ演整         578 赤焼土器 兜 SK 120 (120)       (78) 4.0 黄褐色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロタロ 関転条切 媒 人面4面 外面に燃だれ有         579 赤焼土器 兜 SG 2 F 8 140.0 71.0 136.0 5.0 純い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ ロタロ ロタロ ロタロ ロタロ ロタロ ロタロ ロタロ		_														煤					
43       578       赤焼土器 売						_	(222)		(84)						煤	500-		-			
43     579     赤焼土醤 売     SG 2     F 8     140.0     71.0     136.0     5.0     鈍い橙色 ロクロ ロクロ ロクロ ロタロ 回転糸切 葉 人面4面 外面に煤だれ有 外面に煤だれ有 580 赤焼土醤 売     SG 2     F 5     (40)     6.4     鈍い褐色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ 原統切 葉 黒		_				F 7	_		/mo*						Mt	保	-	-	-		ハケ日のしんとユラ際か
580 赤焼土醤 売     SG 2 F 5     (40) 6.4 健い褐色 ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ ロク	43	_				FO	_	71.0					-	同能を加	禄	101	-	人面不可	-	-	
581 赤焼土器 売     SG 2 F 7 (190)     (46) 6.5 鈍い橙色 ロクロ ロクロ							140.0	71.0						回転示切	-	床	-	八四4回	-	-	
582     赤焼土器     SG 2     F 8     (142)     5.0     陽色     ロクロ     ロクロ     媒 媒       583     赤焼土器     SG 2     F 8     (122)     56.0     92.5     5.0     陽色     ロクロ     ロクロ     回転糸切     火はね     媒     火はね		_				_	(190)	-						-	-	使用症	-	1		-	対なし口称
583 赤焼土器 亮 SG 2 F 8 (122) 56.0 92.5 5.0 陽色 ロクロ ロクロ 回転糸切 火はね 媒 火はね激		_		_		_	_		(40)						煤			1			
						_	_	56.0	92.5					回転糸切							火はね激
						-															

表一9 出土遺物観察表(9)

挿図	遺物			出土		Î	計 測 化	ifi (nm)			成	形 技	法	協	k·使用{	Ř	愚	書・線	.刻	
図番号	番号	種別	器種	地点	層位	口径	底 径	器高	器厚	色調	外面	内面	底 部	外面	内面	底部	外面	向き	底部	備考
43	585	赤焼土器	蹇	SG 2	F 2	(280)		(84)	6.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ		煤						
	586	赤焼土器		SG 2	F 7		(68)	(40)	5.0	褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	587	赤焼土器		SG 2	F 4		52.0	(65)	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤					□緑部打欠後灯明皿
	588	赤焼土器		SG 2	F 5	(20)	78.0		9.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	589	土師器	売	SG 2	F 7	(60)	(100)	(10)	13.0	黄灰色	ロクロ	ケズリ	ESTATE & Inc.							
1	590	赤焼土器		SG 2	F 7		(130)	(13)	7.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	141-						
1 1	591 592	赤焼土器		SG 2	F9		78.0 65.0	(41)	7.0	黄灰色 褐灰色	ロクロ・ケズリ	ロクロ	回転糸切	_	使用痕					底部ナデ
44	593	赤焼土器		SG 2	F 7		03.0	(41)	7.0	橙色	ロクロ	ミガキ	EH4007K 90	15K	漆付着			-		ASTRO 7
1	594	赤焼土器		SG 2	F6		60.0	(28)	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		100.1770			_		
	595	赤焼土器	-	SG 2	F 5			(59)	8.0	褐色	ロクロ	ロクロ								
	596	赤焼土器	堝	SG 2	F 8			(46)	9.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ			使用痕					
	597	赤焼土器		SG 2	F 7			(33)	12.0	橙色	ロクロ	ロクロ			使用痕					
	598	赤焼土器		SG 2	F 9			(340)	8.0	鈍い橙色	タタキ・ケズリ	ハケメ								外面にハケ目成形も有り
	599	赤焼土器		SG 2	F 4			(78)	7.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ・ハケメ			煤					
$\square$	600	赤焼土器		SG 2	F 9			(69)	10.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ			煤					
	601	赤焼土器		SG 2	F 5				11.0	鈍い橙色	タタキ	アテ		Ale DIT 422	Me DIT etc					
	602	赤焼土器		SG 2	F 9				12.0	鈍い橙色	タタキ	アテ		使用痕	使用痕					
	604	赤焼土器		SG 2	F 7				26.0	鈍い橙色				煤			-	-		
	605	赤焼土器		SG 2	F 7			(37)	7.0	橙色	タタキ	アテ		煤	-			_		
	606	<b>黑色土器</b>		SG 2	F10	(138)	(58)	60.5	4.5	鈍い褐色		ロクロ・ミガキ	回転糸切	///					「秦」	非黒色
	607	<b>黒色土器</b>		SG 2	F 7	83.0	39.0	31.0	4.0	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切		煤				1,742	非黑色、灯明皿
	608	黑色土器		SG 2	F 7				7.0	褐灰色		ロクロ・ミがキ	回転糸切						墨普不明	内黒
	1054	黒色土器		SG 2	F 9		52.0	(6)	4.5	褐色	ロクロ	ロクロ・ミガキ	回転糸切		1				〔宅〕	内黒
	609	黒色土器		SG 2	F 7	129.0	(46)	51.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切							内黒
45	610	黒色土器		SG 2	F 5	126.0	49.0	52.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切							内黒
	611	黒色土器		SG 2	F 7	126.0	55.0	51.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切							内黒
	612	黒色土器	_	SG 2	F 8	129.0	50.0	53.0	4.0	褐灰色	ロクロ・ミバキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切							内黒
	613	黒色土器		SG 2	F7	121.0	51.0	50.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切							内黒
	614	黒色土器 黒色土器		SG 2	F8 F9	(125) 128.0	51.0 52.0	50.0 46.0	4.0	鈍い橙色 褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切	101						内黒
	616	黑色土器	_	SG 2	F8	124.0	51.0	51.5	5.0	鈍い橙色	ロクロ・ミがキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	煤			-	-	-	内黒
	617	黑色土器		SG 2	F 8	132.0	54.0	51.0	3.0	褐色	ロクロ・ミがキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	-						内風
	618	黒色土器		SG 2	F 7	124.0	50.0	47.0	3.0	鈍い橙色	ロクロ・ミがキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切				墨書不明	横位		内黒
	619	黒色土器	_	SG 2	F 9	123.0	64.0	57.0	6.5	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	煤			35 m 1 77	DV III	[×]	内黒
	620	黒色土器	坏 .	SG 2	F 8	133.0	55.0	51.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切				「十万」	横位		内黒
	621	黑色土器	坏	SG 2	F 9	142.0	60.0	55.0	5.0	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切	煤					ſΞJ	内黑
	622	黒色土器		SG 2	F 5	141.0	53.0	62.0	4.0	黄灰色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切						[上]	両黒
	623	黒色土器	_	SG 2	F 10		50.0	(25)	7.0	褐色	ロクロ・ケズリ	ロクロ・ミが	回転糸切						墨書不明	内黒
	624	黒色土器	_	SG 2	F9	(129)	52.0	48.5	3.0	褐色	ロクロ・ミバト	ロクロ・ミガキ	回転糸切							内黑
	625	黒色土器 黒色土器	_	SG 2	F 9	(136)	58.0	59.0	5.0	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	剥離有	314 AB -A-					内黒、焼成後ヘラ削り
	626	黒色土器	_	SG 2	F7	(144) 154.0	53.0	60.0	4.5	褐色 褐灰色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切	-	剥離有					内黒
	628	黒色土器		SG 2	F8	140.0	52.0	61.0	4.0	黒色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切	-						内黒 両黒
	629	黒色土器		SG 2	F 5	117.0	45.0	47.0	4.0	褐灰色	ロクロ・ミがキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切						l	内黒
	630	黒色土器	_	SG 2	F6	(91)	(51)	51.5	6.0	鈍い橙色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切							内黒
4.0	631	黒色土器	高台付坏	SG 2	F5	157.0	67.0	56.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切	煤						内黒
46	632	黑色土器	高台付坏	SG 2	F 5	133.0	63.0	51.0	6.5	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミが	回転糸切							内黒
	633	黒色土器			F 5	137.5	(59)	52.5	5.0	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ								内黒
	634	黒色土器			F 5	152.5	79.0	59.0	3.5	褐色	ロクロ・ミが	ミガキ	回転糸切							内黒
	635	黒色土器			F5	127.0	55.5	55.5		鈍い橙色		ミガキ	回転糸切				墨書不明			内黒
	636	黒色土器			F8	153.0	57.0	51.0	6.0	黒色	ロクロ・ミがキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切							両黒
	637 638	黒色土器 須恵器		SG 2 SK 303	F 7	130.5	64.0 87.0	38. 0 39. 5	6.0 4.5	黒色 黄灰色	ロクロ・シガキロクロ・ケズリ	ロクロ・ミがキ	回転糸切	火はね	10.					阿黑
-	639	灰釉陶器			F 8	(140)	75.0	29.0	5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	八日祖	釉	ナデ		-	墨痕	灯明皿
	640	赤焼土器		SK33	1.0	(128)	55.0	53.0	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		-100	<del>'</del> '		-	500 TAX	
	641	赤焼土器		SK33		121.0	54.0	48.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	642	赤焼土器		SK33		126.0	55.0	52.0		鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	643	赤焼土器	坏	SK33		120.0	58.0	47.0	4.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	644	赤焼土器		SK33		123.0	53.0	43.0	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	645	赤烷土器		SK463		116.0	54.0	46.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	646	赤焼土器			-	(118)	66.0	41.5	4.5	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	赤彩						
1 6	_		333	SG 2	F 4	51.0		(80)	6.2	黒色	ロクロ・ミガキ	ロクロ nan abu			F3 50 W					両黒
	647	黒色土器	160	CTEGGG				(73)	6.0	鈍い橙色	ロクロ・カキ目	ロクロ・カキ目			口線煤				1	
	647 648	赤焼土器		SK 303	_	130.0			6 -	5B DC At										OH should Hid
47	647 648 649	赤焼土器 縄文土器		SG 1	F 8				6.5	褐灰色	1 Je 2	25 Jan -1			C1 633.84*			_		縄文晩期
47	647 648 649 650	赤焼土器 縄文土器 赤焼土器	売	SG 1 SK 303	F8	153.0		(91)	5.0	褐色	ハケメ	ハケメ			口緑煤					縄文晩期
47	647 648 649 650 651	赤焼土器 縄文土器 赤焼土器 近世陶器	薨皿	SG 1 SK 303 SG 1	F 8				5.0 5.0	褐色 赤褐色	ロクロ・ケズリ	ロクロ			口縁煤		िरु।			縄文晩期
47	647 648 649 650 651 652	赤焼土器 縄文土器 赤焼土器 近世陶器 赤焼土器		SG 1 SK 303 SG 1 SK 303	F8 F5		(78)	(91)	5.0 5.0 6.0	褐色 赤褐色 褐色					口緑煤		[宅]			
47	647 648 649 650 651	赤焼土器 縄文土器 赤焼土器 近世陶器		SG 1 SK 303 SG 1	F 8		(78)	(91)	5.0 5.0 6.0	褐色 赤褐色 褐色 褐色	ロクロ・ケズリ	ロクロ			口緑煤	,	能」			外面黑色化
47	647 648 649 650 651 652 653	赤烷土器 縄文土器 赤焼土器 近世陶器 赤焼土器 縄文土器		SG 1 SK303 SG 1 SK303 SG 1	F 8 F 5 F 9		(78)	(91)	5.0 5.0 6.0 5.0	褐色 赤褐色 褐色	ロクロ・ケズリ	ロクロ			口緑煤	,	[宅]			

表一10 出土遺物観察表(10)

捶	288-86a			ш		9	计测力	iti (mm)			戊	形技	法	1	ŧ・使用;	fic .		書・終	刻	
図番号	遺物 番号	種 別	器種	出土地点	層位	口径	底 径	器高	器厚	色 調	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き	底部	備考
	657	土製品		SG 2	F 6	105.0	71.0	32.0	1167-9-	橙色	AL IN	F 7 IM	75. DD	УРШ	1,3181	/EC, EID	7F IIII	In) G	125, ED	粘土に指痕有
47	658	土製品		SG 2	F 6	108.0	68.0	39.0		橙色										11177.4-3826.13
	659	石製品	砥石	SG 2	F 5	71.0	71.0	69.0		青灰色									「史」	
	660	製塩土器		SG 1300	F 3	(111)	97.0	137.0	14.0	鈍い橙色	ケズリ	無調整	無調整							
48	661	土製品 石製品	砥石	SG 2 SG 1	F 6	142.0 89.0	22.0 46.0			鈍い橙色 青灰色								_		
1.0	663	土製品	石皿	SG 2	F 8	106.0	52.0			黒色								-		火成岩
	664	土製品	支脚	SG 1	F 7		89.0	103.0		褐色										239413
$\vdash$	665	石製品	石皿	SG 1	F 4	153.0	51.0			鈍い橙色										
	666	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 3	136.0 130.0	94.0	32.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切			-				
	668	須恵器	坏	SG 1300	F 2	134.0	90.0	31.0		灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					-		
	669	須恵器	坏	SG 1300	F 2	(126)	(74)	37.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	煤					
	670	須恵器	坏	SG 1300	F 2	(122)	68.0	33.0	5.5	黄灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						[×]	
	671	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 2	(130)	(66)	36.0	4.0 5.0	灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						F=1 shit skill	
	673	須恵器	坏	SG 1300	F 3	(122)	(87)	31.0	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「弓削速」	
	674	須恵器	坏	SG 1300	F 3	(124)	(66)	35.5	3.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				「弓」	横位	, 0,	
	675	須恵器	坏	SG 1300	F 3		(68)		5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				「利」	
	676	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 3	(134)	(61)	34.0	4.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	Mr III ate	Ale IVI ale					
	678	赤焼土器	坏	SG 1300	F 4	126.0 (128)	52.0	45.0 42.0	4.0	灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕					
49	679	須恵器	坏	SG 1300	F 3	(139)	(52)	34.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕					
	680	須恵器	坏	SG 1300	F 4	120.0	40.0	47.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕					口縁部打欠後灯明皿
	681	須恵器	坏	SG 1300	F 2	(127)	(55)	45.0	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	Ale tra -r-	使用痕				Cn ·	
	682 683	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 3	129.0 (128)	55.0 48.0	36.0 40.0	3.0 4.0	黄灰色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕				「月ヵ」	
	684	須恵器	坏	SG 1300	F 3	(134)	58.0	39.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転系切	使用級	煤				墨書不明	
	685	須恵器	坏	SG 1300	F 3	(33.37	56.0	(23)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		///4					
	686	須恵器	坏	SG 1300	F 1	(128)	(72)	33.5	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「穂積人」	
	687	須恵器	坏	SG 1300	F 3		65.0	(23)	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				<b>墨書不明</b>	
	688 689	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 4		(60) (54)		4.0	褐灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕		墨書不明		「木」	
	690	須恵器	坏	SG 1300	F 3		(01)		7.0	灰色		ロクロ	回転糸切				38 11 /1 /97		墨書不明	
	691	須恵器	坏	SG 1300	F 3				10.0	黄灰色		ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
$\vdash$	692	須恵器	坏	SG 1300	F 3		60.0	(10)	5.0	灰色		ロクロ	ヘラ切		file EFF elle				墨書不明	
	693 694	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 2		68.0	(16)	6.5 5.0	白灰色 灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	煤	使用痕				「十」	
	695	須恵器	坏	SG 1300	F 2		(42)	(22)	4.5	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	696	須恵器	坏	SG 1300	F 3		(50)		4.5	黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						墨書不明	
	697	須恵器	坏	SG 1300	F 4		(71)	()	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕				墨書不明	
	698	須恵器 須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 2		50.0	(23)	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転系切		使用痕				吉賀」	
	700	須恵器	坏	D-58	П П		(50)		4.0 7.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転系切						墨書不明 墨書不明	
	701	須恵器	坏	SG 1300	F 3		(60)		7.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
	702	須恵器	坏	SG 1300	F 1			(21)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
	703	須恵器	坏坏	SG 1300 SG 1300	F 2	07.0	60.0	C1 0	7.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						「宅」	
50	704	須恵器 須恵器	高台付坏		F 1	97.0	62. 0 53. 0	(38)	5.0	灰色 褐灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						「弓」	
	706	須恵器		SG 1300		(104)	(56)	45.0	4.5	褐灰色	ロクロ	ロクロ	不明						墨書不明	
	707	須恵器		SG 1300		(108)	56.0	47.0		黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転用硯				「物」	
	708	須恵器				(100)	55.0	(24)		灰色	ロクロ	ロクロ	静止糸切		転用硯	ACT DO YO			[::]	
	709	須恵器 須恵器	高台付坏		F 3	(120)	(60) 77.0	27.0		灰色 白灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			転用硯			墨書不明	
	711	須恵器	高台付坏		F 4		(76)			黒灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切						利」	
	712	赤焼土器	坏	SG 1300	F 3	(142)	60.0	60.0	6.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	713	須恵器	蓋	-	F 3	165.0	CF 0	(22)		橙色	ケズリ	ロクロ	totales & ter		file DEL sto	Ale Dit ale	十月			76 L
	714	赤焼土器		SG 1300 SG 1300	F 3	165.0 (144)	65. 0 60. 0	- 72.5 56.0		鈍い褐色 褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切		使用痕	使用摄				歪大
	716	赤焼土器		D-59	Ш	(148)	58.0	54.0		褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	717	赤焼土器	坏	SG 1300	F 3	118.0	49.0	49.0		褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	使用痕	使用痕				「豊」	灯明蓋
	718	赤焼土器			F 2	(157)	62.0	65.0		鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤				「弓」	底部線刻有、灯明皿
	719 720	赤焼土器			F 1	(152)	55.0	48.0			ロクロ	ロクロ	回転系切			Ja ===				
	721	赤焼土器			F 3	(116)	50.0 50.0	49.0 52.5		赤褐色 褐色	ロクロ・ケズリ	ロクロ	回転系切			ナデ				切り離し部小
	722	赤焼土器			F 3	(112)	57.0	55.0		鈍い橙色		ロクロ	回転系切		使用痕					22 1 thr 0 ab.1.
51	_	赤焼土器			F 3	123.0	50.0	50.0		褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		漆付着					
	724	赤焼土器			F 3	(116)	55.0	50.0		褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切		Alerra					
	725 726	赤焼土器			F 3	121. 0 (120)	(58)	42.5 50.0	5.0 4.0	橙色 鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	727	赤焼土器		SG 1300	F 3	119.0	52.0	51.0	4.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切							
	728	赤焼土器		SG 1300	F 3	116.0	60.0	49.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転系切							
	729	赤焼土器	坏	SG 1300	F 1	125.0	60.0	49.0	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切	煤	煤					歪大、灯明蓋

表一11 出土遺物観察表(11)

挿図	遺物		器種	出土	層位	P	计测值	随(mm)		色 調	成	形技	法	ts	ま・使用症	Į.	9	書・綺	刺	備考
図番号	番号	7		地点	78F 155.	口径	底 径	器高	器厚	C #9	外面	内面	底 部	外面	内面	底部	外 面	向き	底 部	ин +5
Г	730			SG1300	F 1	(136)	(60)	48.0	4.5	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	731			SG1300 SG1300	F 2	(124)	54.0	48.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切	Ht.	煤			_		ATBD 苯
	733	_		SG1300	F 1	(134)	62.0	48. 0 46. 0	6.0 4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	派	-		-		灯明蓋
	734			SG1300	F 1	(127)	(55)	48.0	6.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			_		-		
51	_			SG1300	F 2	(128)	52.0	49.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	736			SG1300	F 3	124.0	55.0	43.5	5.0	鈍い褐色	ロクロケズリ	ロクロ	回転糸切		使用痕	ナデ				
	737			SG1300	F 2	(136)	54.0	42.0	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤						
	738			SG1300	F1	(132)	55.0	44.0	3.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切					_		
	739			SG1300 SG1300	F 3	(135) 128. 0	56. 0 58. 0	42.0 48.0	3.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切 回転糸切					-		25-b
Н	741	1 11 1 00	-	SG1300	F 3	(124)	(46)	41.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			_		-	墨書不明	歪大
	742			SG1300	F 2	(124)	75.0	38.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
	743	須恵器	坏	SG1300	F 2	118.0	58.0	49.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤	煤		墨書不明			歪大、灯明皿
	744		_	SG1300	F 1	(129)	50.0	47.0	4.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	745	7.5 7.5 7.5		SG1300	F 1	122.0	53.0	46.5	6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切		使用痕					
	746			SG1300	F2	129.0	60.0	51.0	5.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	747	_	_	SG1300 SG1300	F 3	(121) 122. 0	46.0 56.0	45. 0 43. 0	4.5 5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						-	本土
	749			SG1300	F 3	(127)	50.0	45.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転系切		-			-	-	歪大
	750		_	SG1300	F 1	132.0	55.0	48.0	3.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							
	751			SG1300	F 2	127.0	58.0	41.0	3.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤						
	752		_	SG1300	F 3	(129)			4.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ					墨書不明	横位		
	753			SG1300	F 3				5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			使用痕		「真」	横位		
	754			SG1300	F1				3.5	橙色	ロクロ	ロクロ					墨書不明	横位	1	
52	756			SG1300 SG1300	F 1				3.0	褐色	ロクロ	ロクロ	Establish de Jan				墨書不明	横位	墨書不明	
32	757			SG1300	F 4				8.0 5.0	橙色 橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切					_	墨書不明	
	758			SG1300	F 1				5.0	鈍い橙色	272	0,0						_	墨書不明	
	759			SG1300	F 3				6.0	褐色			ヘラ切						墨書不明	
	760	赤焼土器	坏	SG1300	F 3				3.0	鈍い褐色							墨書不明	横位		
	761		坏	SG1300	F 3				3.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ					墨書不明	横位		
	762		-1-	SG 2	F 7	33.0			21.5	黒褐色										
	763	2 22 2 22		SG1300 SG1300	F 3		(70)		5.2	<b>橙色</b>	ロクロ	ロクロ	回転糸切						墨書不明	
	765		坏	SG1300	F 5		(70)		5.0 4.0	赤褐色 褐灰色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	HE	煤				墨書不明 「勿」	
	766	-1-14-1 mm	_	SG1300	F 3		(04)		6.0	橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	NE	ME			-	<b>墨書不明</b>	
	767			SG1300	F 3		58.0	(2.5)	6.0	黒橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切						[共]	
	768			SG1300	F 3	124.0	54.0	60.0	6.0	橙色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミがキ	回転糸切							内黒
	769			SG1300	F 3	(120)	50.0	53.0	4.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転糸切	煤						内黒
	770			SG1300	F 2	(124)	52.0	53.0	4.0	褐灰色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミが	回転糸切							内黒
H	771		_	SG1300	F 3	(130)	55.0	(37)	3.0	褐色	ロクロ・ミが	ロクロ・ミがキ					[舎人]	逆位		内黒
	772			SG1300 SG1300	F 3	(131)	55.0 65.0	53. 0 57. 0	4.0	褐色 鈍い褐色	ロクロロシが	ロクロ・ミガキ	回転糸切				墨書不明	逆位		内黒
	774	_	_	SG1300	F 3	(143)	61.0	59.0	5.0	褐色	ロクロ・ミガキ	ロクロ・ミガキ	回転糸切			<u> </u>		_		内黒
	775			SG1300	F 2	(153)	(50)	53.5	3.5	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切							内黒
	776		碗	SG1300	F 2				3.8	乳白色	ロクロ	ロクロ								口縁部がやや玉緑状
	777	_		SG1300	F 3	(143)	50.0	59.0	5.0	鈍い橙色	ロクロ	ロクロ	回転糸切			ケズリ	墨書不明	逆位		内黒
	778		_	SG1300	F 4	(160)			4.0	鈍い褐色	ロクロ・ミガキ	ミガキ					墨書不明	逆位		内黒
		黒色土器		SG 1300		150.0	(50)	F		褐灰色	ロクロ		回転糸切				「又」	逆位		内黒
	780					158. 0 (134)	70.0	54.5 52.5		褐色	ロクロロ・ミガキ	ロクロロケンジャ	回転糸切							内黒
	782			SG1300		(134)	(00)	32.3		鈍い橙色 黄灰色	ロクロ	ロクロ								内黒 珠洲系陶器
	783			SG1300	F 1					灰色	ロクロ	ロクロ								珠洲系陶器
F.	784			SG1300	F 1		(116)			灰色	ロクロ		静止糸切							珠洲系陶器
53	785		椀	E-61	Ш	(147)		(54)		青緑色										
	786		椀		I			(45)		黑褐色										
	787		椀	00100	I		(40.0)		5.0	暗綠褐色										唐津
	788		-	SG1300		40.0	15.0			褐灰色										
	789		-	SG1300 SG1300		34.0 42.0	9.5			鈍い灰色 白褐色										
	790		-	SG1300		47.5	20.0			褐色	ケズリ							-		
	792			SG1300	F 2	28.0	18.5			褐灰色	7 7 7									
	793		水晶	SG1300	F 1	18.0				透明色										ひび有、底部平
	794	_		SG1300		36.0	14.0			褐灰色										
	795			SG1300	_	54.0	24.0			鈍い褐色										
	796			SG1300	F2	36.0	11.0			黄灰色										
	797	土錘	1	SG1300	F 2	50.0	12.5			褐灰色										

表一12 出土遺物観察表(12)

挿	*41.44-	Ps All						計測	値 (mm)			成 型・調 整	:	
図番号	遺物 番号	登録 番号	種別	器種	出土 地点	層位	長 さ (口径)	幅	高さ	厚さ	外面	内面	底部	備考
77	798		木製品	椀	SG 1	F 7	(口径)	(底径)	(38.0)	6.0		漆	漆	
	799	RW 201	木製品	椀	SG 1	F 7	162.0	85.0	47.0	7.0		ロクロ挽	eac.	
	800	RW386	木製品	椀	SG 1	F 7	156.0	152.0	50.0		ロクロ挽	ロクロ挽		
54	801	RW462	木製品	椀	SG 1	F 9	(114.0)	78.0	(30.0)	5.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
04	802	RW 244	木製品	椀	SG 1	F 8	(100.0)	70.0	(20.0)	13.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
	803	RW501	木製品	椀	SG 1	F 9	(124.0)	106.0	(41.0)	26.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ケズリ	底部にケズリ痕有
	804 805	RW363	木製品	植物原体	SG 1	F9	(138.0)	91.5	37.0	8.0	ロクロ挽	ロクロ挽		底部に切痕有
	806	RW491	木製品	曲物底皿	SG 1	F 5	203.0	138. 0 206. 0	18.0	8.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ケズリ	木釘痕 4カ所木釘 1 残・中央に穿孔
	807	RW320		Ш	SG 1	F 8	(127.0)	(94.0)	14.5	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽	7 4 9	
55	808	RW453		m	SG 1	F 7	(128.0)	120.0	13.0	2.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
	809	RW474	木製品	Ш	SG 1	F 9	151.0	162.0	(14.0)	7.0	ロクロ挽	ロクロ挽		底部に痕跡2つ
	810	RW 181		曲物底	SG 1	F 7		178.0		8.0				木釘痕2カ所・中央に穿孔
	811	RW335		m	SG 1	F 8	124.0	94.0	19.0	14.0		ロクロ挽・ケズリ	ロクロ爪痕	底にロクロ爪痕有
	812	RW449	木製品	Ш	SG 1	F 7	134.0	93.5	21.0	15.0	ロクロ挽	ロクロ挽・ケズリ		底面に細い直線の傷有
56	813 814	RW 182 RW 361	木製品	ш	SG 1	F 7	152.0	114.0	22.0	13.5	ロクロ挽	ロクロ挽・ケズリ		
	815	RW 429		Ш	SG 1	F5	156. 0 147. 0	83. 0 97. 0	8.0	7. 0 15. 0	ロクロ挽	ロクロ挽·ケズリ ロクロ挽		
	816	RW450		Ш	SG 1	F 7	112.0	110.0	(18.0)	10.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ケズリ	
	817	RW504		Ш	SG 1	F 9	(167.0)	108.0	19.0	15.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	
	818	RW360		Ш	SG 1	F 9	(148.0)	109.0	19.5	12.5	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	
57	819	RW 525	木製品	椀	SG 1	F 9	(127.0)	91.0	(21.5)	5.5	ロクロ挽	ロクロ挽・ケズリ	ケズリ・ロクロ爪痕	内底部にケズリ痕底部にロクロ用爪痕
"	820		木製品	Ш	SG 1	F10	(167.0)	120.0	21.0	14.0	ロクロ挽	ロクロ挽·ケズリ		
	821	RW 288		曲物底	SG 1	F 9		270.0	105.0	3.0				穿孔1カ所、樹皮留帯2カ所
_	822 823	RW 376 RW 455		曲物底曲物	SG 1	F7	126.0	132.0	57.0	6.0				木釘痕3カ所木釘1残
	824	RW 490	木製品	曲物	SG 1	F 8 F 10	136.0 172.0	138. 0 172. 0	57.0 25.0	5. 0 2. 0				木釘5カ所
	825	RW433	木製品	曲物底	SG 1	F 8	172.0	154.0	29.0	2.0				木釘7カ所 木釘6カ所
50	826	RW 267	木製品	曲物	SG 1	F 8	140.0	140.0	48.0	1.0				木釘4カ所
58	827	RW37	木製品	曲物底	SG 1	F 7		134.0		7.0				5つの穿孔有
	828		木製品	曲物底	SG 1	F 7		160.0		7.0				有段·穿孔 1 カ所、樹皮製留具 2 カ所有
	829	RW 271		曲物底	SG 1	F 7	(	132.0		8.0				木釘3カ所残
$\vdash$	830	RW430	木製品	III.	SG 1	F7	(150.0)	110.0	16.0	4.0	ロクロ挽	ロクロ挽		1.6-6
	831 832	RW430		曲物底 曲物底	SG 1	F 7		148. 0 184. 0		7.0				木釘痕5カ所木釘2残 有段・樹皮留1カ所
	833	RW 287		曲物底	SG 1	F8		177.0		6.0		,		木釘4カ所残
	834		木製品	箸	SG 1	F 7	293.0	7.0		6.0	ケズリ			1131 4 717172
	835		木製品	箸	SG 1	F 7	272.0	6.0		5.0	ケズリ			
	836		木製品	箸	SG 1	F 7	261.0	6.0		5.0	ケズリ			
	837		木製品	箸	SG 1	F 7	258.0	6.0		4.0	ケズリ			
	838		木製品	箸 ~~	SG 1	F 7	250.0	6.0		5.0	ケズリ			
	839 840		木製品	箸	SG 1	F 7	281.0 283.0	6.0		5.0	ケズリ ケズリ			
	841	-	木製品	省 著	SG 1	F7	284.0	6.0		5. 0 5. 0	ケズリ			
59	842		木製品	箸	SG 1	F 7	284.0	5.0		5.0	ケズリ			
-	843		木製品	箸	SG 1	F 8	(180.0)	5.0		4.0	ケズリ			
	844		木製品	箸	SG 1	F 8	(171.0)	5.0		4.0	ケズリ			
	845		木製品	箸	SG 1	F 8	235.0	7.0		5.0	ケズリ			
	846		木製品	箸	SG 1	F8	(248.0)	5.0			ケズリ			
	847		木製品	答	SG 1	F 8	268.0	5.0			ケズリ			
	848 849	-	木製品 木製品	箸	SG 1	F 7	(230.0) (227.0)	6.0			ケズリ ケズリ			
	850		木製品	省	SG 1	F 7	280.0	6.0			ケズリ			
	851		木製品	箸	SG 1	F 7	275.0	7.0			ケズリ			
	852		木製品	柄	SG 1	F10	583.0	15.0			ケズリ			瓢箪に付属
	853	RW 290		鎌柄	SG 1	F 8	(233.0)	42.5			ケズリ・ミガキ			全面ケズリの上からミガキ、先端部炭化
	854	RW 520		漆刷毛	SG 1	F 9	207.0	13.0		9.0				漆付着、3カ所折
	855	RW 203		鋤	SG 1	F 7	1,045.0	(125.0)			ケズリ			先が半分欠
60	856	RW 523		木針	SG 1	F9	220.0	18.0			ケズリ			
	857 858	RW 246		横槌 栓状木製品	SG 1	F 9	342.0 61.0	48.0			ケズリ ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	ト就にロクロの原命士
	859		金属製品	刀子	SG 1	F 10	146.0	13.5		3.0	100 L 100	ログロ兜	ログロ倪	上部にロクロの爪痕有
	860		金属製品		SG 1	F 4	65.0	7.0		3.0				
	861		木製品	棒状木製品	SG 1	F 9	205.0				ケズリ			両端にケズリ、外面樹皮付
	862		木製品	板状木製品	SG 1	F 9	(248.0)	32.0		4.5				下部折、9ヶ穴有、上から2・7番目木釘残
61	863	RW 273		板状木製品	SG 1	F 8	140.0	33.0		4.0				片側に13ヶの穴有
	864	Division	木製品	木材片	SG 1	F 3	135.0	107.0			ノコギリ			断面にノコギリ痕有
	865	RW118	不製品	用途不明木製品	SG 1	F 5	150.0	110.0		45.0	ケズリ			ケズリの上に磨き有

表-13 出土遺物観察表(13)

挿回	遺物	登録	3e	44	出土			計測	值 (mm)			成 型・調 整		
図番号	番号	香号	種別	器種	地点	層位	長 さ (口径)	幅 (底径)	高さ	厚さ	外 面	内面	底部	一 備 考
	866		木製品	火鑽臼	SG 1	F 7	387.5	25.0		19.0	ケズリ			
	867	RW 254	木製品	火鑽臼	SG 1	F 8	236.0	19.0		18.0	ケズリ			凹部に磨痕とこげ有
61	868	RW387	木製品	篼	SG 1	F 7	(143.0)	29.0		7.0				
	869		木製品	篦	SG 1	F 7	142.0	18.0		7.0				
_	870	RW 189		篼	SG 1	F 7	(200.0)	49.0			ケズリ			全面ケズリ、柄が折
	871	RW100		板材	SG1300		(1,241.0)	220.0			手斧削り			
	872	RW 146		板材	SG1300		(247.0)	55.0		8.0				下部欠損、ノミ状のものであけた穴有
	873	RW160		板材	SG1300		(200.0)	78.0		10.0				穴有
	874	RW 204		板材	SG1300		(120.0)	(63.0)		7.0				折敷の底の一部
	875		木製品	用途不明木製	SG1300		60.0	36.0			鋸切断痕			木釘3カ所有、飾り具の一部
	876	RW 244		用途不明木製	SG1300		58.0	11.0			切込有			4.4
	877		木製品	札状木製品 用途不明木製品	SG1301		117.0	23.0		4.0		-		穴有、下部欠損
62	878	RW 286 RW 265		用途不明木製品			(134.0)	19.0		13.0				下部欠損
	879 880	RW 116	1 1-23111	用速小明不製品 筒状木製品	SG1300 SG1300		(170.0)	38.0 27.0		13.0	ケズリ .			下部欠損
	881	RW 281		杭状木製品	SG1300		23.3	1.8			ケズリ			鞘ヵ
	882	RW 270		杭状木製品	SG1300		248.0	18.0		13.0	7 ~ 9	-		
	883	RW 190		板状木製品	SG1300		125.0	(31.0)			ケズリ	-		半分欠
	884	RW 203		板材	SG1300		(134.0)	(38.0)		3.0	7 / 7			折敷の底の一部
	885	RW 203		35 4 1 1	SG1300		(75.0)	20.0			ケズリ	<del>                                     </del>		穴2つ有
$\vdash$	886	RW 473		<b>新</b> 筆製品	SG 1	F8	(247.0)	53.0	-	3.0	7.47	+		棒折
	887	RW214		<b>新草製品</b>	SG 1	F 8	(127.5)	(100.5)				+		棒折
	888	RW461		<b>新</b> 筆製品	SG 1	F 8	(75.0)	(88.0)		-		+		棒折
	889	RW388		人形	SG 1	F5	196.0	(18.0)	<b></b>	5.0		+		墨書、右半身欠、足折
	890	RW 535		人形	SG 1	F 7	142.0	22.0			ケズリ			墨書、右足折
	891	1000	木製品	人形	SG 1	F 7	166.0	27.0			ケズリ			両端に切込有
	892		木製品	板状木製品	SG 1	F 7	130.0	33.0		6.5	/ / /			P1786 14 907C373
	893	RW451		人形	SG 1	F 7	188.0	30.0		4.0				<b>墨書</b>
	894	RW470		武器形	SG 1	F 9	113.0	18.0		18.0	ケズリ			25.11
	895		木製品	斎串	SG 1	F 4	136.0	15.0		3.0				上部、横方向に切込有
	896		木製品	斎串	SG 1	F 7	182.0	7.0		3.0				上部に縦に切込有
	897		木製品	斎串	SG 1	F 7	122.0	12.0		2.5				上部斜めに切込有
	898	RW460	木製品	馬形	SG 1	F8	70.0	18.0		4.0	ケズリ			ほぼ中央に穴有
60	899	RW212	木製品	斎串	SG 1	F 8	(473.5)	15.0		6.0				
63	900		木製品	斎串	SG 1	F8	152.0	18.0		4.0				
	901		木製品	斎串	SG 1	F 8	179.0	17.0		3.0				両脇に切込有
	902		木製品	斎串	SG 1	F 8	(95.0)	24.0		2.0				
	903	RW503		斎串	SG 1	F 9	153.0	13.0		4.0				上部に切込有
	904	RW396	木製品	斎串	SG 1	F 9	243.0	19.0		2.0				両脇刻み有、ほぼ中央で折
	905		木製品	斎串	SG 1	F 9	(132.0)	20.0		3.0				上部斜めに切込有
	906		木製品	斎串	SG 1	F 9	147.0	16.0		4.0				
	907		木製品	斎串	SG 1	F 9	154.0	19.0		5.0				上部に切込
	908		木製品	斎串	SG 1	F 9	(99.0)	19.0		5.0				下半分折
	909	RW468		斎串	SG 1	F 9	332.0	13.0		4.5				
	910		木製品	斎串	SG 1	F 9	169.0	20.0		5.0				両脇上部に切込有
	911		木製品	板状木製品	SG 1	F 7	77.0	17.5		4.0				Total control of
	912		木製品	斎串	SG 1	F 8	(252.0)	25.0		3.0	ton YT of o			両脇に切込有
-	913		木製品	斎串 #######	SG 1	F7	342.0	19.0			切込有	-		上部折、半分割、片面に切痕有
			木製品	板状木製品	SG 1	F7	464.0	23.0		8.0				1カ所折れ
	915		木製品	板状木製品		F9	490.0	25.0		5.0				3カ所折れ
	916 917		木製品	用途不明木製品 用途不明木製品		F8 F8	(78. 0) 160. 0				ケズリ ケズリ	+		
	918	RW432		角材状木製品	SG 1	F 7	253.0	13.0		10.0		+		
	919	11 432	木製品	角材状木製品	SG 1	F 7	184.0	14.0			ケズリ	+		両端ケズリ
	920		木製品	板状木製品	SG 1	F4	210.0	26.0	-	15.0	107	+		中心より折、ほぼ中央に穿孔有
	921	RW318		板状木製品	SG 1	F 8	188.0	23.5		2.0		+		3カ所穴有
	922	RW 469		板状木製品	SG 1	F 9	(272.0)	29.0		1.5		+		上部右に切込、左に細穴有
1	923	200	木製品	板状木製品	SG 1	F 7	260.0	12.5		5.0		+		ニルローカス、左に個八円
64	924		木製品	板状木製品	SG 1	F8	(128.0)	13.0		3.0		<del>                                     </del>		穴有、中央で折
	925		木製品	板状木製品	SG 1	F8	(149.0)	13.0		2.0				穴有、中央で折
	926		木製品	板状木製品	SG 1	F8	(143.0)	12.0		2.7				2カ所折、穴有
	927		木製品	板状木製品	SG 1	F 8	(183.0)	11.0		2.0		<del>                                     </del>		表に墨痕有、半分に割
	928	RW 336		櫛	SG 1	F 9	(45.0)	41.0		7.0				
	929	RW317		櫛	SG 1	F9	(46.0)	(25.0)		5.0		<del>                                     </del>		
	930	RW383		木簡	SG 1	F 7	249.0	33.0		8.0		<del>                                     </del>		墨書
	931	RW384		木簡	SG 1	F 7	(108.0)	32.0		6.0				墨書
	932	RW459	木製品	木簡	SG 1	F 8	133.0	29.0		5.0				墨書

表一14 出土遺物観察表(14)

挿図	遺物	登録			出土			計測	値 (mm)			成 型・調 整	<u> </u>	
番号	番号	番号	種別	器種	地点	層位	長 さ (口径)	幅 (底径)	高さ	厚さ	外面	内 面	底部	- 備 考
64	934	RW 163	木製品	木簡	SG 1	F 7	288.0	47.0		7.5	ケズリ			墨書
04	935		木製品	斎串	SG 1	F 8	131.0	13.0		11.0	ケズリ			墨書
	936	RW116		杭状木製品	SG 1	F5	215.0	22.0		16.0	ケズリ			墨書
	937 938	RW 394 RW 208		杭状木製品 棍棒状木製品	SG 1	F 9	259. 0 355. 0	29.0 62.0		13. 0 56. 0	ケズリ・ミガキ			
	939	I( W 200	木製品	たがね状木製品		F10	85.0	16.0		13. 0	ケズリ			
65	940	RW344		杭状木製品	SG 1	F 9	242.0	20.0		15. 0	, , ,			
	941	RW215	木製品	下駄	SG 1	F 7	165.0	84.0	38.0	8.0				左足用
	942	RW456		用途不明木製品	SG 1	F 7	190.0	49.0		23.0	ミガキ			穿孔有
Ш	943	RW 202	木製品	用途不明木製品		F 7	(283.0)	53.0		(15.0)				穿孔有、裏面全面炭化
	944	RW 565		板材	SG 2	F9	(498.0)	205.0		27.0	ケズリ			全面手斧削り、鋸による切断有
66	945 946	RW510 RW29	木製品	弓 漆幕	SG 2 SK400	F 6	882.0 124.0			19. 0	ケズリ			東にナロオ 亜無の皮に仕業 +
	947	RW 175		13C 4D	SG1300	F 3	(156.0)	(136.0)	(5.0)	2. 0	ロクロ挽	ロクロ挽		裏に木目有、曲物の底に付着カ
$\Box$	948	RW 509		Ш	SG 2	F 5	(192.0)	152.0	(10.4)	12. 0	ロクロ挽	ロクロ挽		漆塗り
[	949	RW333	木製品	Ш	SG 2	F 7	197.0	152.0	20.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	
67	950	RW162		Ш	SG 2	F 7	(198.0)	26.0	20.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	
	951	RW 276		Ш	SG 2	F 5	130.0	108.0	15.0	4.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
$\vdash$	952	RW 280		10:	SG 2	F5	(130.0)	106.0	9.0	7.0	ロクロ挽	ロクロ挽	鋸挽き	木目に直角にノコ引きの痕有
	953 954	RW 543 RW 65	木製品	椀	SG 2	F 8	158.0 (120.0)	89.5	39.0 (30.5)	6.5	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	
	955	RW 191		17E	SG 2	F 6	(170.0)	80.0 120.0	(15.0)	15. 5 11. 0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	裏側にロクロ挽き痕有
68	956	RW 564	1 1 1 1 1 1 1	III.	SG 2	F 5	(180.0)	100.0	16.0	11.0	ロクロ挽	ロクロ挽	- / -1/2	挽き物、底部に穿孔有、蓋か
	957	RW 278		Ш	SG 2	F 5	140.0	100.0	20.0	14.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
	958	RW115	木製品	Ш	SG 2	F 6	(115.0)	92.5	14.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
	959	RW 295		Ш	SG 2	F 7	180.0	150.0	40.0	17.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
69	960	RW 245	1 7 2 3 3 3	蓋	SG 2	F5	(236.0)		23.0	6.0				
	961 962	RW 557		曲物 曲物側板	SG 2	F9	117.0	117.0	35.0	2.0				木釘で2カ所留、桜皮で2カ所留
$\vdash$	963	RW 186		皿物開放	SG 2	F 6	(516.0) 150.0	117.0	176.0 108.0	7. 0 12. 0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	
	964	100	木製品	Ш	SG 2	F 8	(136.0)	56.0	10.0	6.0	L / L //C	1 / L //C	L 7 L 17C	
70	965	RW160		Ш	SG 2	F 6	122.0	90.0	10.0	3. 0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	底部にロクロ爪痕有
70	966	RW 532	木製品	Ш	SG 2	F 9	(115.0)	91.0	20.0	4.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ロクロ挽	底部にロクロ爪痕有
	967		木製品	Ш	SG 2	F 8	(94.0)		1.5					
$\vdash$	968		木製品	曲物	SG 2	F8	156.0	156.0	22.0	2.0				木釘6カ所、蓋か
71	969 970	RW 603	木製品	曲物 曲物側板	SG 2	F7	142.0 335.0	142.0	104.0 235.0	2. 0 25. 0				木釘3カ所、側板と底板分離
$\vdash$	971	RW 286		曲物底	SG 2	F 7	265.0		255.0	14. 0				上部と下部に穿孔有 木釘4カ所
	972	RW 294	木製品	曲物底	SG 2	F 7	133.0			7. 0				有段樹皮留4カ所
72	973	RW348	木製品	曲物底	SG 2	F 8	179.0			6.0				木釘1カ所
	974	RW346		曲物底	SG 2	F 8	181.0			6.0				
$\square$	975	RW 551	木製品	留具	SG 2	F 8	132.5	13:0		0.5				樹皮制
	976	RW 153		柄杓	SG 2	F6	(372.0)	112.0	74.0	16.0				木釘5カ所
	977 978	RW 62 RW 279	木製品	曲物底	SG 2	F 5	136. 0 180. 0			11.0				木釘2カ所
73	979	RW 52	木製品	曲物底	SG 2	F 3	(143.0)			7. 3				有段 中心部穿孔、穿孔周辺に圧痕
	980	RW 120		曲物底	SG 2	F 6	159.0			4.9				樹皮の留具2カ所有
	981		木製品	板材	SG 2	F 8	48.0			4.0				容器の底か
	982	RW 595		人形	SG 2	F 5	276.0	28.0		4.0				両脇に刃物による切目有
	983		木製品	斎串	SG 2	F 4	(153.0)	(8.0)		3.5				片侧欠
	984	RW49	木製品	斎串	SG 2	F4	(177.0)	(5.0)		5. 5				片側欠
	985 986		木製品 木製品	斎串 斎串	SG 2	F 6	122.0 113.0	10.0 17.0		2.0				両脇に切込有
	987		木製品	斎串	SG 2	F 7	117.0	7.0			ケズリ			上部片面が薄く削られている
	988		木製品	斎串	SG 2	F 7	(90.0)	15.0		3.0	, /			上部欠
	989		木製品	斎串	SG 2	F 9	(186.0)	11.0		3. 0				両側から切目
	990	RW 605		斎串	SG 2	F 9	158.0	18.0		3.0				ほぼ中央で折られている
74	991		木製品	用途不明木製品		F 6	162.5	9.0			ケズリ			
	992		木製品	用途不明木製品		F6	163.0	7.0			ケズリ			
	993 994		木製品 木製品	用途不明木製品 用途不明木製品		F 6	166.0 (122.0)	7.0			ケズリ ケズリ			,
	994		木製品	用途不明本製品		F 6	157.0	5.0		7. 0 5. 0	ケズリ			
	996		木製品	武器形	SG 2	F 9	86.0	10.0		6.0	ケズリ			
	997	RW73	木製品	木簡	SG 2	F 5	61.5	30.0		3.8	2 1			両面墨書、付札
	998		木製品	札状木製品	SG 2	F 9	76.0	21.0		7. 0				くびれ有
	999		木製品	札状木製品	SG 2	F 6	(109.0)	76.0		8.0				
	1000	-	木製品		SG 2	F 7	(171.0)	11.0		0.9				火鑽臼カ
Ш	1001	RW81	木製品	札状木製品	SG 2	F 6	195.0	29.0		21.0				上部に穿孔有り

表-15 出土遺物観察表(15)

1002   米利益   秋年本報告   56 2 F 7   200 5   19.0   11.0   ケメリ   1.0   大変リ   1.0   1.	挿図	遺物	登録	tt mi		出土			計測	値 (mm)			成 型·調 鏨	ŧ	
104   105   10	挿図番号			種別	器種		層位	長 さ (口径)		高さ	厚さ	外面	内面	底 部	- 備 考
1005   大松色の		1002		木製品	杭状木製品	SG 2	F 7	230.5	19.0		11.0	ケズリ			
1006   KN283   金属機   報金長   SG 2   F6   12.7   12.4   12.5   1.	74	1003	RW 544		杭状木製品	SG 2	F 8	410.0	28.0		11.0				上部に穿孔有
1905   水製品						SG 2	F 8	576.0	41.0		9.0				中心と下端折、両脇に切目
Fig.   1995		1005	RM285	金属製品	带金具	SG 2	F 6		12.4		5.0				銅製、内部一部欠
150   10		1006			木錘	SG 2	F 5	151.0	32.0		27.0	ケズリ			中心部、両端にケズリ有
100   RASS   金原製品   万子   S   C   P   R   (67.0)   9.0   2.5   100		1007	RW 154	木製品	篦	SG 2	F 6	223.0	54.0		9.0	ケズリ			
1010	75	1008	RW 323	木製品	舟形	SG 2	F 6	(206.0)	56.0	32.0	24.0				内面に巾21mの繋痕有、船首部に穿孔
1012   RVIT9   本級品   第		1009	RM356	金属製品	刀子	SG 2	F 8	(67.0)	9.0		2.5				刃部のみ
1012   RW 283   本展品   御母後   SG1300   P 2   128.0   05.0   05.0   0 - 5.0   0 - 7 日曜   10.0   10.		1010		木製品	杭状木製品	SG 2	F 7	276.0	54.0		63.0	ケズリ			全面にケズリ痕
1014   RP 129   木梨島   田   SG1390   F2   183.6   186.0   22.0   5.6   2 P 12度   2 P 2度   P 3 P 3 P 2 P 2 P 2 P 2 P 2 P 2 P 3 P 3		1011			锹	SG 2	F 7	(357.0)	141.0		15.0				
1015   RW27   本製品   世		1012	RW 253	木製品	漆器椀	SG1300	F 2	(124.0)	(67.0)	(41.0)	2.5	黒漆	朱漆		外面に朱漆で秋草紋
1015   RW276   本製品   世   SC1300   F2   (125.0)   (109.0)   18.0   13.0   13.0   19		1013	RW 189	木製品	Ш	SG1300	F 2	(183.0)	108.0	21.0	5.0	ロクロ挽	ロクロ挽		内面に細かい傷有
76		1014	RW 271	木製品	Ш	SG1300	F 3	(244.0)	170.0	(32.0)	16.0	ロクロ挽	ロクロ挽		内面炭化
79		1015	RW 276	木製品	Ш	SG1300	F 2	(125.0)	(109.0)	18.0	13.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
1017   RW150   木製品	76	1016	RW 193	木製品	Ш	SG1300	F 2	(141.0)	113.0	18.0	18.0	ロクロ挽	ロクロ挽	ケズリ	
1019   RW162   大製品   曲物底   SG1300   F1   159.0   10.0   木約(2 方所有、一部所作   10.0   木約(4 方所有   10.0   木約(4 方所有   10.0   10.0   木約(4 方所有   10.0   10.0   木約(4 方所有   10.0   10.0   木約(4 方所有   10.0   10.0   10.0   木約(4 方所有   10.0   10.0   10.0   木約(4 方所有   10.0   10.0   10.0   10.0   10.0   木約(4 方所有   10.0	10	1017	RW 150	木製品	Ш	SG1300	F 2	(109.0)	94.0	15.5	11.0	ロクロ挽	ロクロ挽		
1020   RW149   木製品   曲物底   SG1300   F2   177.0   10.0   木野頭(4カ所)   木野頭(4カ所)   10.1   10.0   木野頭(4カ所)   木野頭(2カ所)   10.0   10.0   木野頭(2カ所)   10.0   10.0   木野頭(2カ所)   10.0   10.		1018	RW 114	木製品	蓋	SG1300	F 2	145.0			15.0	ロクロ挽・ケズリ	ロクロ挽		内面やや窪み、つまみ部分穿孔有り
1021   RW 149   末島品    曲物底					曲物底	SG1300	F 1 ·				8.5				木釘痕2カ所有、一部炭化
1022 RW 147 本総品 動物底 SG1300 F 3 145.0   5.0   5.0   大学切   大学報名 カ所   1023   木製品 動物底 SG1300 F 3 175.0   5.0   大学切   大学切   大学研 2 カ所   1026   大製品 著 SG1300 F 3 175.0   5.0   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学研 2 カ所   1027   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学加 2 大学品 著 SG1300 F 3 (120.0   3.0   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学加 2 大学品 著 SG1300 F 3 (120.0   3.0   大学切   大学切   大学切   大学加 2 大学品 著 SG1300 F 3 (120.0   5.0   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学加 2 大学加 2 大学加 2 大学加 2 大学切   大学切   大学加 2 大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学切   大学加 2 大学加 2 大学切   大学切   大学加 2 大学切   大学加 2 大学切   大学加 2 大学切   大学切   大学加 2 大学切   大学が 2 大学切   大学が 3 大学					曲物底		F 2	177.0			10.0				木釘痕4カ所
1023							F 2	137.0			10.0				
1056   木製品 著   SG1300 F 3   175.0   5.0   ケズリ   1057   木製品 著   SG1300 F 3   175.0   5.0   ケズリ   1058   木製品 著   SG1300 F 3   172.0   3.0   ケズリ   1059   木製品 著   SG1300 F 3   172.0   3.0   ケズリ   1059   木製品 著   SG1300 F 3   172.0   10.0   6.5   ケズリ   1050   木製品 著   SG1300 F 3   102.0   0.5   ケズリ   1050   木製品 著   SG1300 F 3   1050.0   5.0   ケズリ   1051   1051   木製品 著   SG1300 F 3   1050.0   5.0   ケズリ   ケズリ   木製品 著   SG1300 F 3   1050.0   5.0   ケズリ   木製品 著   SG1300 F 3   1050.0   5.0   ケズリ   木製品		1022	RW 147		曲物底	SG1300	F 3	145.0			6.0				木釘痕2カ所
1057		1023		木製品	箸	SG1300	F 3	197.0	5.0			ケズリ			
1058		1056		木製品	箸	SG1300	F 3	176.0	5.0			ケズリ			
1059   木製品 著   SG1300   F 3   (120.0)   6.5   ケズリ   ケズリ   トグスリ   トグス		1057		木製品	箸	SG1300	F 3	(139.0)	6.0			ケズリ			
1060   大製品 著   SG1300   F 3   (108.0)   F 5.0   ケズリ   大変リート   大変リー		1058		木製品	箸	SG1300	F 3	(120.0)	3.0			ケズリ			
1061		1059		木製品	箸	SG1300	F 3	(120.0)	6.5			ケズリ			
1024   RW87   木製品   陰		1060		木製品	箸	SG1300	F 3	(108.0)	5.0		×	ケズリ			
1025 RW 161 木製品		1061		木製品	箸	SG1300	F 3	(106.0)	5.0			ケズリ			
1026 RW 280 本製品   総状木製品   SG1300 F 2 (117.0) (42.0)   13.0 ケズリ   13.0 ケズリ   10.07 RW 94 木製品   松秋木製品   SG1300 F 2 (148.0)   9.0   6.0		1024	RW 87	木製品	箆	SG1300	F 1	(62.0)	21.0		5.0	ケズリ			朱付
1027   RW94   本製品   棒状木製品   SG1300   F 2   (148.0)   9.0   6.0		1025	RW 161	木製品	櫛	SG1300	F 3	(70.0)	37.0		9.0				歯欠損
1028 RW 194 本製品		1026	RW 260	木製品	篦状木製品	SG1300	F 2	(117.0)	(42.0)		13.0	ケズリ			
1029   RW 200   木製品   卒塔婆   SG1300   F   1 (157.0)   25.5   2.0		1027	RW94	木製品	棒状木製品	SG1300	F 2	(148.0)	9.0		6.0				先端炭化
1030 RW 196 本製品   卒略婆   SG1300 F 1   (141.0) (16.0)   2.0   上部切断   掛音   上部で担当   日本の		1028	RW 194	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(226.0)	23.0		2.0				墨書
1031 RW195 木製品		1029	RW 200	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(157.0)	25.5		2.0				墨書、裏から2カ所切目入れ折
1032 RW 211   木製品   卒等婆   SG1300 F 1   (97.0)   23.0   1.0		1030	RW 196	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(141.0)	(16.0)		2.0	上部切断			墨書
1033 RW 197 本製品   卒塔婆   SG1300 F 1 (65.0)   27.0   3.0   3.0   基書   1034 RW 225   木製品   卒塔婆   SG1300 F 1 (80.0)   25.0   3.0   上部に切られている   上部に切られている   上部に切られている   上部に切られている   上部に切られている   上半部欠損   1035 RW 197 本製品   卒塔婆   SG1300 F 1 (85.0) (20.0)   2.0   2.0     基書   1036 RW 199   木製品   卒塔婆   SG1300 F 1 (85.0) (20.0)   2.0   3.0     基書   1037 RW 220   木製品   卒塔婆   SG1300 F 1 (34.0)   9.5   1.5     基書   1038 RW 208   木製品   卒塔婆   SG1300 F 1 (34.0)   9.5   1.5		1031	RW 195	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(120.0)	25.0		2.0				墨書
1034 RW 225 木製品   卒塔婆   SG1300 F 1   (80.0)   25.0   3.0   上部切断   墨書   上部切断   墨書   日本		1032	RW 211	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(97.0)	23.0		1.0				墨書
1035 RW 197 木製品		1033	RW 197	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(65.0)	27.0		3.0				墨書
1035   RW 197   木製品   卒等婆   SG 1300   F 1   (93.0)   (23.0)   3.0	77	1034	RW 225	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(80.0)	25.0		3.0	上部切断			墨書
1037 RW220 木製品   卒塔婆   SG1300 F 1   (34.0)   9:5   1.5	1	1035	RW 197	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(93.0)	(23.0)		3.0				墨書
1037 RW220 木製品   卒塔婆   SG1300 F 1   (34.0)   9:5   1.5		1036			卒塔婆	SG1300	F 1	(85.0)	(20.0)		2.0				墨書
1039 RW 196 本製品   卒塔婆   SG1300 F 1   (82.0)   14.0   2.0   上部欠損   上部欠損   日本の		1037			卒塔婆	SG1300	F 1	(34.0)	9:5		1.5				
1040 RW 208 木製品   卒塔婆   SG1300 F 1   279.0   21.0   2.0   下部欠損   1041 RW 210 木製品   卒塔婆   SG1300 F 2   (139.0)   23.0   1.0						SG1300	F 1	(58.0)	23.0		2.0				
1040   RW 208 木製品   卒塔婆   SG1300   F 1   279.0   21.0   2.0   1.0		1039			卒塔婆	SG1300	F 1	(82.0)	14.0		2.0	上部切断			墨書
1041 RW210 木製品   卒塔婆   SG1300 F 1   (139.0)   23.0   1.0   1.0   切込有   1.0		1040			卒塔婆	SG1300	F 1	279.0	21.0		2.0				
1042   木製品   卒塔婆   SG1300   F 2   (52.0)   19.5   1.5		1041	RW210	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(139.0)	23.0		1.0				
1044     RW254     木製品     卒塔婆     SG1300     F 2     (103.0)     17.0     3.0     下半分欠損、上部に切ら有       1045     RW158     木製品     卒塔婆     SG1300     F 3     (104.0)     11.0     4.0     下半分欠損、上部に切込有       1046     RW282     木製品     木簡     SG1300     F 4     (256.0)     11.0     4.0     ケズリ     農書、上部欠損       1047     RW157     木製品     斉串     SG1300     F 2     (279.0)     20.0     2.0     2.0       1048     RW260     木製品     卒塔婆     SG1300     F 1     (95.0)     19.0     2.0     上半部欠損       1049     木製品     斉串     SG1300     F 2     (104.0)     10.0     2.5     下等欠欠損       1050     RW159     木製品     坂秋木製品     SG1300     F 2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1051     RW273     木製品     棒状木製品     SG1300     F 2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1052     RW121     木製品     棒状木製品     SG1300     F 2     (245.0)     22.0     13.0     ケズリ		1042		木製品	卒塔婆	SG1300	F 2	(52.0)	19.5		1.5				
1044     RW254     木製品     卒塔婆     SG1300     F2     (103.0)     17.0     3.0     下半部欠損       1045     RW158     木製品     卒塔婆     SG1300     F3     (104.0)     11.0     4.0     下半分欠損、上部に切込有       1046     RW282     木製品     木簡     SG1300     F4     (256.0)     11.0     4.0     ケズリ     墨書、上部欠損       1047     RW157     木製品     斉申     SG1300     F2     (279.0)     20.0     2.0     2.0       1048     RW206     木製品     卒塔婆     SG1300     F1     (95.0)     19.0     2.0     上半部欠損       1049     木製品     斉申     SG1300     F2     (104.0)     10.0     2.5     下部欠損       1050     RW159     木製品     板状木製品     SG1300     F2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1051     RW121     木製品     棒状木製品     SG1300     F2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上部に折有       1053     RW140     木製品     角材状木製品     SG1300     F2     (445.0)     22.0     13.0     ケズリ		1043	RW 266	木製品	卒塔婆	SG1300	F 2	151.0	17.5		3.5				上部に切目あり
1045     RW158     木製品     卒塔婆     SG1300     F3     (104.0)     11.0     4.0     下半分欠損、上部に切込有       1046     RW282     木製品     木簡     SG1300     F4     (256.0)     11.0     4.0     ケズリ     墨書、上部欠損       1047     RW157     木製品     斉串     SG1300     F2     (279.0)     20.0     2.0     2.0       1048     RW206     木製品     卒塔婆     SG1300     F1     (95.0)     19.0     2.0     上半部欠損       1049     木製品     斉串     SG1300     F2     (104.0)     10.0     2.5     下部欠損       1050     RW159     木製品     坂秋木製品     SG1300     F2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1051     RW273     木製品     棒状木製品     SG1300     F2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1052     RW121     木製品     棒状木製品     SG1300     F1     255.0     9.0     5.0     上部に折有       1053     RW140     木製品     角材状木製品     SG1300     F2     (445.0)     22.0     13.0     ケズリ		1044	RW 254	木製品	卒塔婆	SG1300	F 2	(103.0)	17.0		3.0				
1046   RW282   木製品   木簡   SG1300   F4   (256.0)   11.0   4.0   ケズリ   提書、上部欠損   1047   RW157   木製品   寮串   SG1300   F2   (279.0)   20.0   2.0     2.0		1045	RW 158	木製品	卒塔婆	SG1300	F 3	(104.0)	11.0		4.0				
1047   RW 157   木製品   京串   SG1300   F 2   (279.0)   20.0   2.0   2.0   1048   RW 206   木製品   卒本婆   SG1300   F 1   (95.0)   19.0   2.0   上半部欠損   1049   木製品   京串   SG1300   F 2   (104.0)   10.0   2.5   下部欠損   1050   RW 159   木製品   板状木製品   SG1300   F 2   (279.0)   16.5   2.5   ケズリ   第4頁   第4頁					木簡	SG1300	F 4	(256.0)	11.0		4.0	ケズリ			
1049     木製品     斉串     SG1300     F 2     (104.0)     10.0     2.5     下係欠損       1050     RW159     木製品     板状木製品     SG1300     F 2     97.0     16.5     2.5     ケズリ     穿孔有り       1051     RW273     木製品     棒状木製品     SG1300     F 2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1052     RW121     木製品     棒状木製品     SG1300     F 1     255.0     9.0     5.0     上部に折有       1053     RW140     木製品     角材状木製品     SG1300     F 2     (445.0)     22.0     13.0     ケズリ		1047	RW 157	木製品	斎串	SG1300	F 2	(279.0)	20.0		2.0				
1049     木製品     斎串     SG1300     F 2     (104.0)     10.0     2.5     下部欠損       1050     RW159     木製品     板状木製品     SG1300     F 2     97.0     16.5     2.5     ケズリ     穿孔有り       1051     RW273     木製品     棒状木製品     SG1300     F 2     (206.0)     11.0     5.0     ケズリ     上下に切込有       1052     RW121     木製品     棒状木製品     SG1300     F 1     255.0     9.0     5.0     上部に折有       1053     RW140     木製品     角材状木製品     SG1300     F 2     (445.0)     22.0     13.0     ケズリ		1048	RW206	木製品	卒塔婆	SG1300	F 1	(95.0)	19.0		2.0				上半部欠損
1050 RW159 木製品     板状木製品     SG1300 F 2     97.0     16.5     2.5 ケズリ     穿孔有り       1051 RW273 木製品     棒状木製品     SG1300 F 2     (206.0)     11.0     5.0 ケズリ     上下に切込有       1052 RW121 木製品     棒状木製品     SG1300 F 1     255.0     9.0     5.0     上部に折有       1053 RW140 木製品     角材状木製品     SG1300 F 2     (445.0)     22.0     13.0 ケズリ		1049		木製品	斎串	SG1300	F 2	(104.0)	10.0		2.5				
1051 RW 273 木製品     棒状木製品     SG1300 F 2 (206.0)     11.0     5.0 ケズリ     上下に切込有       1052 RW 121 木製品     棒状木製品     SG1300 F 1 255.0     9.0     5.0     上部に折有       1053 RW 140 木製品     角材状木製品     SG1300 F 2 (445.0)     22.0     13.0 ケズリ		1050	RW 159	木製品	板状木製品	SG1300	F 2	97.0	16.5			ケズリ			
1052     RW121 木製品     棒状木製品     SG1300 F 1     255.0     9.0     5.0     上部に折有       1053     RW140 木製品     角材状木製品     SG1300 F 2     (445.0)     22.0     13.0     ケズリ		1051	RW 273	木製品	棒状木製品	SG1300	F 2	(206.0)	11.0						
1053 RW140 木製品   角材状木製品   SG1300 F 2 (445.0)   22.0   13.0 ケズリ		1052	RW 121	木製品	棒状木製品	SG1300	F 1	255.0	9.0						
1088 733 100 1 84 73 85 75 84 74 74 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75		1053	RW140	木製品	角材状木製品	SG1300	F 2	(445.0)		22.0	13.0	ケズリ			
1055   RW 493   木製品   類筆製品   SG 1   F 6   625.0   16.0     図版のみ (図版26)		1055	RW493	木製品	瓢箪製品	SG 1	F 6	625.0			16.0				図版のみ (図版26)

#### V まとめ

今回の調査は2・3次合計5,490㎡を対象に実施している。平成6年度には1次調査が3,000㎡を対象に実施され、合計8.490㎡が調査されたことになる。

2・3次調査では、1次調査で検出された河川跡の延長が検出され、多数の墨書土器や木製品が出土した。特に1次調査では出土しなかった律令祭祀遺物や木簡が注目を引く。以下今回出土した墨書土器や主な木製品について若干の考察を行う。

#### 墨書土器

1次調査では41点、2・3次調査で281点、総計322点が出土している。これは酒田市生石2遺跡の555点に次ぐ出土点数である。墨書土器の出土状況から墨書土器の属性、性格を検討すると、出土地点は全て河川跡である。また、多数の斎串や形代、呪符木簡などの祭祀遺物が共伴出土し、上高田遺跡の墨書土器は祭祀に付随するものと見なしてよいであろう。

出土量の多い文字は、「利」が36点、「宅」が32点、「秦」が6点、「花」が4点などとなっている。また複数の文字によって構成される墨書土器も比較的多い。さらに、人の氏や姓を表しているとみられる墨書は「丈」「秦」「物部」「臣」「弓削連」「連」「舎人」「穂積人」がある。とくに「弓削連」は、当遺跡と河内国の弓削氏との関係も想定させる。

また、出土数の多い文字には字形の特徴から数種類に分類可能なのもある。そこからある程度、文字の意味を認識していたものから記号として認識したものへの変遷が推定できる。「利」で「一利」(383)と墨書している例がみられる。これは(17、100)を観察した人物が偏の横棒が二重になって見えるのを二文字の重複と認識した結果であろう。また「宅」に於いても、作りの部分が「毛」と「モ」、「モ」に分類でき、これらが(379、351)に崩れていったとみられる。「秦」も(532、536)から(533)へ、さらに(534)そして(535)へという変遷が推定できる。また、「立(丘?)人」(263)という文字があるが、千葉県久我台遺跡の墨書土器からは「立合」から「立人」への文字変化が確認されている。

#### 木製品

上高田遺跡の木製品出土量は律令期としては県内でも最大級である。図化しなかった遺物も含めても、食膳具の多さ、特に曲物、箸の多さに圧倒される。箸は完形品だけで231点、半分以上残存するのは995本、合計1,226本で、単純計算すると616膳以上の箸が河川跡に投棄されている。これだけの量の箸の消費を考えると、これまでも言われてきたことだが、日常的な使い捨て使用の他、祭祀での大量使用も想定可能である。また、計算はしていないものの斎串もかなりの数量出土しており、遺跡が祭祀的な性格が強いことが伺われる。

また、古代の木簡が7点出土した。7点の内3点は呪符木簡で、遺跡の特徴を端的に表している。(934)は「四万八千神急急如律令」と記されているが、本来は「八万四千六百五十四神急急如律令」であり、疫病神である午頭天王の眷属八万四千六百五十四神王への呪符である。午頭天王信仰は中世に盛んで、広島県尾道市街地遺跡から13世紀後半の、奈良県元興寺境内遺跡からも中世の同様の呪符が出土している。(934)は形状も、中世の呪符に近いが、河川跡中位層か

ら出土しており、この層位には中世遺物の混入がないことから、古代に留めておく。(933)は9人の氏名を列記して、「万呂」という人物が上司に報告したもので、目的は不明である。9人の内4人「春米□」、丸子マ牛甘、檜前竹万呂、大荒木臣田人万呂」が判読できる。春米は筑前国での分布が目立つが、秋田城木簡から、出羽国にも分布していたことがわかる。丸子(マ)は陸奥を中心とした東国の太平洋側に分布する。秋田城木簡にも「丸子マ某」が登場しており、出羽国にも分布していたのであろう。檜前は畿内に多数分布し、東国でも散見されるが、出羽国では初出である。大荒木臣については越前国を中心に分布する豪族である。この木簡に記された人名の内、名前まで判るのは3人だけであるので、断言できないが人名は男のみのようである。(997)は形状や「一斛」という数量から、籾の付札と見られる。付札には他県出土の書式を見ると概ね「郷名+人名」に品目や量が記されており、(997)に関しても、「萬□継」は郷名か人名である可能性が高い。(1046)「守マ□□□□ 高向長万呂」については、断片的で、木簡の性格を推定するのは困難である。守部は美濃国に多数分布しているようである。高向は常陸国で強い影響力を持つ豪族である。

卒塔婆(1030~1042)と水晶球(797)は、SP1995に関連するものと見られる。SP1995から出土 した骨の種別や部位の同定を依頼したが、骨の依存状態が悪いため、同定が不可能な状態であっ た。しかし、土壌分析の結果から、火葬骨と一緒に焼土を埋葬した可能性が指摘された。

#### 遺跡の性格・年代について

今回の調査で出土した遺物の年代は、1次調査と変わらない。8世紀後半から10世紀後半までに及ぶものと見られる。また、1次調査を含め、上高田遺跡では特に木製品の出土量が多く、平安期の遺跡としては県内でも最多級の出土量である。

また、2・3次調査では1次調査では見られない祭祀遺物や木簡が出土した。これらの遺物が 上高田遺跡の性格を強く物語る。さらに、「連」「臣」「舎人」「弓削連」「大荒木臣田人万呂」な どの姓等が記された墨書土器や木簡から、ある種の支配階級の存在が意識される。また人形は、 庄内地方では八幡町俵田遺跡が唯一の出土例である。

3次にわたる調査で、上高田遺跡からは河川跡以外には、主要な遺構はほとんど検出されなかった。しかし、少ないながらも遺構の分布状況から推測すると、遺跡の中心が、A区東側に広がる可能性が非常に濃厚である。また、その方角の約500m先には石田遺跡がある。石田遺跡は平成4年度にほ場整備事業関連で調査が行われており、柵列を伴う10世紀を中心とした集落跡で、調査区からは幅15mほどの河川跡が検出されている。残念ながら、事業の性格上河川跡の調査は行われていないが、上高田遺跡の河川跡との関連が注目される。

以上のような点から、上高田遺跡の特色を見てみる。遺物から判断する限り公的な祭祀場としての性格が非常に強く伺われる。しかし、官人層が使用すると見られる施釉陶器の出土量が非常に少ないことが気になる。また遺跡の中心部が未調査であることもあるが、遺構からは官衙と言えるような大規模な建物跡や板材列と言ったものは検出されてない。今の段階で上高田遺跡の性格を断定するのは難しいが、通常の集落では出土しない祭祀遺物の出土から類推し、周辺集落の中核となるような集落もしくは施設であった可能性が強いであろう。



第78図 墨書集成(1



# 報告書抄録

ふりが	な	かみ	たかだ	いせ	ナきだいにし	ご・さ/	んじす	 ちょうさほ	うこくしょ		
書	名				· 3 次調 d						
副書	名										
巻	次										
シリーズ	名	山形	県埋蔵	文化	比財センター	-調査幸	设告	<u></u>			
シリーズ番	<b>养</b> 号	第57	7集								
編集者	名	齋藤	健 飯	塚穏	<u> </u>						
編集機	関	財団	法人	山飛	/	上財セン	ンター	_			
所 在	地	<b>=</b> 99	99-3161	Щ	形県上山市	<b></b> 方弁天二	二丁	∃15番1号	TEL023	-672 - 530	1
発行年月	日	1998	3年3月	31 E	1						
ふりがな 所収遺跡名	ふりが 所 在		市町		遺跡番号	北	緯	東経	調査期間	調査面積 (m²)	調査原因
上高田遺跡	やまがたけん		646	1	2080	39E	方	139度 54分	19960507 ~ 19960913	2,790	一般国道345号道路改築
	遊佐町 おまるさとみ 大字富 あざかみいえ 字上家	おか 岡 の まえ <b>前</b>				51₹	<i>"</i>	31秒	19970506 ~ 19970730	2,700	工事
所収遺跡名	種別	主な	な時代		主な遺	構		主など	遺物	特言	記事項
上高田遺跡 2次	集落跡	平分	安時代	掘河溝土		3	赤州木製	恵器(坏・皿 尭土器(坏・ 製品(椀・Ⅱ ・斎串・木)	皿・堝) L・曲物・	である。 書土器や 遺物の他	前期の集落跡 河川跡から墨 人形など祭祀 、木簡も出土
上高田遺跡 3次	集落跡	平分	安時代	掘河溝	立柱建物	1 2	赤州	恵器(坏・豆 尭土器(坏・ 製品(皿・曲 串・オ	皿・堝) 物 · 箸 · 斎	隣に周辺 なるよう	ことから、近 集落の中心と な施設があり、 れていた可能
		中世	比	土:	坑		木	世陶磁器 製品(卒塔婆 製品(水晶)	\$\$()	(総出土	箱数:121)

図 版





2次調査1・2区遠景(南西から)



3次調査3区遠景(西から)



2 次調査鍬入式



2次調查河川跡鉄鋼矢板打込作業



SG 1 鉄鋼矢板打込完了状況



SG 1 精査作業



1・2区遺構検出状況(北西から)



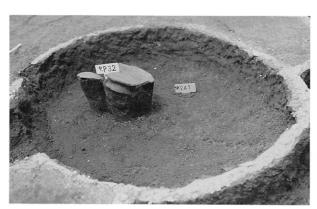
SK33検出状況



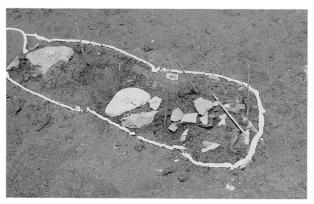
SK33遺物出土状況



SK33完掘状況



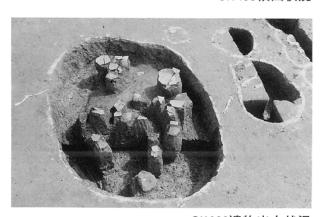
SK 241遺物出土状況



SK 463検出状況



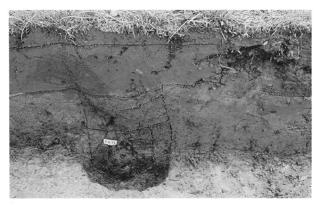
SK 463遺物出土状況



SK303遺物出土状況



1区完掘状況(北から)



EP592土層断面



EB552記録作業



SG 2 土層断面



SG 2 出土遺物記録作業



SG 2 完掘状況(北から)



SG 1 完掘状況(南から)



SG 2 馬骨出土状況



SG 2 堆積火山灰塊



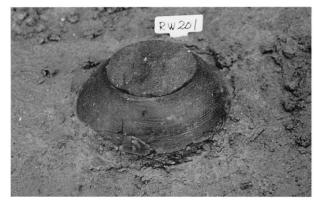
SG 2 木簡出土状況



SG 1 木簡出土状況



SG 2 柄杓出土状況



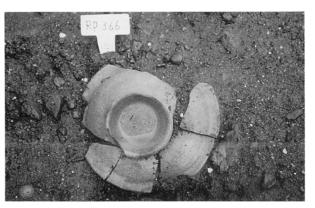
SG 1 椀出土状況



SG 1 瓢箪出土状況



SG 2 鍬出土状況



SG 2 赤烷土器高台付坏出土状況



SG 1 墨書須恵器出土状況



SG 2 黑色土器出土状況



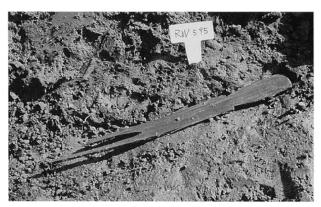
SG 1 赤焼土器皿出土状況



SG 1 人形出土状況



SG 1 人形出土状況



SG 2 人形出土状況



SG 1 漆刷毛出土状況



SG 1 木針出土状況



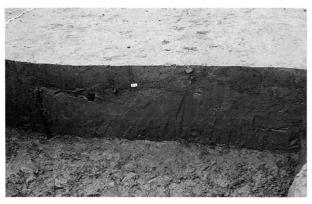
SG 1 刀子出土状況



SG1301(左) SG1300(右)検出状況(南から)



SG1300北側土層断面(南から)



SG1300中央土層断面(南から)



SK1995検出状況(北西から)



SK 1995完掘状況(西から)



SG1300卒塔婆出土状況

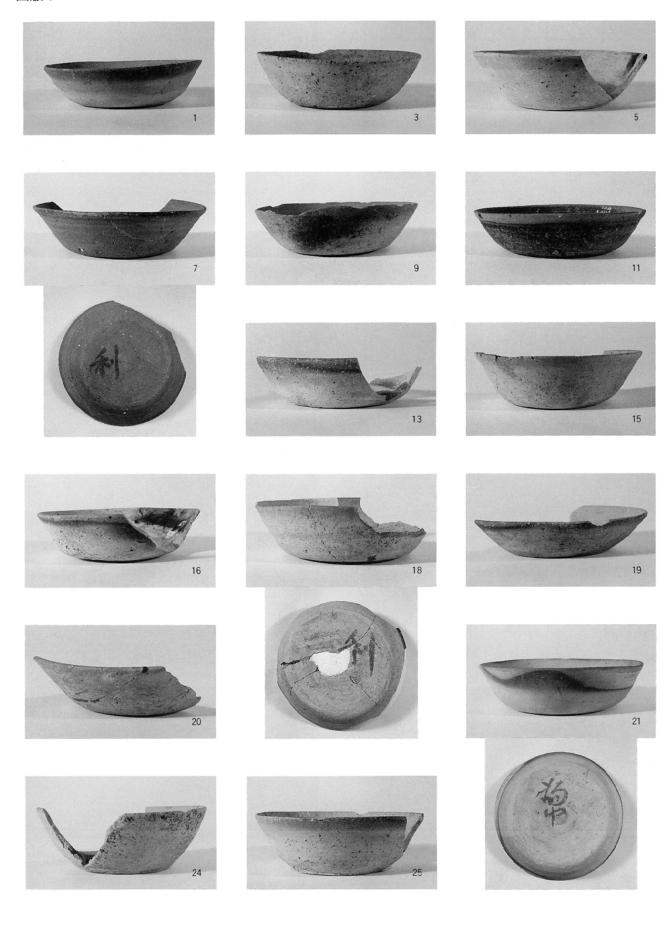


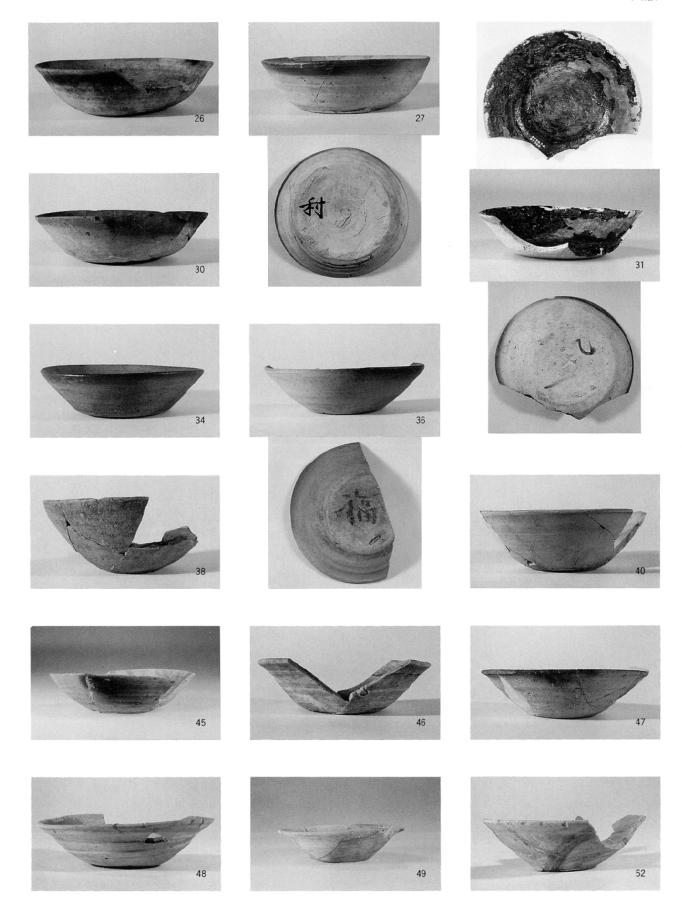
SG1300卒塔婆出土状況



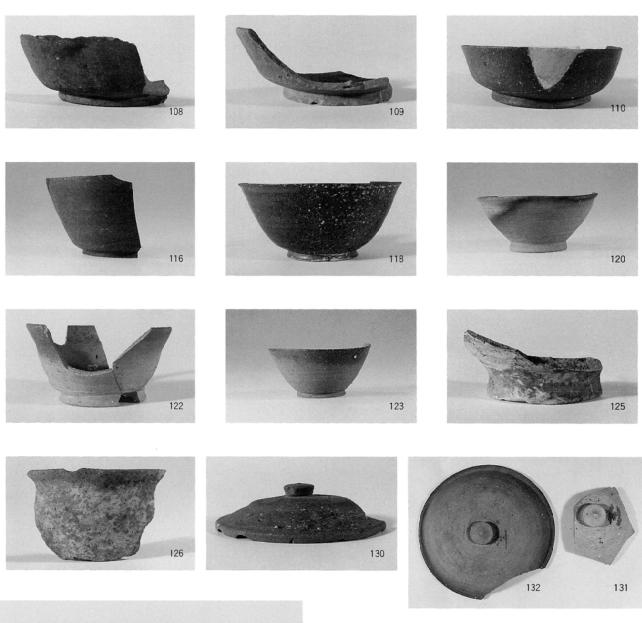
SG1300木簡出土状況

図版 8

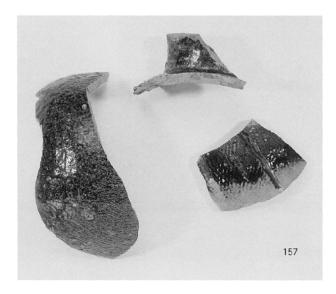


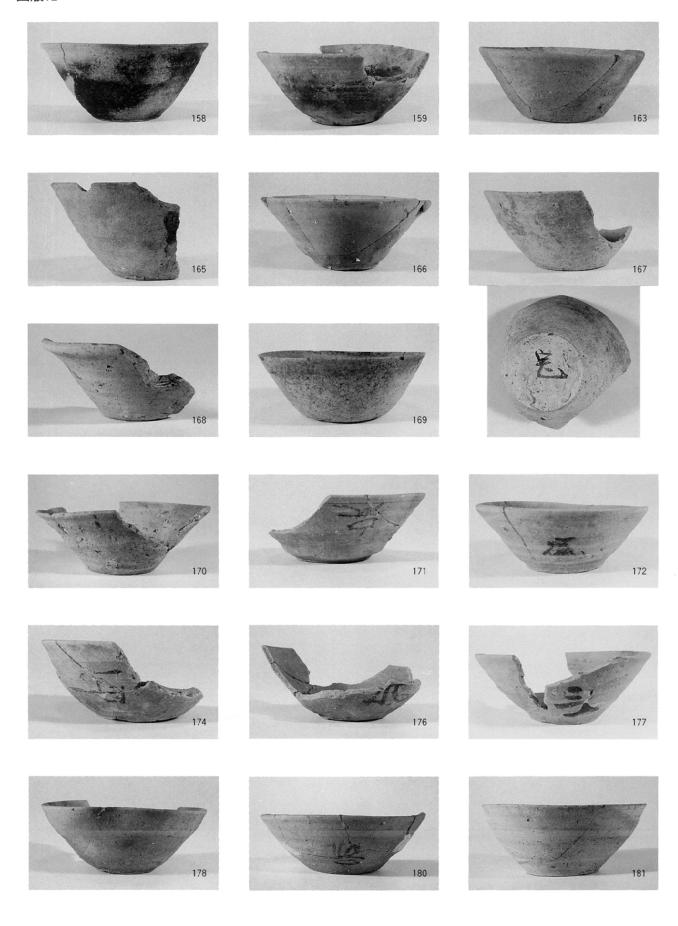


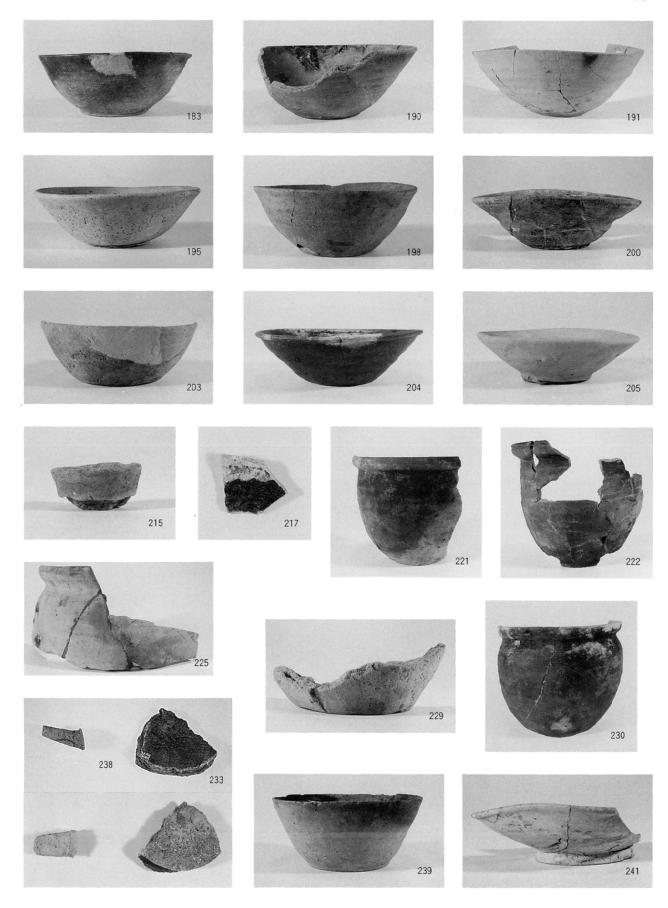


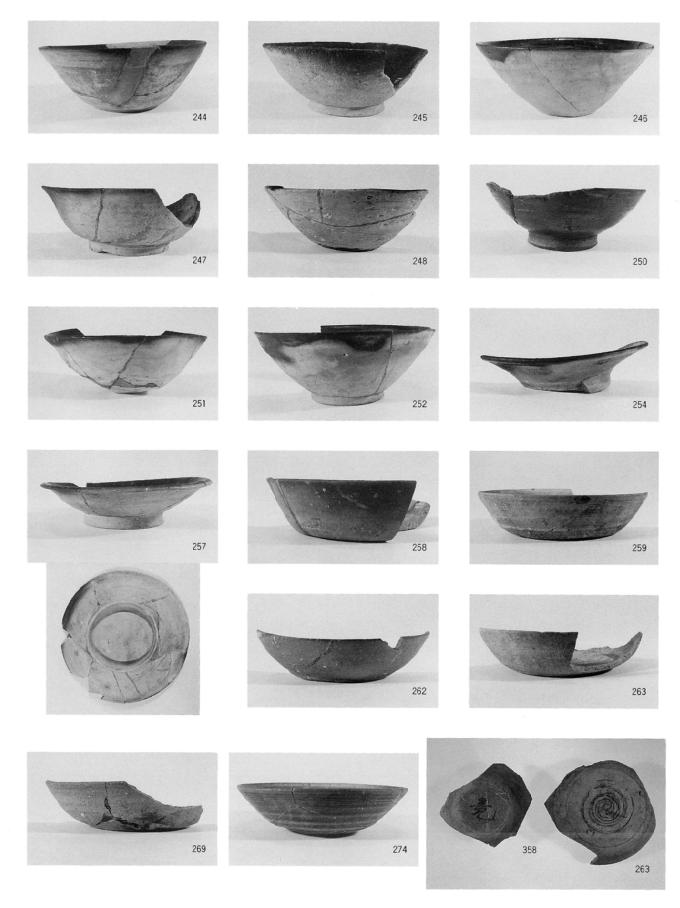


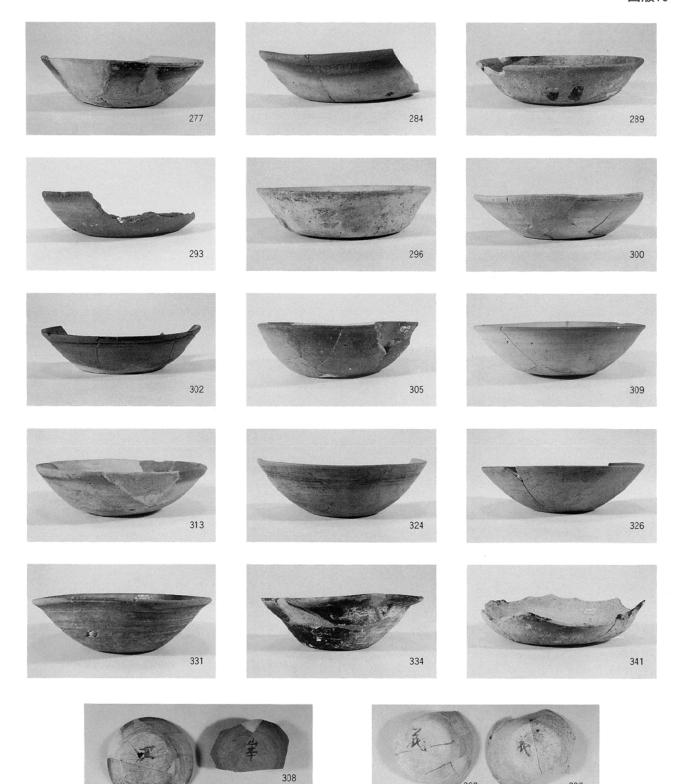


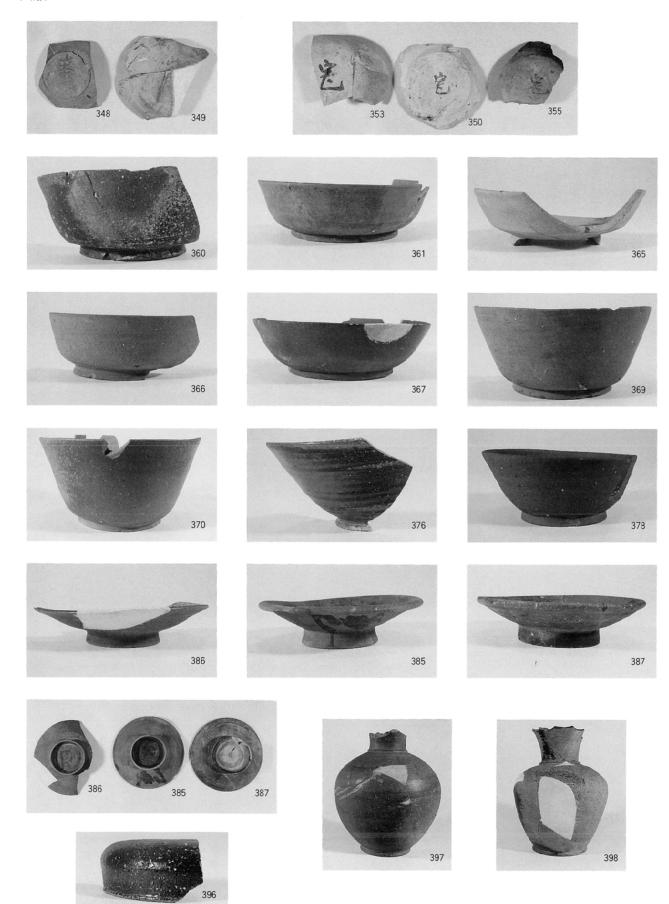




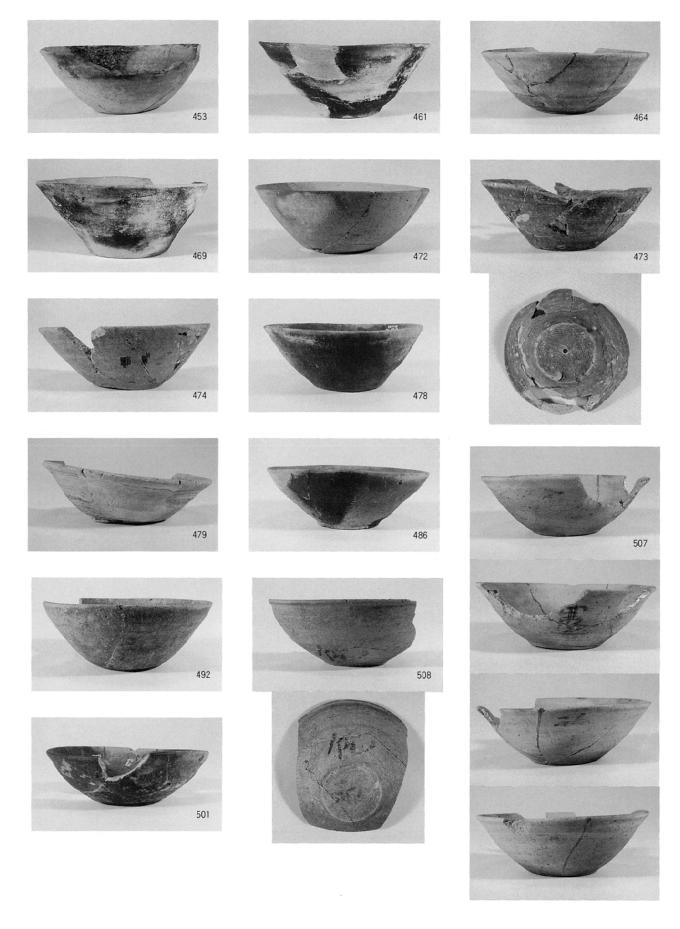


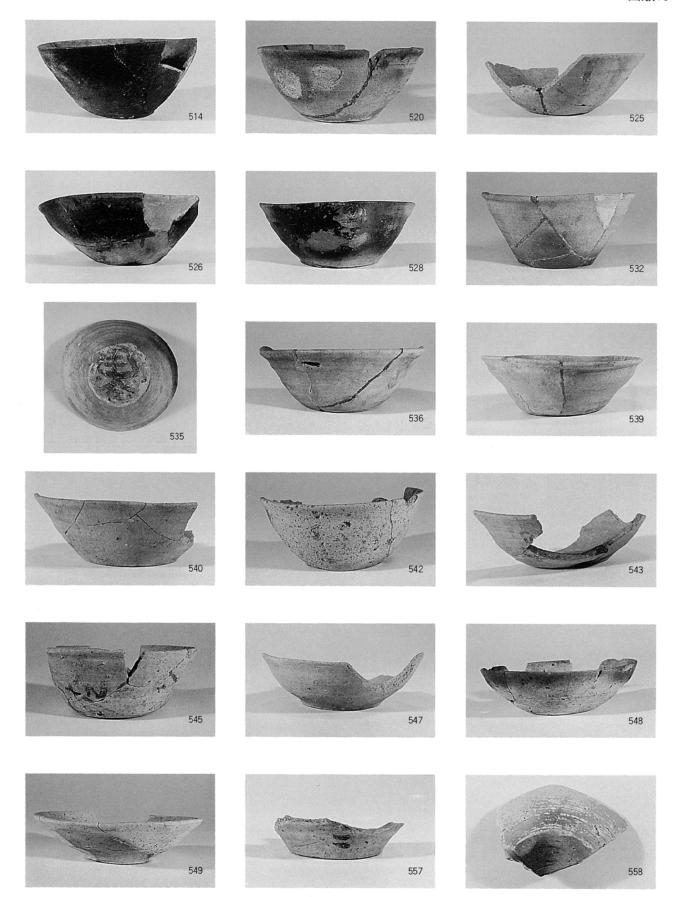










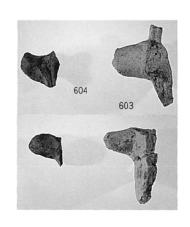


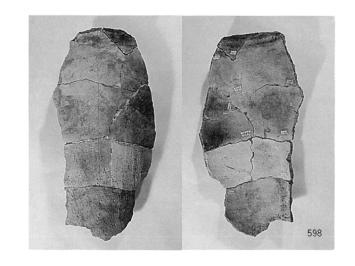












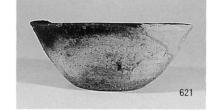






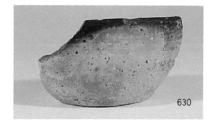








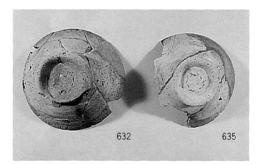








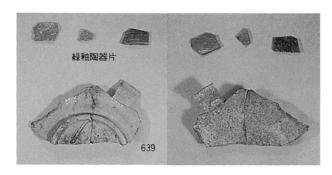


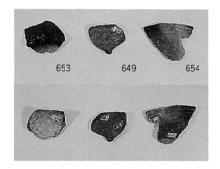






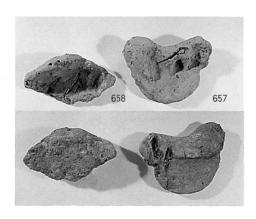






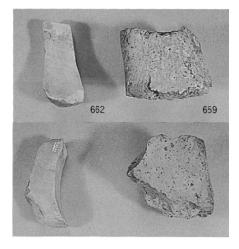


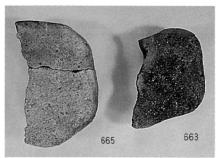




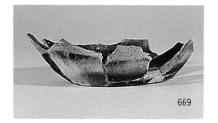








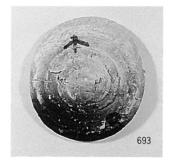






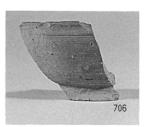






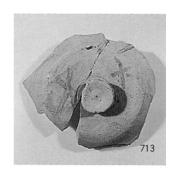








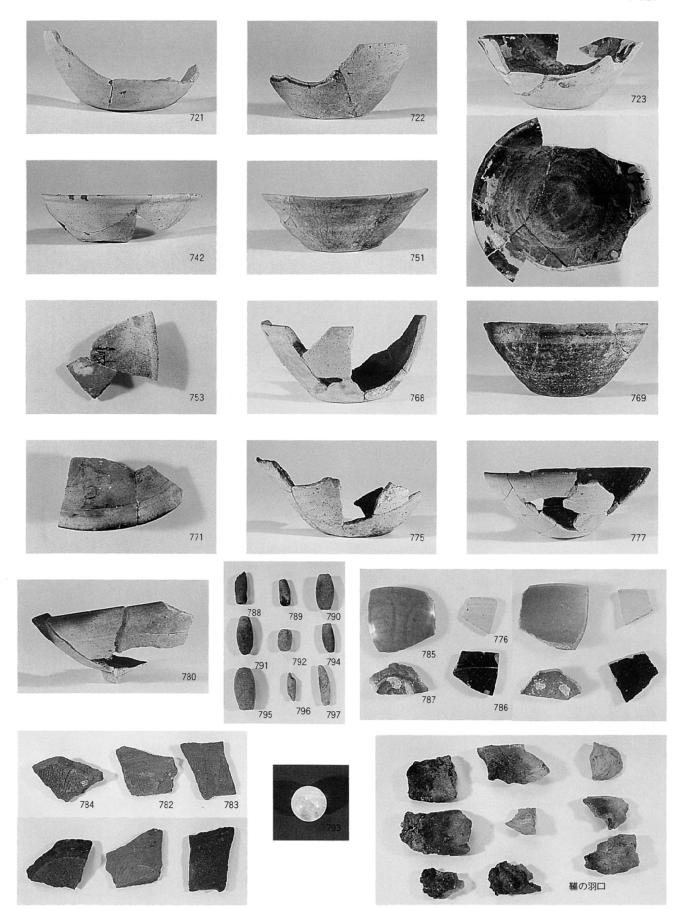


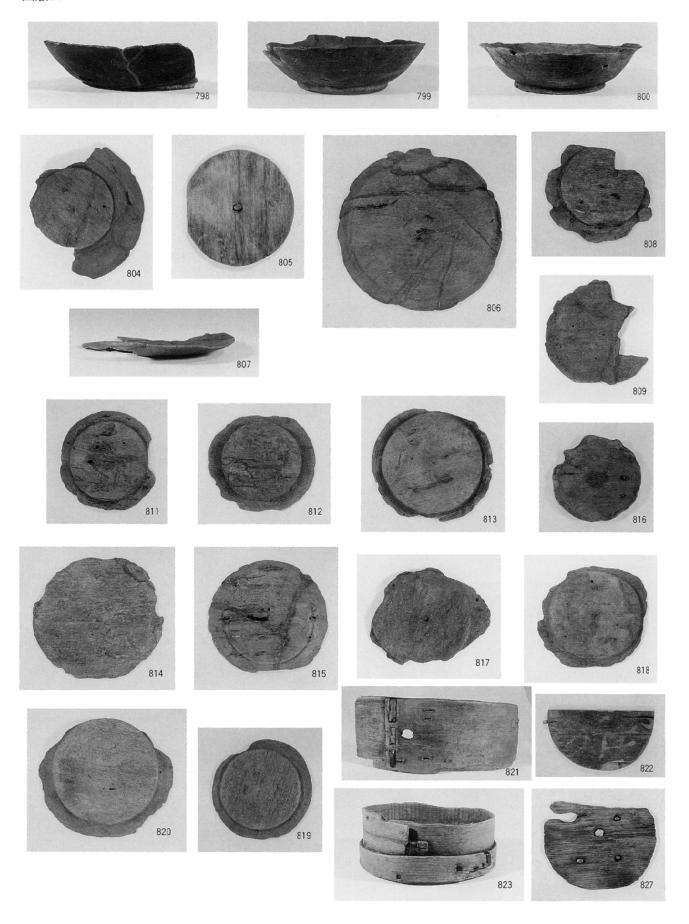


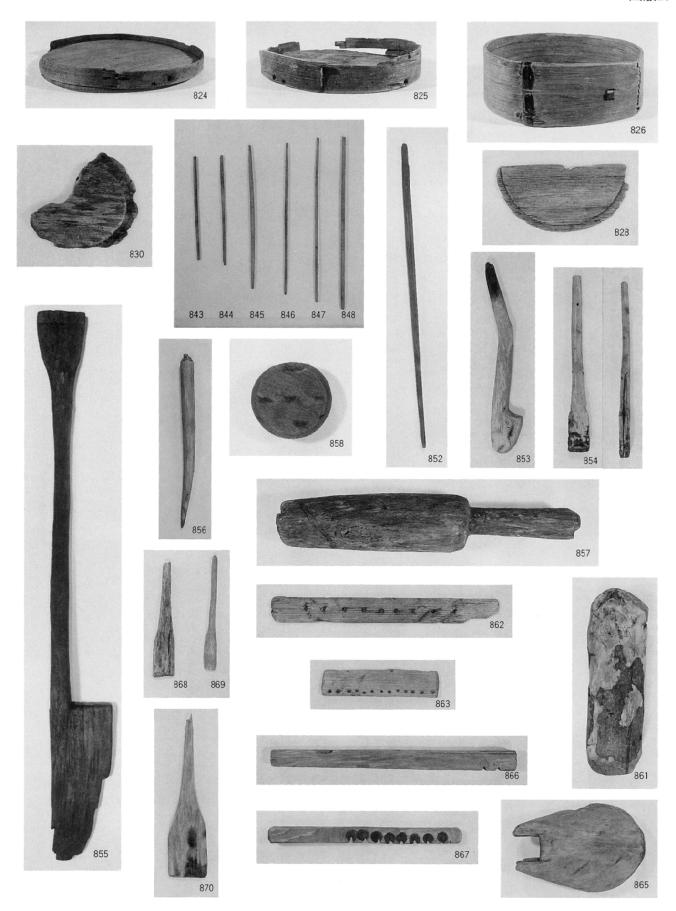


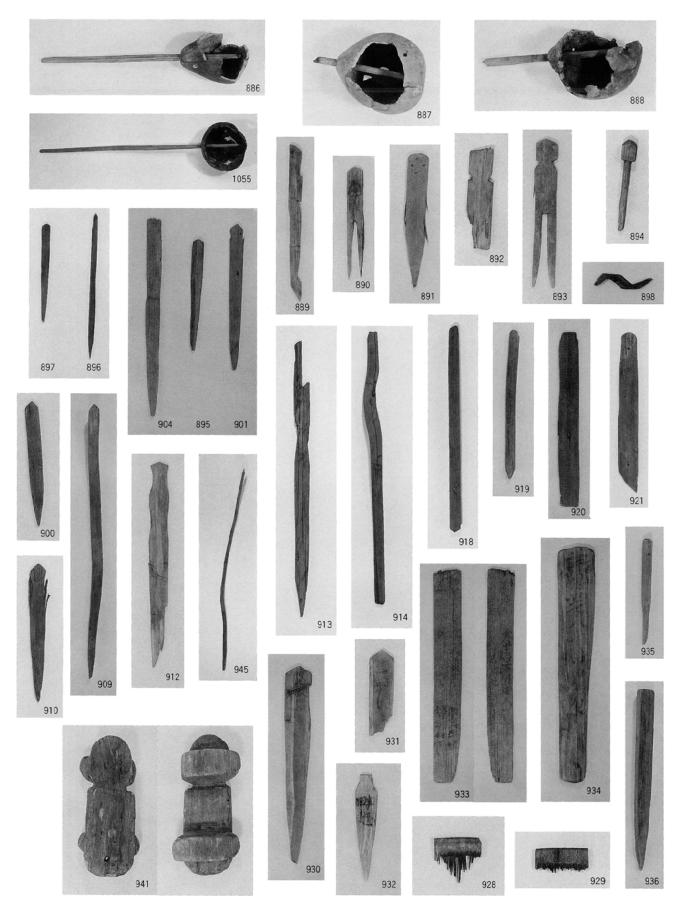


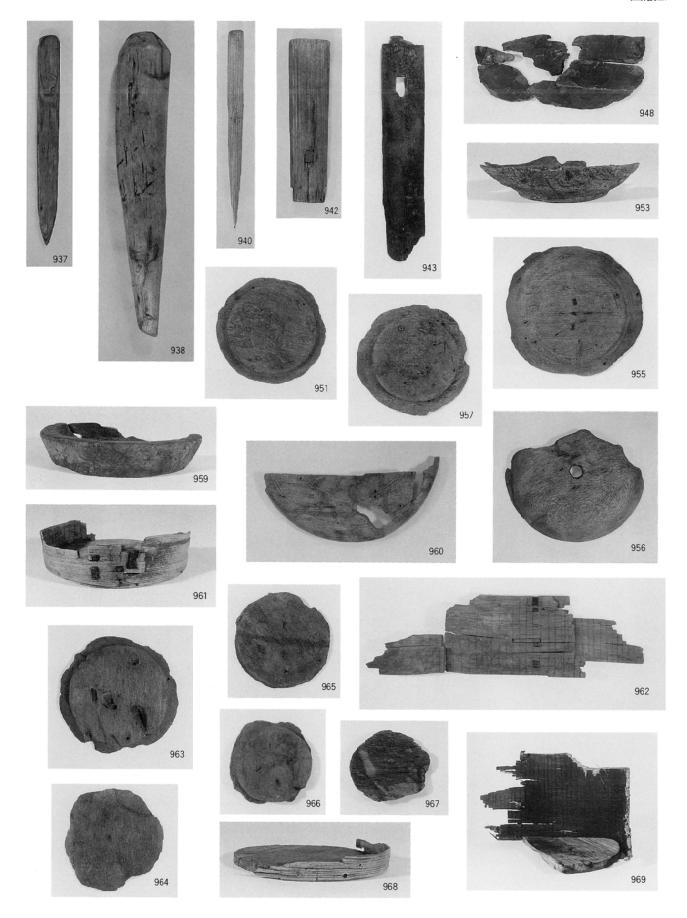


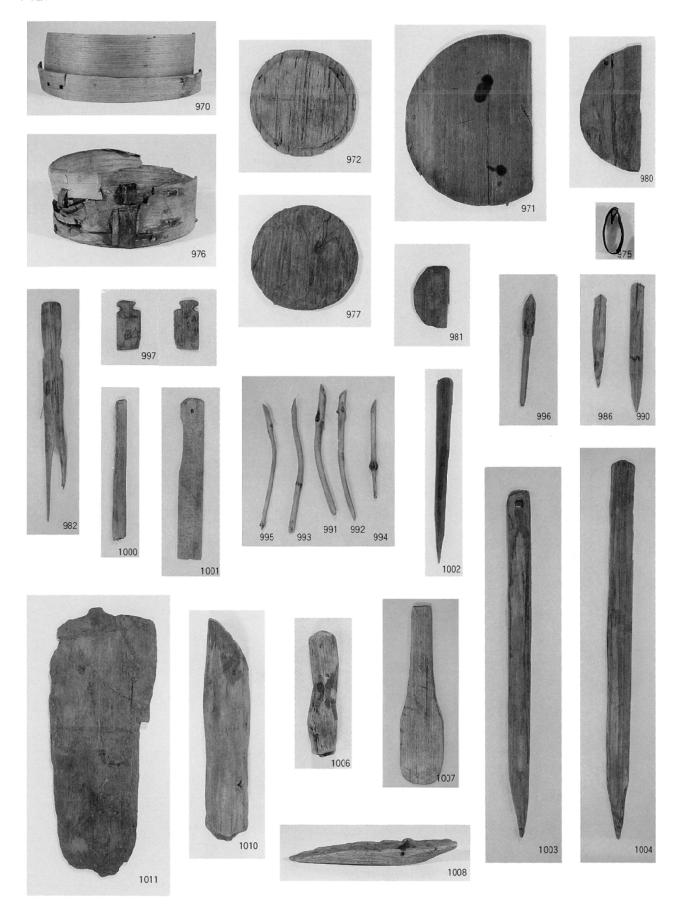


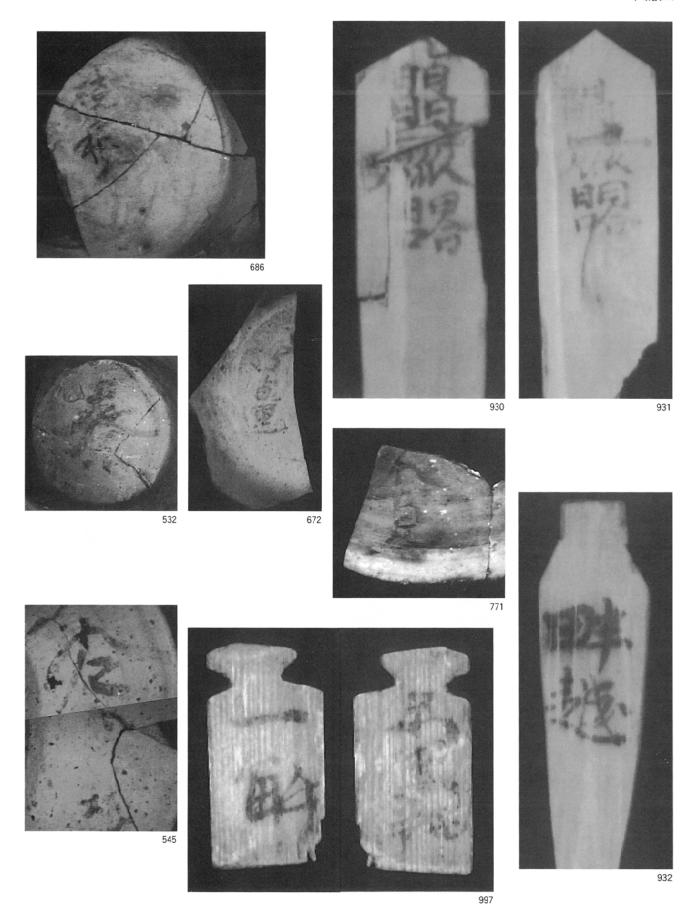


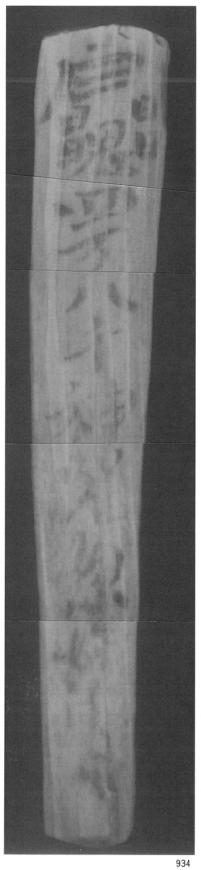


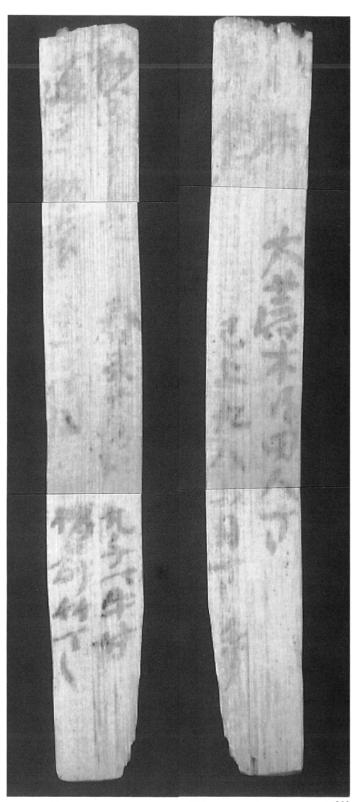




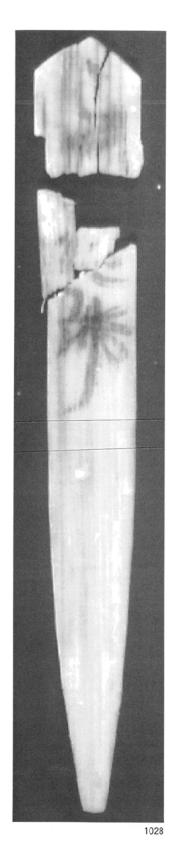


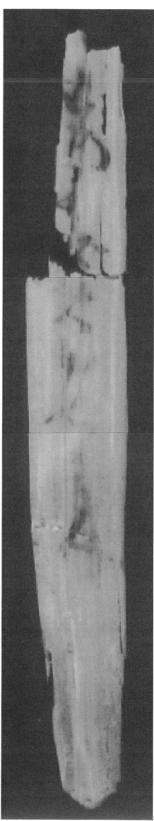


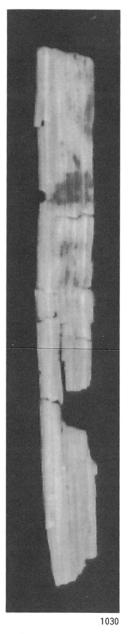


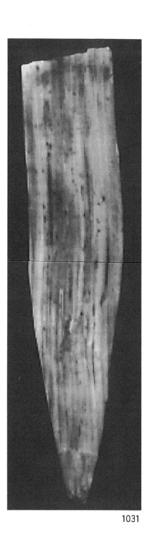


933

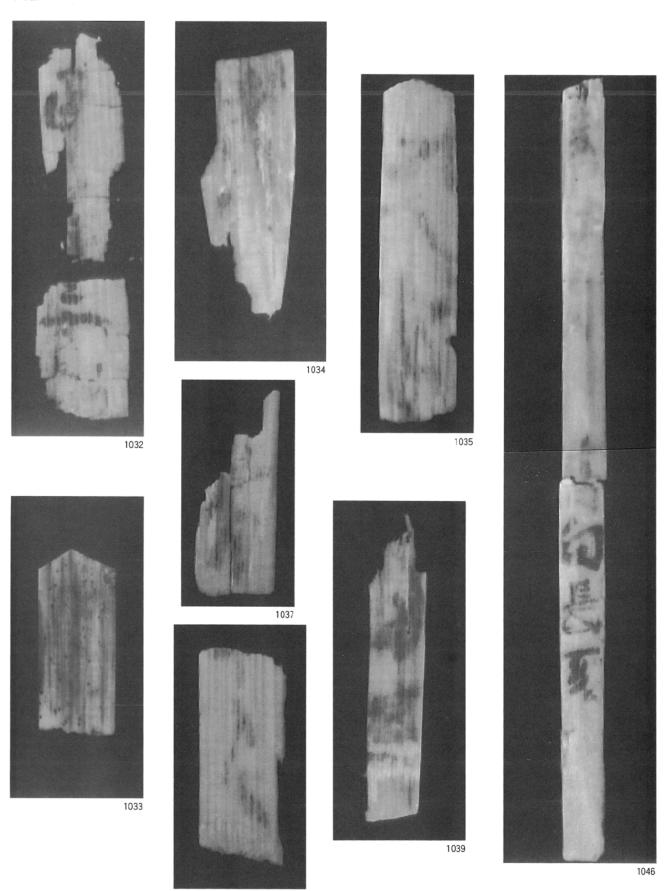








1029



1038

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第57集

たまたか だ 上高田遺跡第2・3次発掘調査報告書

1998年3月31日 発行 発行 財団法人 山形県埋蔵文化財センター 〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 電話 023-672-5301 印刷 株式会社大風印刷